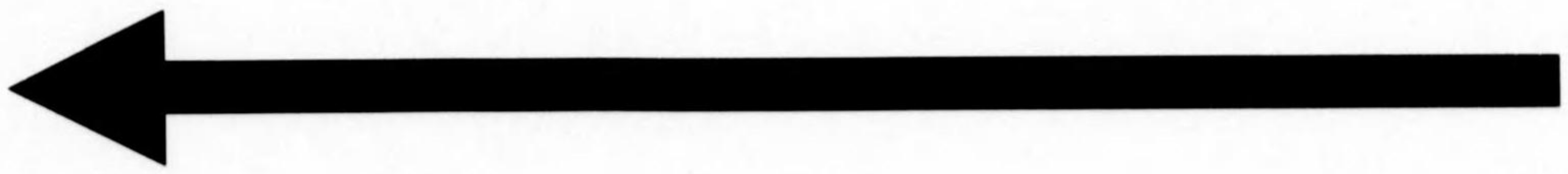


63-72
1200501277004

63
72



始

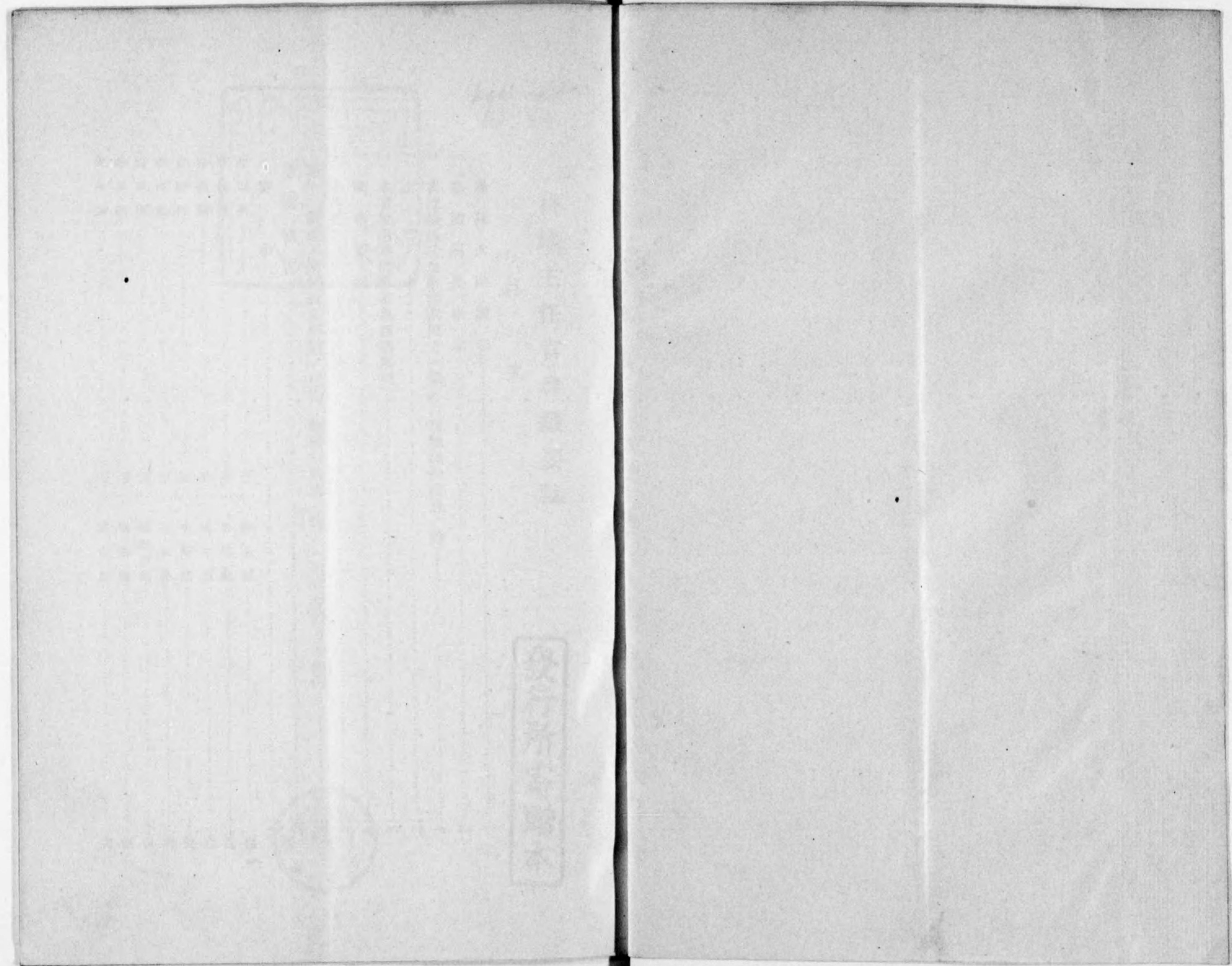


6. 1.7

昭和五年五、六月開催

耕地主任官會議要録

農林省農務局



604-368
63-72

耕地主任官會議要錄

目次

發行所寄贈本

一	農林大臣訓示	一
一	農務局長指示	三
一	耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル耕地課長注意ノ件	七
一	出席者	一三
一	本省提出諮問事項及協議事項	一六
一	議事經過	一七
一	本省提出諮問事項答申及決議	二一
一	第一耕地ノ擴張改良事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針如何	二九
一	全國概況	三〇
一	答申	三〇
一	北海道	三〇
一	青森縣	三〇
一	岩手縣	三〇
一	宮城縣	三〇
一	秋田縣	三〇
一	山形縣	三〇
一	福島縣	三〇
一	茨城縣	三〇
一	栃木縣	三〇
一	群馬縣	三〇
一	埼玉縣	三〇
一	千葉縣	三〇
一	東京府	三〇
一	神奈川縣	三〇
一	新潟縣	三〇
一	富山縣	三〇



石川縣	16	岡山縣	17
福井縣	17	廣島縣	18
山梨縣	18	山口縣	19
長野縣	19	德島縣	20
岐阜縣	20	香川縣	21
靜岡縣	21	愛媛縣	22
愛知縣	22	高知縣	23
三重縣	23	福岡縣	24
滋賀縣	24	佐賀縣	25
京都府	25	長崎縣	26
大阪府	26	熊本縣	27
兵庫縣	27	大分縣	28
奈良縣	28	宮崎縣	29
和歌山縣	29	鹿兒島縣	30
鳥取縣	30	沖繩縣	31
島根縣	31		

一 本省提出協議事項決議

第一 農業水利ニ關シ法律ヲ制定スルニ付規定スヘキ事項..... 17

第二 耕地整理法規中改正ヲ要スト認ムル事項如何..... 17

答 申..... 17

決議..... 17

農林省印本

一 地方提出事項及決議

第一 耕地整理ニ關スル件..... 250

第二 事業資金ニ關スル件..... 254

第三 用排水主要工事國營ニ關スル件..... 255

第四 開墾助成ニ關スル件..... 256

第五 開墾地移住及經營ニ關スル件..... 261

第六 用排水幹線改良事業ニ關スル件..... 262

第七 農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件..... 264

第八 失業者ノ救濟並防止對策ニ關スル件..... 265

第九 其ノ他ノ事項..... 266

第二 時代ノ進運ニ伴ヒ耕地整理施行計畫上特ニ留意スヘキ事項..... 239

第三 耕地整理事務特ニ換地處分、地價配賦、登記等ヲ迅速適正ニ終了セシムルニ付採ルヘキ方法..... 239

第四 現下ノ經濟事情ニ應ジ開墾事業ノ借入金償還等經營指導上特ニ留意スヘキ事項..... 241

第五 開墾事業ニ對スル設計及工事監督ヲ一層周到ナラシムル方法..... 242

第六 開墾地ノ移住獎勵及農業經營指導ノ徹底ヲ期スル方法..... 243

第七 用排水幹線改良事業補助指令後迅速ニ工事ニ着手スルニ付留意スヘキ事項..... 244

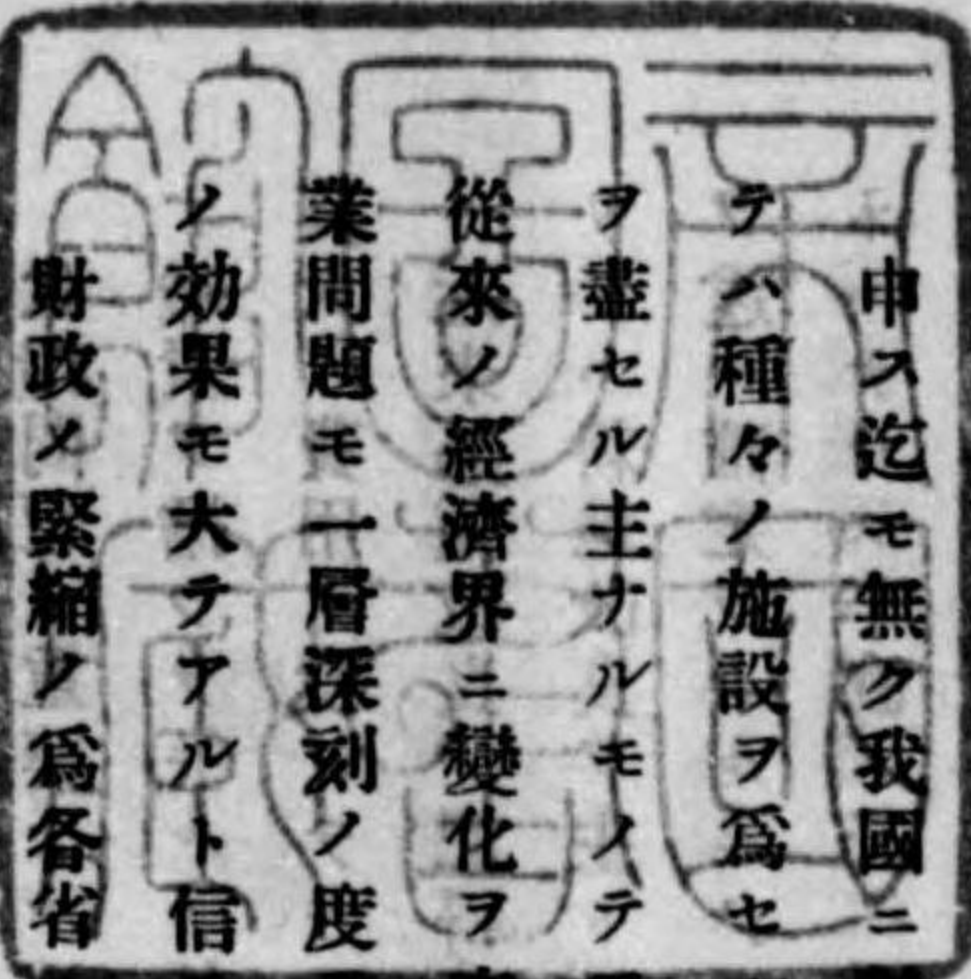
第八 農業水利改良其ノ他耕地事業ニ付其ノ計畫ト工事實施ノ結果トノ比較ニ於テ技術上參考トナルヘキ資料ヲ集ムルノ方法..... 246

第九 本省ニ於テ從來購入貸與セルモノノ外新ニ購入貸與スヘキ農用機械ノ種類..... 247

追加 用排水幹線改良事業獎勵及農業水利改良計畫ニ關シ改善ヲ要スト認ムル其ノ他ノ事項..... 249

耕地主任官會議要錄

農林大臣訓示



今回耕地主任官會議ノ開催セラレタルニ當リ所懷ノ一端ヲ述フル機會ヲ得タノハ幸トスル所ヲアル
 申ス迄モ無ク我國ニ於テハ從來何レノ内閣ニ於テモ食糧問題ノ根本的解決ニ努力シ食糧問題ニ關シ
 テハ種々ノ施設ヲ爲セルモ各位ノ責ヲ負ハルル耕地ノ改良、耕地ノ擴張ノ二ツハ農林省トシテ最モ力
 ヲ盡セル主ナルモイテアル特ニ現内閣カ出來經濟界ノ根本的建直シヲ爲ス爲ニ金解禁ヲ爲シ之カ爲ニ
 從來ノ經濟界ニ變化ヲ來シ公私經濟、國家財政ノ緊縮ヲ爲シタ爲ニサナキタニ各地ニ現ハレテ其失
 業問題モ一層深刻ノ度ヲ加ヘタノテアル之ヲ緩和スル爲ニ耕地事業ノ進展ヲ圖ル事ハ一ツノ手段ヲ其
 ノ効果モ大ナルト信スル所ナリ
 財政ノ緊縮ヲ爲各省ニ亘リ緩急ヲ計リ節約セルハ勿論事業ノ繰延ヲナシタルコトモ尠クハナイ諸君
 ノ御關係ノ耕地ノ改良、擴張ニ就テモ昭和五年ノ新ナ豫算ヲ其ノ増加スヘキ部分ニ斟酌ヲ加ヘタ而シ
 之ハ決シテ緊縮シタノテハナイ近ク財政ノ建直ヲナシタ曉ニハ此等ノ經費ノ増加ヲ見ルコトト信スル
 所ナラアル
 此處ニ申上ケ度イ事ハ農林省トシテ地方ニ農事ヲ中心トシテ蠶絲、水産等各方面ニ亘リ其ノ獎勵ノ

農林大臣訓示

爲ニ國家カ補助シテ井ル金額カ尠クナイコトテアル今年ノ農林省ノ經費約五千萬圓中ノ二千數百萬圓即チ其ノ四割乃至五割ハ此ノ補助金テアル今後確定シタル計畫ノ下ニ補助スヘキモノハ八億圓以上ニノホリ其ノ中ノ主ナルモノハ耕地擴張改良事業テアツテ之ハ諸君カ直接仕事ヲシテ居ラレル仕事ナノテアル

食糧問題カ重要ナルト同時ニ其ノ解決ノ鍵モ諸君ノ双肩ニ擔ハレテキルト云フヘキテアル斯ル重大ナ職責ヲ擔ツテ井ルカ故ニ局長等ヨリ指示注意シタルコトニ就テハ慎重ニ協議サレ國家カ原始産業ニ莫大ノ費用ヲ投シテ井ル所以ヲ諒トサレ度イノテアル

近來品種改良、肥料ノ改良其ノ他ニ伴ヒ米麥ヲ初メ農産物ノ收穫カ著シク増加シテ來テ井ル人ニヨリテハ耕地改良ヲ主トシ擴張ヲ第二ニ置クト云フ人モアル然シ耕地擴張等ノ計畫ハ從來十分ナル攻究ヲ遂ケ確定シタルモノテアルカラ之ヲ變化スルコトハ困難テアル將來ハ改良、擴張兩々相俟ツテ行カネハナラヌ卒直ニ云ヘハ全國ノ開墾事業ニ對スル精細ナル實績ハ未タ確定シテ了ツテ井ルトハ言ヘナイノテアツテ開墾助成ニ對シ陳情等モ耳ニシテ井ルノテアル國家トシテモ農林省トシテモ此ノ仕事ノ監督ヲ爲スハ勿論ナレ共直接仕事ニタツサハツテ井ル諸君ハ當初ノ計畫ト齟齬無キヤ否ヤ或ハ之ニ依リ何等カノ弊害ナキヤ等ヲ知ラネハナラナイ

局長等ヨリ示サレタト思フカ何レモ緊要ナ事項ニ相違ナイカ特ニ耕地擴張改良事業ノ現況趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針ニ就テ充分ナ意見ヲ出サレ度イ又近來水力電氣、山林方面トノ關係ヨリ農業水利ノ問題カ喧シクナリ水利法ニ付テモ諸君ノ經驗上斯クアル可キト言フ事ヲ述ヘラレ度イ開墾事業

ニ對スル設計及工事監督ヲ一層周到ナラシムル方法、用排水幹線改良事業補助指令後迅速ニ工事着手スルニ付テノ策等ニ關シテモ留意サレ度イノテアル

先般五年度ノ豫算ヲ作ル時農林省ノ豫算カ減少サレタト云フ人カアルカ私ノ見ル所テハ政府ハ原始産業ニ對シ他省ヨリモ豫算カ減少サレテ井ルコトハナイト思フ開墾助成ニ關スル經費、用排水ノ經費ハ工事カ豫期ノ成績ヲ見ス繰延ニナリ其ノ額カ數百萬圓ニ達シ爲ニ豫算ヲ縮メタカノ如キ觀カアルノテアル

耕地擴張、改良ノ二大政策ニ付テ今日特ニ此事業カ豫期ノ成績ヲ見タカ或ハ其ノ弊害ハ如何カト言フコトヲ考ヘル必要カアル世間テハ開墾助成ニ付非難スル者カアルカモ知レナイノテアル

局長ノ指示其ノ他ニ付御意見ヲ述ヘラレ我々ノ施設ノ參考ニ供シ度イノテアル
以上簡單ナル所感ヲ述ヘ各地ヨリ來ラレ此ノ重大ナル會議ニ參集サレタ事ヲ感謝スルモノテアル

農務局長指示

茲ニ地方耕地主任官會議ノ開催ニ當リ耕地ノ擴張改良事業ニ對スル本省ノ方針並要望ニ付テハ大臣ヨリノ訓示アルヘキモ予ハ聊カ細目ニ亘リテ諸君ノ留意ヲ希望セムトス
一、大規模閉墾用排水主要工事國營ニ關スル件

豫算ハ昨年度成立ヲ見タルモ實行豫算ノ編成ニ當リ一箇年ノ繰延ヲ行ヒ且七箇年ニ亘リ百萬圓ノ繼續豫算ニ改メ其ノ昭和五年度ニ屬スル經費二萬圓ヲ計上スルコトトナレリ固ヨリ之ニ依リテ各府縣

多方面ノ満足ヲ得ルコト困難ナリト雖本事業ハ本年度ニ於テ其ノ第一歩ヲ印スルコトナリ斯業發達ノ爲頗ル喜フヘシ今後中央地方協力シテ之カ發達ニ努力セムコトヲ望ム

二、耕地整理事業資金ニ關スル件

耕地整理事業資金トシテハ大藏省預金部ヨリ融通セラルル低利資金其ノ他遞信省簡易生命保險積立金ノ運用並耕地債券ノ發行及生命保險會社ノ資金ヲ耕地整理事業ニ融通スルヲ得ル等ニ依リ相當金融緩和ノ途ハ開カレタリト雖尙今後ニ於テモ資金ノ供給ニ關シ一層潤澤利便ナラシムルニ付考究中ナリ

地方ニ於テモ資金ノ融通ニ付テハ適當ニ指導セラレ其ノ圓滑ヲ期セラルルハ勿論資金ノ貸付年限並其ノ償還ニ付テハ今後一層ノ注意ヲ要スルモノト認メラルニ付之等ノ點ニ付テモ十分注意セラレムコトヲ望ム

三、開墾助成ニ關スル件

開墾事業ハ耕地事業中最モ複雑困難ナルモノナルヲ以テ之カ設計工事ノ施行若ハ其ノ財務ノ處理ニ付テハ細密ナル注意ト周到ナル指導監督トヲ必要トスルハ言ヲ俟タサル所ナルモ從來動モスレハ單ニ其ノ規模小ナルノ故ヲ以テ之カ監督ヲ忽ニシタル等ノ爲豫期ノ成績ヲ收ムルヲ得ス經營困難ニ陥レルモノナキニアラサルハ遺憾ニ堪ヘサルニ依リ一層留意アラムコトヲ望ム

開墾助成願ニ對スル指令時ニ著シク遲延シ地方ノ要望ニ副フ能ハサル場合アルハ遺憾トスル所ナリ現在ニ於テモ多數ノ未指令地區ヲ存スルカ右ハ多クハ豫算ノ都合ニ依ルモノニシテ已ムヲ得サル次

第ナルモ本省トシテハ事情ノ許ス限り豫算ノ増額ニ努ムルハ勿論既定豫算ノ範圍内ニ於テ可成多クノ指令ヲ速ニ爲ス爲豫算運用ニ付最善ノ方法ヲ講究シ居ル次第ナリ然ルニ既指令ノ地區ニシテ實際ノ上事業ヲ廢止、停止、繰延ヲ爲シ居ルニ不拘事業者カ手續ヲ怠リ居ル爲不必要ノ豫算ヲ之等ノ爲ニ保留シ居ルモノ尠カラス之等ニシテ整理セラルルニ於テハ右保留シ居タル豫算丈ケ新指令ニ振り向クルヲ得テ指定ヲ速カナラシムル一端トモ相成ル次第ナルニ付今後此ノ點ニ付十分ノ留意アルヘキハ勿論從來手續遲延シ居ルモノハ此ノ際一掃セラレムコトヲ望ム

四、開墾地移住經營ニ關スル件

開墾地移住獎勵ニ付テハ漸次其ノ施設モ擴張セラレ成績亦相當見ルヘキモノアリ而シテ政府ノ補助ニ對スル地方廳ノ要求モ逐年増加シ豫算ヲ超過スルノ狀況ナリ今後政府ニ於テモ益本制度ノ充實ヲ圖リ移住者ノ土着安定ニ資セムトスルノ方針ナルヲ以テ地方ニ於テモ一層之カ獎勵ニ努メララレムコトヲ望ム尙移住獎勵上移住紹介手續及汽車、電車、汽船ノ運賃割引制度ノ利用方ヲ周知セシメ一層本制度ノ實績ヲ擧ケラレムコトヲ望ム
開墾地經營ニ付テハ其ノ方法如何カ開墾事業ノ成果ニ甚大ナル關係ヲ齎スモノナルヲ以テ開墾事業獎勵ニ當リテハ工事終了後ノ土地ノ利用等ニ付十分ナル注意ヲ拂ヒ他ノ方面トモ聯絡ヲトリ適切ナル指導ヲ行ヒ以テ最モ有利ナル經營ヲ爲サシムルヲ要ス

移住獎勵制度、開墾地經營指導又ハ陸稻ノ優良品種配布、東北諸縣甘藷苗ノ供給斡旋、栽培指導等ノ如キ何レモ開墾地經營ヲ有利ニ導カムトスルノ趣旨ニ基クモノナルヲ以テ地方廳ニ於テモ一層指

導監督ニ努ムルト共ニ各種ノ調査研究ヲ遂ケラレ開墾事業最終ノ措置タル開墾地ノ經營ニ遺憾ナキヲ期セラムコトヲ望ム

五、用排水幹線改良事業ニ關スル件

用排水幹線改良事業ノ工事着手遅延ニ關シテハ前會議ノ際ニ於テモ指示シタル所ナルモ尙補助決定ノ趣旨ニ副ハス補助見込内牒濟ノモノニシテ速ニ補助申請ヲ爲サス往々年度切迫シ漸ク之カ手續ヲ爲スモノ又ハ補助指令濟ノモノニシテ容易ニ工事ニ着手セス甚シキハ年度ヲ經過スルモ其ノ運ニ到ラサルモノアルハ事業獎勵上甚遺憾トスル所ナリ蓋シ斯ル遅延ヲ來スハ止ムヲ得サル事情ニ依ルモノアルヘキモ地元關係者ノ事業計畫又ハ事業費負擔ニ關スル異議ニ因ルモノ尠カラズ此等ハ計畫上ノ缺陷アルカ又ハ地元關係者カ計畫内容ヲ熟知セサルニ基因スルモノト推定セラルルモノアリ今後ハ此ノ點ニ特ニ留意セラレ調査ヲ周到ニシ計畫ノ完璧ヲ期スルト共ニ事業企圖ニ先立テ地元關係者ニ其ノ内容ヲ周知セシメ又地元負擔アル場合ニ於テハ其ノ歩合等ニ付地元ト十分ナル協定ヲ遂ケ事業實施ニ際シ支障ヲ生セサル様注意シ事業ノ圓滑ナル進行ヲ圖ラレムコトヲ望ム

六、農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件

昭和二年度ヨリ開所セル埼玉縣北足立郡横會根村在ノ農用機械管理所ニ於テハ各種農用機械類ノ格納、修理、陳列等ヲ行ヒツツアリテ機械利用獎勵上便宜ヲ増進シツツアリ今後益々本施設ヲ利用セラレムコトヲ望ム

以上諸君ノ留意ヲ請フヘキ要項ヲ陳述セリ思フニ耕地ノ擴張改良事業タル今後益々多端ニシテ中央地

方一致協力シテ銳意其ノ事ニ當ラサルヘカヲサレハ勿論ナルヲ以テ本會議ニ於テハ相互腹藏ナク意見ヲ開陳シ充分ナル講究ヲ遂ケ以テ事業ノ獎勵ニ貢獻セラレムコトヲ望ム

耕地擴張改良事務取扱方ニ關スル耕地課長注意ノ件

一、耕地整理ニ關スル件

(一) 耕地整理ニ關スル各種報告書ノ提出方ニ付テハ從來屢々注意ヲ促セルコトアルモ猶取扱不備ノ爲照會往復ヲ重ヌル場合アリテ事務處理上支障少カラサルヲ以テ向後一層注意セラレ特ニ左記事項ニ關シ留意アリタキコト

- (イ) 工事着手、工事了其ノ他内訓第十一項(エ)ノ事項ニ關シ屢々報告漏ノモノアリ又往々甚シク遅レテ報告スル向アリ今後遲滞ナク報告セラレタキコト
- (ロ) 月纏報告ト然ラサルモノトハ必ス別途ニ報告スルコト
- (ハ) 月纏報告中設立施行認可ニ關スル事項ハ之ヲ一地區毎トセス可成一括シテ報告セラレタキコト
- (ニ) 換地處分ヲ行ハスシテ事業終了セルモノハ事業終了報告ノ際必ス其ノ旨ヲ附記セラレタキコト
- (ホ) 月纏報告ニ關スル本省ヨリノ照會ニ對シ直接回答ヲナス次ノ月纏報告中ニ包含セシメテ
- (二) 報告スル向アルモ照會ニ對シテハ必ス回答セラレタキコト

- (二) 縣管排水幹線改良事業ニ伴ヒ施行スル耕地整理ノ設計書中往々ニシテ兩事業ノ區分明カナラサルモノアリ又縣管事業ノ計畫ノミニシテ耕地整理事業ト認ムヘキ計畫ノ記載ナキモノアルヲ以テ之等ニ付イテハ其ノ設計書ニ耕地整理事業ニ關スル計畫ヲ明記シ縣管事業ニ關スル分ハ參考ノ程度ニ之ヲ記載セラレタク又費用豫算ハ兩事業ノ區分ヲ明確ナラシムルヲ要スルコト
- (三) 耕地整理ノ規約ハ費用ノ賦課、換地ノ交付等凡テ地區ノ實情ニ適スル様充分研究ノ上規定シ且其ノ勵行ヲ期セラレタキコト

二、低利資金ニ關スル件

- (一) 開墾事業ニ供給スル低利資金ハ事業費ノ負擔重ク、財務計畫上之カ償還ニ長年賦ヲ要スルモノニ對シ可成多額ニ之ヲ供給シ殘餘アリタル場合ニ於テ其ノ他ノモノニ配當スル等資金利用上充分留意セラレタキコト
- (二) 低利資金ノ償還年限ニ付テハ地區ノ實狀ニ鑑ミ當初ニ於テ適當ナル期間ヲ定ムルコトニ留意シ中途償還困難ノ爲其ノ償還年限延長ノ必要ヲ生スル如キコトナカラシムル様指導セラレタキコト

三、開墾助成ニ關スル件

- (一) 事業施行ニ對スル財務ノ計畫ハ當初充分ノ研究ヲ重ネ確實ニ實行シ得ヘキモノヲ作製セシム

ヘキハ勿論一旦計畫樹立ノ上ハ之ヲ勵行シ多少ノ障害ニ遭遇スルカ如キコトアルモ溢リニ之ヲ變更スルコトナク豫定計畫ノ遂行ニ努メシメラレタキコト

- (二) 大正十二年七月六日附食局第二七二六號通牒助成ヲ出願スヘキ事業中大面積又ハ特種ノモノノ豫メ報告方ノ條件ニ付テハ地方ニ依リ報告漏ノ向アリ自今勵行アリタキコト
 - (三) 開墾助成ニ關スル設計書中往々計畫ノ説明簡ニ失シ其ノ適否ヲ審査スルニ困難ナルモノアリ一層周到ニ説明セシメラレタキコト
 - (四) 工事費算出ノ基礎タル歩掛及單價ハ同一地方同時期ノ設計書ニ於テモ往々相違セルモノアリ之カ統一ニ付注意セラレタキコト
 - (五) 數事業年度ニ亘ル支出額ニ對シ一括シテ助成金ヲ請求スル場合ニ於テモ收支計算書及事業成績書ハ各事業年度毎ニ作製シ之ヲ添附スルコト
- 四、開墾地移住獎勵ニ關スル件
- (一) 開墾地ノ移住ニ關スル事業ハ當業者ヲシテ開墾事業ノ當初ニ於テ計畫ヲ樹テシメ移住家屋及共同建造物ノ建築又ハ移住民ノ保護獎勵等ニ關スル施設ヲ爲サシムル様當業者ヲ指導セラレタキコト
 - (二) 開墾地移住獎勵手續ハ昨年改正ヲ行ヒ一戸當國庫補助金ノ増額ト工事明細書ノ様式ヲ明示セリ因テ大部分ノ府縣ハ之ニ準據シテ開墾地移住獎勵規程ヲ改正セラレタルカ未ダ改正セサル府縣ニ於テハ速ニ改正ノ手續ヲ採ラレタキコト

(三) 移住家屋及共同建造物ノ設計ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルモノト實際建築セルモノト甚シク差異ナカラシメ特ニ共同建造物ハ豫算ニ對シ補助金ヲ交付スルモノナレハ豫算額ヨリ決算額ノ低下スル場合ハ開墾地移住獎勵手續第九項ニ基キ補助金ノ一部ヲ返還セシムルコトアレハ相當指導セラレタキコト

(四) 宅地ノ配置ニ付テハ昭和四年七月一日附開墾地移住獎勵ニ關スル注意事項第一項ニ注意スル所アリタルモ農業經營又ハ生活上ノ點ヨリ特ニ地區ニ隣接セル地區外ニ宅地ヲ選定スル必要アル場合ニハ豫メ打合セ處理セラルルヲ便トスルコト

五、大規模開墾計畫ニ關スル件

(一) 未タ實施計畫ノ行ハレサル當該開墾見込地ニ對シテハ成ルヘク計畫ノ要素ト成ルヘキ水利、氣象及農事ニ關スル記錄ヲ豫メ整備シ計畫實施ニ際シ長年期ニ亘ル資料ニ依ルノ便アラシムル様常ニ留意セラレタキコト
又當該地區ニ對シ可成差當リ府縣ニ於テ概測或ハ踏査ニ依リ大體ノ開發方針ヲ豫想シ適宜調書ヲ整備セラレタキコト

六、土地利用計畫ニ關スル件

(一) 各府縣ノ開墾ニ關スル基本調査又ハ水利調査等ヲナス場合若ハ土地利用計畫完成地區ニシテ其ノ計畫ヲ變更シ又ハ實施設計ヲサントスルモノニ對シテハ事情ニ依リ本省ニ於テモ出來得ル限り指導若ハ援助ヲ爲スヘキニ依リ當該調査又ハ設計ニ際シテハ豫メ本省ト打合セノ上進行セラ

レタキコト

(二) 土地利用計畫班ノ出張期間ハ豫算ノ關係上比較的短時日ニ制限セラルルヲ以テ用水源ノ豫定地點、河川ノ水位、流量等ハ府縣ニ於テ豫メ調査ヲ行ヒ以テ計畫上ノ便宜ヲ圖ラレタキコト

(三) 土地利用計畫地區ハ府縣ニ於テ一應踏査ヲ了シタルモノニ付申請セラレタキコト尙踏査ニ關スル見込ニ就テハ可成其ノ概要ヲ附記セラレタキコト

(四) 土地利用計畫地區ノ事業實施ニ付テハ一層促進ノ方法ヲ講セラレタキコト

七、農業水利改良計畫ニ關スル件

農業水利改良計畫希望ノ地區ハ近ク實行ノ見込確實ナルモノニ付申請セラル可ハ勿論ナルモ計畫ノ基礎トナルヘキ材料即チ雨量、河川又ハ溜池等ノ流出量、洪水量及洪水位、被害面積及其ノ程度等ハ相當長期ノ觀測又ハ調査ヲ必要トスルモアリ之等ノ事項ハ計畫ノ完全ヲ期スル爲最モ緊要ナル事項ナルヲ以テ計畫着手ニ先立テ豫メ十分ナル手配ヲナシ材料ノ蒐集ニ遺憾ナキヲ期スルヲ要ス從來ノ經驗ニ徵スルニ實行ニ急ナル餘リ基礎材料ニ關スル豫備調査ヲ行フヘキ時日ヲ缺キ計畫上遺憾トスルモノナシトセ本省ハ右材料ノ完備如何ヲ斟酌シテ計畫着手ノ順序ヲ定ムル次第ナレハ豫備調査ニ就テハ豫メ本省ト打合セラレ度特ニ關係區域廣汎ニ涉リ調査上相當年月ヲ要スルモノニ在リテハ本省ニ於テ必要ト認ムルトキハ直接之ヲ行フヘキニ依リ豫メ打合セラレタキコト

八、農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件

(一) 農用機械管理所ハ昭和二年開所以來三箇年ヲ經過セリ其ノ間地方廳ノ依頼ニヨリ牽曳機操縱

者ノ養成ヲナシタルモノ三十五名アリ其ノ内六人ハ既ニ牽曳機操縦ノ經驗アリシヲ以テ七日間ノ指導ヲ爲シ殘ル二十九名ハ何等豫備智識ナカリシヲ以テ二十五日間在所セシメ理論ト實地トノ教導ヲナシタリ特ニ溜池ノ築堤ニ從事スル者ハ一箇所ニ三四年ヲ費シ一日中僅ニ二、三時間ノ作業ナルヲ以テ組合員中ノ子弟ノ適當ナル者ヲ選ヒ教養セリ孰レモ歸府縣後ノ成績良好ニシテ企業者ノ満足スル所ナリ本省ハ努メテ此ノ種ノ養成希望ニ應スヘキヲ以テ豫メ本省ト打合セノ上派遣セラレタキコト

(二) 農用牽曳機ハ昭和四年度末現在ニ於テ大型三十九臺アリ其ノ内修理ノ爲昭和二年度ニハ六臺、同三年度ニハ八臺、同四年度ニハ五臺ヲ引上タリ緊急ノ場合ニハ在庫中ノ相當馬力ノモノヲ交換送付シ作業ノ進行ヲ妨ケサル様注意シ其ノ他ハ可成速ニ修理シテ再貸與ヲナセリ何レモ送還先ニ於テハ満足ニ作業ニ從事シツツアリ管理所ノ設備ハ此ノ種ノ要求ニ應シ得ルヲ以テ貸與機、機中破損ノ甚シキモノアラハ其ノ事由ヲ具シ本省ト打合セラレタキコト

(三) 管理所ニ於テ拔根機ノ大破シ殆ト其ノ用ヲ爲ササルモノニ對シ修理ヲ施セルモノ昭和二年度ニ於テK型人力用拔根機七臺、カースチン型拔根機四臺、同三年度ニ於テK型馬力用拔根機一臺、K型人力用拔根機四臺、カースチン型拔根機一臺、同四年度ニ於テハK型馬力用拔根機五臺、K型人力用拔根機二五臺、カースチン型拔根機一四臺、エキストラクトル型一臺アリ再ヒ希望地ニ貸與シテ拔根作業ニ使用シツツアリ管理所ノ設備ハ此ノ種ノ要求ニ應シ得ヘキヲ以テ若シ貸與中ノモノニシテ修理ノ必要アルモノハ其ノ事由ヲ具シ本省ト打合セラレタキコト

(四) 農用機械購入ニ對シ補助金交付ノ制度アルモ從來拔根機ノ購入、補助ニ止リシカ昭和四年度ニ於テハ埼玉縣及宮崎縣ヨリ牽曳機及其ノ附帶農具ノ購入費ニモ補助スルニ至レリ補助金交付額ハ昭和二年度以前ニ於テ壹萬貳千貳百拾四圓、昭和三年度貳千圓、同四年度壹萬參千貳百九拾壹圓ナリ今後地方ニ於テ購入セラルル場合ニハ適當品ノ選擇、評價検査其ノ他購入後ノ管理ニ對シテモ本省ニ於テハ尙充分ニ斡旋ノ勞ヲ執ルヘキニ付申出ラレタキコト

九、地下水利用ニ關スル件
地下水ヲ暗渠又ハ横坑ヨリ自流セシメテ利用スルハ一應簡便ナルカ如シト雖非灌漑時ニモ尙地下水ノ放流ヲ繼續シ水ヲ濫費スルモノ多キ結果集水區域内ノ地下水位ヲ遞下セシメ途ニ當初ノ水量ヲ湧出セシムルコト能ハサルニ至ル故ニ地下水源ヲ涵養シ其ノ利用ヲ完ウセンカ爲ニハ必要水量ノミヲ採ルニ止メ不必要ナル時ニ放流セシメサル様注意セラレタキコト

出席者 (九十五名)

地方名	官名	氏名	岩手	地方整理課長	地方農林技師	地方農林技師
北海道	北海道廳技師	中島 淺五郎	坂部 重遠	川崎 自省	奥村 守一	青森 同 農林主事
山形	同 農林主事	野澤 文治	宮城	地方農林技師	原田 嘉種	青森 同 農林主事
青森	同 農林主事	山田 稔	地方農林技師	地方農林技師	後藤 榮治	青森 同 農林主事
青森	同 農林主事	相馬 章夫	地方農林技師	地方農林技師	後藤 榮治	青森 同 農林主事

出席者

秋田	耕地方技師	齋藤美代司	東京	長谷川宗三郎
山形	農林主事補	石塚欣太郎	地方農林技師	磯山義介
山形	農林技師	守能邦人	地方農林技師	國安正五郎
福島	農林技師	猿谷環	農林技師	檜野盛吉
福島	地方農林技師	安部龜五郎	地方技師	矢儀平一
茨城	地方農林技師	市橋友次郎	地方技師	大津新次郎
茨城	地方農林技師	大澤時藏	地方農林主事	山田平五郎
栃木	地方農林技師	村岡岩記	地方農林主事	富樫幸次郎
栃木	地方農林技師	庄野研次	農林主事	川村長作
群馬	地方農林技師	清水敬信	農林主事	鈴木泰次
群馬	地方農林技師	菊地清兵衛	農林技師	大竹憲成
埼玉	地方農林技師	山元昇	地方農林技師	中橋政治
埼玉	地方農林技師	今成一郎	地方農林技師	宗村正義
千葉	地方農林技師	佐藤新太夫	農林主事補	吉田壁作
千葉	地方農林技師	山中謙輔	農林技師	瀧波良太郎
			地方農林技師	豐田
			地方農林技師	直樹

一四

岐阜	農林主事補	櫻井一	石井定藏
岐阜	地方農林技師	遠藤正重	岡部清
静岡	地方農林技師	鷺見昇	中野市藏
静岡	地方農林技師	雨澤常夫	後藤芳五郎
静岡	地方農林技師	深澤榮伴	石井家吉
愛知	地方農林技師	磯谷清作	戸松海市
愛知	地方農林技師	横田利喜一	宇都宮四郎
三重	地方農林技師	村光良太	中島愿三
三重	地方農林技師	山中光良	草野八治
滋賀	地方農林技師	前田榮太郎	田原剛
滋賀	地方農林技師	水野哲	桐原國平
京都	地方農林技師	高橋藤五郎	武富憲時
京都	地方農林技師	七里駒市	阿曾沼要次郎
大阪	地方農林技師	小森谷光三	牧健治
大阪	地方農林技師	上村文造	奧田信治
兵庫	地方農林技師	野呂勇之助	鈴木信夫
兵庫	地方農林技師	野呂勇之助	柳原鹿松

一五

農林技師	三木恒市	熊本	樺島多賀助
耕地技師	田中十三男	大分	三尾純太郎
地方技師	宗崎周吉	後藤泰藏	
地方技師	佐藤圭一	宮崎	林進士
地方技師	伊藤	屬	福田龜次
地方技師	石川房吉	鹿兒島	竹内末五郎
地方技師	村山安次	農林技師	新村助吉
地方技師	重政庸徳	地方技師	吉田忠一
地方技師	松永繁一	技師	坊下嘉正

本省提出諮問事項及協議事項

甲 諮問事項

- 第一 耕地擴張改良事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針如何
- 第二 耕地整理法規中改正ヲ要スト認ムル事項如何

乙 協議事項

- 第一 農業水利ニ關シ法律ヲ制定スルニ付規定スヘキ事項

- 第二 時代ノ進運ニ伴ヒ耕地整理施行計畫上特ニ留意スヘキ事項
- 第三 耕地整理事務特ニ換地處分、地價配賦、登記等ヲ迅速適正ニ終了セシムルニ付採ルヘキ方法
- 第四 現下ノ經濟事情ニ應ジ開墾事業ノ借入金償還等經營指導上特ニ留意スヘキ事項
- 第五 開墾事業ニ對スル設計及工事監督ヲ一層周到ナラシムル方法
- 第六 開墾地ノ移住獎勵及農業經營指導ノ徹底ヲ期スル方法
- 第七 用排水幹線改良事業補助指令後迅速ニ工事ニ着手スルニ付留意スヘキ事項
- 第八 農業水利改良其ノ他耕地事業ニ付其ノ計畫ト工事實施ノ結果トノ比較ニ於テ技術上參考トナルヘキ資料ヲ集ムルノ方法
- 第九 本省ニ於テ從來購入貸與セルモノノ外新ニ購入貸與スヘキ農用機械ノ種類
追加 用排水幹線改良事業獎勵及農業水利改良計畫ニ關シ改善ヲ要スト認ムル其ノ他ノ事項

議事經過

第一日 (五月二十七日)

午前十時開會 (中央會議所) 各地方ヨリ主任官其ノ他九十五名朝鮮總督府ヨリ事務官美根五郎、技師藤原高、臺灣總督府ヨリ屬鈴樹忠信、樺太廳ヨリ技師確永誠ノ出席アリ石黒農務局長、有働耕地課長以下各係官列席シ冒頭農務局長ノ指示アリ次テ耕地課長ノ耕地擴張改良事務取扱ニ關スル注意アリタル後局長議長席ニ着キ諮問事項第一「耕地擴張改良事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方

針如何」及第二「耕地整理法規中改正ヲ要スト認ムル事項如何」ニ關シ答申セシム諮問事項第二ニ付
 キ富山縣ヨリ耕地整理ノ範圍ヲ擴張シ農村計畫ヲモ爲シ得ル様セラレタキコト並耕地整理組合員ニ小
 作人ヲ加ヘラレタキ旨ノ意見アリ岐阜、神奈川、福岡、三重其ノ他ヨリ順次意見並答申アリ正午休憩
 午後一時半 橘川商工省度量衡檢定所長ノ「度量衡改正ニ就キテ」ト題スル講演アリ右講演中午後
 二時町田農林大臣臨場別項訓示ヲナス講演後午後三時ヨリ更ニ諮問事項第二ノ答申ヲ續行シ島根縣外
 十五縣ヨリ答申アリ佐賀縣其ノ他ヨリ耕地整理組合長ニ組合費強制徵收ノ途ヲ開カレ度キ要望アリテ
 耕地課長ヨリ此ノ問題ニ對スル從來ノ經過ヲ陳ヘ四時散會

第二日 (五月二十八日)

午前九時半開會 有働耕地課長議長席ニ着キ日程ニ先立テ埼玉縣ヨリ失業者救濟防止ノ對策トシテ
 國營開墾、耕地整理事業、開墾助成事業、用排水幹線改良事業等ノ如キハ適當ナル事業ナリトノ意見
 アリ之ニ對シ議長ヨリ説明アリテ參考ノ爲本年五月二十四日地方長官會議ニ於ケル農林大臣ノ訓示及
 注意事項ヲ示セリ岐阜、秋田、宮崎、奈良ノ各縣ヨリ夫々事情ヲ具陳シ意見ノ交換アリ

次テ日程ニ移リ協議事項第一「農業水利ニ關シ法律ヲ制定スルニ付規定スヘキ事項」ニ付有働課長
 ヨリ説明アリ埼玉縣其ノ他ヨリ規定スヘキ條件ノ具陳アリ

次テ第二「時代ノ進運ニ伴ヒ耕地整理施行計畫上特ニ留意スヘキ事項」ニ付協議シ岐阜、秋田、神
 奈川ノ各縣ヨリ農村計畫道路網等ニ就キテ留意セラレタキ旨ヲ陳ヘ正午休憩

午後一時半再會 協議事項第三「耕地整理事務特ニ換地處分地價配賦登記等ヲ迅速適正ニ終了セシ

ムルニ付採ルヘキ方法」ニ付長野、福岡兩縣ヨリ稅務署、裁判所等ニ於ケル耕地整理關係吏員ノ少キ
 ヲ陳フ第四ハ日本勸業銀行關係者ノ出席ヲ待チテ協議スルコトトシ第五「開墾事業ニ對スル設計及工
 事監督ヲ一層周到ナラシムル方法」ニ付岐阜縣ヨリ開墾地ノ用水節約試驗田ノ經營並其ノ試驗成績ニ
 付精細ニ具陳シ又佐賀縣ヨリ畑地灌溉ニ依ル稻作ノ計畫ニ付陳フル所アリ日本勸業銀行關係者ノ出席
 アリテ第四「現下ノ經濟事情ニ應シ開墾事業ノ借入金償還等經營指導上特ニ留意スヘキ事項」ニ付茨
 城、秋田、岐阜、栃木、宮城、千葉ノ諸縣ヨリ夫々米價下落ニ依ル開墾事業借入金償還ノ困難ナル事
 情ヲ具陳シ償還年限延長ヲ要望シ又福岡縣ヨリ災害ニ依ル中間据置ノ例ヲ示セリ四時散會

第三日 (五月二十九日)

午前九時半開會 石黒農務局長席ニ着キ日程ニ入り協議事項第六「開墾地ノ移住獎勵及農業經營指
 導ノ徹底ヲ期スル方法」ニ付栃木、宮崎、香川ノ各縣ヨリ要望アリ開墾地ニ於ケル自作農創設問題ニ
 付テハ特ニ議長及坂田農林技師ノ説明アリ引續キ第七「用排水幹線改良事業補助指令後迅速ニ工事ニ
 着手スルニ付留意スヘキ事項」ニ付富山、千葉、岐阜ノ各縣ヨリ起債ノ認可ニ關シ要望アリ正午休憩
 協議事項第八「農業水利改良其ノ他耕地事業ニ付其ノ計畫ト工事實施ノ結果トノ比較ニ於テ技術上
 參考トナルヘキ資料ヲ集ムルノ方法」第九「本省ニ於テ從來購入貸與セルモノノ外新ニ購入貸與スヘ
 キ農用機械ノ種類ニ付協議シ次テ地方提出協議事項、第一耕地整理ニ關スル件、第二事業資金ニ關ス
 ル件、第三用排水主要工事國營ニ關スル件、第四開墾助成ニ關スル件、第五開墾地移住及經營ニ關ス
 ル件、第六用排水幹線改良事業ニ關スル件、第七農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件、第八其ノ他ニ付夫

々説明並應答アリ

諮問事項及協議事項ハ之ヲ委員會ニ附託シテ審議スルコトトシ議長ヨリ別記ノ通委員ヲ指名セリ午
後三時半ヨリ農林技師田町正譽ノ「歐米ニ於ケル土地改良事業所見」ト題スル講演アリ五時散會

委員會委員氏名

第一委員會

本省提出諮問事項第一 耕地擴張改良事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針如何

本省提出協議事項第二 時代ノ進運ニ伴ヒ耕地整理施行計畫上特ニ留意スヘキ事項

- | | | | | | |
|----|-------|----|------|-----|-------|
| 宮城 | 原田嘉種 | 福島 | 大澤時藏 | 埼玉 | 佐藤新太夫 |
| 新潟 | 山田平五郎 | 福井 | 宗村正義 | 長野 | 櫻井一 |
| 滋賀 | 水野哲 | 奈良 | 岡部清 | 鳥取 | 石井家吉 |
| 岡山 | 中島愿三 | 徳島 | 牧健治 | 高知 | 田中十三男 |
| 熊本 | 樺島多賀助 | 沖繩 | 吉田忠一 | 北海道 | 中島淺五郎 |
| 静岡 | 岡深澤榮伴 | | | | |

第二委員會

本省提出諮問事項第二 耕地整理法規中改正ヲ要スト認ムル事項如何

本省提出協議事項第三 耕地整理事務特ニ換地處分、地價配賦登記等ヲ迅速適正ニ終了セシムルニ付採ルヘキ方法

地方提出事項第一 耕地整理ニ關スル件

- | | | | | | |
|-----|-------|----|------|----|------|
| 北海道 | 野澤文治 | 青森 | 山田稔 | 岩手 | 川崎自省 |
| 福島 | 市橋友次郎 | 茨城 | 清水敬信 | 栃木 | 矢島敏彦 |

第三委員會

本省提出協議事項第一 農業水利ニ關シ法律ヲ制定スルニ付規定スヘキ事項

本省提出協議事項第六 開墾地ノ移住獎勵及農業經營指導ノ徹底ヲ期スル方法

地方提出事項第五 開墾地移住及經營ニ關スル件

地方提出事項第九 其ノ他ノ事項

- | | | | | | |
|----|------|----|-------|----|-------|
| 岩手 | 奥村守一 | 山形 | 安部龜五郎 | 栃木 | 菊地清兵衛 |
| 埼玉 | 前川純三 | 石川 | 大竹憲成 | 長野 | 林直治 |
| 岐阜 | 遠藤正重 | 静岡 | 磯谷清作 | 三重 | 山崎周善 |
| 京都 | 上村文造 | 大阪 | 小森谷光三 | 奈良 | 中野市藏 |
| 廣島 | 田原剛 | 高知 | 宗崎周吉 | 長崎 | 重政庸德 |
| 宮崎 | 林進士 | | | | |

第四委員會

本省提出協議事項第四 現下ノ經濟事情ニ應ジ開墾事業ノ借入金償還等經營指導上特ニ留意スヘキ事項

本省提出協議事項第五 開墾事業ニ對スル設計及工事監督ヲ一層周到ナラシムル方法

地方提出事項第二 事業資金ニ關スル件

議事經過

議事經過

地方提出事項第三 用排水主要工事國營ニ關スル件
地方提出事項第四 開墾助成ニ關スル件

岩手	坂部重遠	秋田	齋藤美代司	茨城	村岡岩記
群馬	山元昇	千葉	山中謙輔	神奈川	矢儀平一
石川	中橋政治	福井	吉田壁作	静岡	雨森常夫
京都	高橋藤五郎	鳥取	戸松海市	山口	武富憲時
愛媛	三木恒市	長崎	松永繁一	大分	後藤泰藏
鹿兒島	竹内末五郎				

第五委員會

本省提出協議事項第七 用排水幹線改良事業補助指令後迅速ニ工事ニ着手スルニ付留意スヘキ事項

本省提出協議事項第八 農業水利改良其ノ他耕地事業ニ付其ノ計畫ト工事實施ノ結果トノ比較ニ於テ技術上參考トナルヘキ資料

ナ集ムルノ方法

本省提出協議事項追加 用排水幹線改良事業獎勵及農業水利改良計畫ニ關シ改善ヲ要スト認ムル其ノ他ノ事項

地方提出事項第六 用排水幹線改良事業ニ關スル件

秋田	石塚欣太	山形	猿谷環	茨城	庄野研次
群馬	今成一郎	東京	國安正五郎	神奈川	大津新次郎
富山	川村長作	山梨	豊田巖	愛知	横田利喜一
三重	前田榮太郎	兵庫	野呂勇之助	島根	宇都宮四郎
山口	阿曾沼要次郎	愛媛	柳原鹿松	佐賀	石川房吉
大分	三尾純太郎				

第六委員會

本省提出協議事項第九 本省ニ於テ從來購入貸與セルモノ、外新ニ購入貸與スヘキ農用機械ノ種類

地方提出事項第七 農用機械ノ利用獎勵ニ關スル件

地方提出事項第八 失業者ノ救済並防止對策ニ關スル件

青森	相馬章夫	宮城	後藤榮治郎	山形	守能邦人
千葉	長谷川宗三郎	東京	磯義介	山梨	瀧波良太郎
岐阜	鷺見昇	愛知	中光良太	大阪	金子武男
和歌山	後藤芳五郎	廣島	桐原國平	香川	鈴木信夫
福岡	佐藤圭一	宮崎	福田龜次	沖繩	坊下嘉正

第四日 (五月三十日)

午前九時半ヨリ各委員會ヲ開會シ第一委員會ハ原田嘉種、第二委員會ハ市橋友次郎、第三委員會ハ林進士、第四委員會ハ村岡岩記、第五委員會ハ野呂勇之助、第六委員會ハ佐藤圭一ヲ委員長トシテ夫々協議シ午後四時散會

第五日 (五月三十一日)

前日ニ引續キ午前九時半ヨリ委員會ヲ開會正午散會

第六日 (六月二日)

午前九時開會 石黒農務局長、有働耕地課長以下係官列席農務局長議長席ニ着キ直テニ本會議ニ入ル各委員長ヨリ夫々委員會ノ報告ヲナシ報告通可決確定セリ最後ニ石黒農務局長ノ挨拶アリテ午後四

時閉會

本省提出諮問事項答申及決議

第一 耕地ノ擴張及改良事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル指導獎勵方針如何

全國概況

全國各地方ヨリノ答申ヲ通覽スルニ各其ノ地方的、狀況ヲ異ニスルヲ以テ之ヲ約言スルコト困難ナリト雖今其ノ總括的ノ概況ヲ窺ヘハ左ノ如シ

耕地擴張事業即チ開墾、干拓、埋立、地目變換、荒地復舊等ハ主トシテ耕地整理事業トシテ施行セラレ尙耕地改良事業ト併營セラルル場合多シ本邦ニ於ケル國土利用ノ狀況ヲ見ルニ國土面積ハ三千八百四十七萬五千餘町步ニシテ内既耕地トシテ利用セラルルモノ六百七萬八千餘町步其ノ割合一割五分八厘ナリ而シテ將來耕地トシテ利用シ得ラルヘキ未墾地二百餘萬町步アリテ銳意之カ開發ニ努メ各道府縣共其ノ成績ヲ擧ケツツアリ

耕地改良事業即チ既耕地ノ灌溉、排水設備ノ改善、水害復舊及之等ニ伴フ區劃ノ整理等ハ明治三十三年耕地整理法施行以來各地共之カ獎勵指導ニ努メツアルモ猶田ニ於テ灌溉水ノ不足セルモノ五十七萬八千町步平時排水不良ナルモノ五十六萬九千町步、洪水ノ場合一時的浸水ノ被害アルモノ五十一萬

四千町步アリテ今後ノ改良ニ俟ツヘキモノ亦尠カラス

今耕地ノ擴張改良事業ノ主ナルモノニ付順次現況ヲ示サントス但シ北海道ハ開墾助成法ノ適用ナク拓殖計畫ニ基キ施行サルヲ以テ茲ニハ便宜上示ササルコトトセリ

一、耕地整理事業

耕地整理法ノ施行セラレタル明治三十三年以來昭和五年四月迄ニ認可セラレタル地區數一萬九千五百、面積九十一萬町步、整理費四億九千八百六十萬圓ニ及ヒ而シテ其ノ面積多キ地方ハ新潟、宮城、福島、福岡、山形、鹿兒島、千葉、秋田ノ諸縣各三萬町步以上ヲ占メ其ノ少キハ北海道、沖繩、和歌山、徳島、山梨ノ道縣ニシテ各六千町步以下ナリ尙右認可セラレタルモノノ内工事完了セルモノ一萬九百地區四十四萬町步、換地處分認可済ノモノ九千地區、三十八萬七千町步、事業終了セルモノ五千地區、二十萬五千町步ヲ算ス

二、耕地整理事業補助

府縣ニ於ケル耕地整理事業補助（宮崎ハ缺ク）ハ耕地整理事業獎勵ノ爲豫算ノ範圍内ニ於テ交付シ其ノ交付標準及交付歩合ハ各府縣ニ依リテ相異スルモ昭和四年度ニ於テハ其ノ豫算額百七十九萬六千六百十四圓ニシテ之ニ對シ國庫補助額三萬八千四百四十九圓ヲ受ケタリ府縣ニ於ケル此ノ豫算ノ多キハ岡山、福岡、青森、愛知、茨城、福島ノ各縣ニシテ何レモ七萬圓以上ヲ計上セリ

三、開墾助成事業

開墾助成法ノ施行セラレタル大正八年六月以來昭和五年四月末迄ニ農林省（助成）ノ出願シタルモノ

三千五百六十地區、面積九萬九千五百町步ニシテ内耕地整理法ニ依リテ施行セラレタルモノ三千三百六十地區、面積九萬百町步、地租條件ニ依リタルモノ二百地區、面積九千四百町步ナリ其ノ面積多キ地方ハ神奈川、岩手、青森、岡山、宮城ノ諸縣ニシテ各四千町步以上ヲ占メ其ノ少キハ大阪、東京、徳島、奈良、島根、京都ノ諸府縣ニシテ各五百町步以下ナリ

四、開墾地移住獎勵補助

大正九年以來府縣ニ開墾地移住獎勵規程ヲ設ケ開墾地移住家屋共同建造物ノ建築ニ對シ獎勵金ヲ交付シ來リタルモノ四十一府縣ニ及ヒ昭和四年度迄ニ之カ爲國庫補助ヲ受ケタル額百四十八萬八千三百二十五圓其ノ戶數家屋七千七百七戸、共同建造物八十七棟ニシテ其ノ最モ多キハ千葉、宮崎、福島、長野、岡山、栃木ノ諸縣ナリ尙本施設ニ伴ヒ開墾地移住紹介及開墾地移住者ニ對スル汽車、電車、汽船ノ運賃割引ヲ行ヒ本省ト協力シテ獎勵ニ努メツツアリ

五、用排水幹線改良事業

用排水幹線改良事業補助要項ニ依リ農林省ヨリ補助金ノ交付ヲ受ケ府縣營ヲ以テ施行スルニ至リタルモノハ大正十二年以來昭和五年三月末迄ニ百五十三箇所、其ノ受益面積十八萬九千一百一町步ニ及ヒ四十府縣ニ亘レリ内岐阜、埼玉、新潟、富山、愛知ノ諸縣ハ各一萬町步以上ノ受益面積ヲ有セリ

六、農用機械ノ利用獎勵

農用機械ノ貸與ヲ本省ニ於テ開始シタル大正八年以降之カ貸與ヲ受ケタルモノハ牽曳機三十二道府縣、拔根機三十五道府縣アリ又本省ヨリ補助ヲ受ケテ機械ヲ購入シ或ハ事業者ノ購入ニ對シテ補助

ヲナシタルモノ十九府縣アリ

七、其ノ他ノ指導獎勵

各地方共事業ノ指導獎勵ノ爲調査、設計工事監督、事務指導、農業水利調査等ヲ行ヒ近年ニ至リテハ排地協會ノ如キ民間團體ヲ設ケテ耕地整理事務ノ一部ヲ委託シ事務ノ進捗ヲ圖リ又隨時講習會、講習會ヲ開催シテ斯業ノ知識ヲ普及セシメツツアリ

趨勢

耕地ノ擴張改良事業ハ一般經濟界ノ變遷ニ依リ其ノ影響ヲ受クルコト多大ニシテ消長亦常ナラスト雖之ヲ耕地擴張事業ニ就テ見ルニ大正八年開墾助成法發布以來事業ヲ企畫スル者各地ニ續出セルカ最近ニ至リ米價ノ下落等經濟界ノ不況ヲ來シ農業經濟ヲ逼迫セシメ一方事業資金ノ梗塞ニ依リ新規事業ヲ躊躇スル傾向アリ然リト雖自家勞力ニ依ル小規模ノ開墾事業ハ相當ニ行ハレ又民間ニ於テ實施困難ナル大規模開墾事業ハ經濟界ノ不振ニ際シ之ヲ府縣營又ハ國營ヲ以テ起業セララルコトヲ切望シツツアリ

次ニ耕地改良事業ニ就テ見ルニ之亦經濟界不況ノ影響ヲ蒙リ幾分ノ沈滞ヲ來シタリト雖費用少クシテ其ノ効果顯著ナル灌漑排水設備ノ改善ハ相當ニ行ハレ特ニ用排水幹線改良事業ハ大正十二年創始以來企業スルモノ續出セリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

將來ニ對スル事業ノ指導獎勵方針ハ各道府縣ニ依リ各其ノ事情ヲ異ニシ從テ其ノ方針極メテ多岐ニ亘

ルト雖其ノ大約ノ傾向ヲ類別スレハ左ノ如シ

一、調査設計工事監督、事務指導ヲ一層充分ニ行ハントス

道府縣全部

二、基本調査殊ニ農業水利調査ヲ行ヒ事業ノ計畫實施ニ努メントス

青森 山形 栃木 埼玉 神奈川 石川 福井 長野 滋賀 和歌山 鳥取 島根 愛媛 福岡 熊本 大分 鹿兒島 沖縄等

三、事業資金ノ供給斡旋ニ努メ又借入資金ノ輕減ヲ圖ラントス

北海道 青森 茨城 千葉 神奈川 兵庫 山口等

四、事業ノ財政及工事ノ計畫指導ヲ一層周到ニシ且現在困難ニ陥レルモノハ極力遂行ノ計畫ヲ樹テ

トス

岩手 秋田 山形 新潟 石川 山梨 鳥取 山口 愛媛 大分等

五、用排水設備ノ改善ニ努力シ特ニ大規模ノ幹線改良事業ハ之ヲ府縣營トシテ促進セントス

福島 千葉 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 愛知 三重 兵庫 廣島 山口 徳島 高知 佐賀 熊本 大分 沖縄等

六、大面積ナル開墾ハ國又ハ府縣營開墾トシテ施行セムトス

岩手 福島 茨城 栃木 神奈川 石川 沖縄等

七、小面積開墾ヲモ獎勵指導セムトス

群馬 東京 山梨 奈良 鳥取 大分等

八、開墾地ノ利用ヲ充分ナラシムル爲移住及其ノ經營ニ努力セムトス

岩手 秋田 栃木 埼玉 富山 長野 静岡 愛知 兵庫 島根 岡山 香川 佐賀 宮崎 沖縄等

九、暗渠排水ヲ獎勵シ排水不良地ノ改善ヲ爲サムトス

石川 福井 山梨 静岡 奈良等

十、事業實施ニ際シテ機械ノ利用ヲ増進セシメムトス

埼玉 富山 愛知 岡山 廣島 宮崎等

十一、地方廳ノ設備或ハ豫算ヲ増額シテ事業ノ進歩發達ヲ期セムトス

青森 岩手 秋田 富山 山梨 愛知 兵庫 島根 廣島等

十二、事業者ニ對スル技術的智識ノ普及ヲ圖リ同時ニ事業宣傳ノ爲講習、講話、印刷物配布等ヲ行

ムトス

新潟 富山 兵庫 和歌山 廣島 長崎等

十三、事業ノ宣傳、工事完了後ノ事務ノ敏速等ヲ圖ル爲耕地協會等ノ民間團體ヲ援助セムトス

茨城 群馬 埼玉 神奈川 福井 長野 静岡 愛知 兵庫 島根 佐賀 宮崎等

十四、農會、農事試驗場等ト連絡ヲ採リ事業上ノ便宜ヲ計ラムトス

山梨 愛知 沖縄等

答 申

本省提出諮問事項答申及決議

趨勢顯著ナルモノアリ、就中水田増加ノ躍進ハ土功組合事業ノ健實ナル發達ト相俟テ著大ナルモノアリテ前年ニ比シ一萬六千五百町歩ノ増加擴張ヲ示シ最近十年間ノ平均一ヶ年増加面積一萬町歩ニ達スル跳躍的進展ヲ示現シ拓殖事業ノ圓滿ナル進步反映トシテ延ヒテ我カ國人口食糧問題ノ解決ニ多大ノ貢獻ヲ爲シツ、アリ今昭和五年度ニ於ケル施行事業ノ豫定及出願見込狀況ヲ表示セハ左ノ如シ

事業名	施行豫定面積	出願(見込)面積
排水幹線掘鑿工事	測量設計 掘鑿工事 三、四〇〇町	
排水工事費補助	幹線 支派線 一、〇〇〇町	
灌漑工事費補助	幹線 支派線 三、〇〇〇町	
造田費補助	一三、〇〇〇町	後前期(見込) 七八、六〇〇七
酸性土壤改良費補助	五〇〇町	後前期(見込) 六四、五〇〇
客土費補助	一、〇〇〇町	後前期(見込) 六、五〇〇
開墾(畑)補助	二〇、〇〇〇町	四五、五八四
移住獎勵補助	一、二〇〇町	
灌漑溝基本調査	一三、二〇〇町	
灌漑溝設計	八、四〇〇町	
排水溝設計		
排水溝設計		

農業水利調査	耕地整理	農地未墾地開發
三、九三〇	三六六	二〇、三五二
三六六	三六六	二〇、〇〇〇

即チ水田造成、酸性土壤及泥炭地ノ改良及開畑等ノ耕地擴張及改良事業ハ何レモ計畫豫定面積以上ニ達シ就中客土ニ依ル泥炭地ノ改良ノ如キハ豫定ノ數倍ニ及フヲ見ル盛況ニ在リ

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地擴張改良事業ニ對スル本廳ノ獎勵施設ハ主トシテ國費(拓殖費)ヲ以テ調査設計、工事及事務指導監督補助金交付、國營排水工事施行等ヲ地方費施設トシテ土地改良工事ノ測量設計ノ爲ニ其ノ他土功組合ノ舊債借替ニ依ル財政救済ヲ行ヒ或ハ活動寫真ヲ利用スル獎勵講話、印刷物ノ配付ヲ行フ等將來ノ方針ヲ踏襲シ一層事業ノ勃興ト更生ヲ圖リ着々所期ノ目的達成ニ努メントス尙將來時運ノ進步、事業ノ成果ニ鑑ミ計畫設備ノ改廢擴張、補助率ノ増加、低利ナル事業資金ノ供給幹旋等ヲ策シ斯業ノ促進ヲ期セントス

青森縣

現況趨勢

一、耕地擴張事業 本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ主トシテ耕地整理法並開墾助成法ニ基キ指導獎勵ニ努メタル結果逐年

進展ノ傾向ニアリ殊ニ開墾助成法ノ改正ニヨリ助成金ノ交付率増額セラレタル爲昭和四年度ノ開墾助成出願狀況ハ全國中ノ首位ヲ占メ其ノ面積一千町歩以上ニ達シ既往十箇年間ノ記録ヲ破リ尙益々出願増加ノ趨勢ニアルヲ以テ米穀ノ價格下落著シキ今日ニアリテモ敢テ事業ニ影響ヲ及ホスコトナキ狀況ニアリ而シテ尙本縣開墾事業ノ將來ヲ按スルニ開田見込地二萬町歩開畑見込地三萬五千町歩合計五萬五千町歩以上ニ達シ未タ豫期ノ成績ヲ舉クルコト能ハス前途多事ナリト謂フヘシ

幸ニシテ近時比較的開墾事業ノ實施容易ナル御料地ノ拂下問題熱シ其ノ實行期ニ入り且國有林野開墾適地ノ開放モ逐次順調ニ展開セラル、ニ至リタル爲斯業ノ發展期シテ待ツヘキモノアリト信ス更ニ大集團地ハ水利其ノ他ノ關係上實施至難ナルヲ以テ曩ニ農林省ニ於テ調査シ多年地方ニ於テ熱望シアル三本木平野ノ大規模開墾計畫實施ニ至ラハ本事業モ今後一層發展ヲ見ルノ趨勢ニアリ而シテ開墾助成法實施以來斯業ノ現況ヲ示セハ次表ノ如シ

開墾助成事業出願狀況一覽

年次	耕地面積		計	地區數	助成金(交付ヲ受ケタルモノ)
	開	畑			
大正八年年度	五三〇町	四七町	五七七町	六	一一〇町
同 九年年度	七七	一五九	二三六	七	三、八八八
同 十年年度	二五六	二八一	五三七	六	一三、〇三九
同 十一年年度	二六七	一五六	四二三	一七	二六、七七三

二、耕地改良

本縣ニ於ケル耕地總面積一三〇、五九四町歩(田七一、五三〇町歩畑五九、〇六四町歩)ノ内耕地整理法實施以來認可ヲ興ヘタルモノ三〇二地區面積一一、六六八町歩ナレトモ大部分ハ耕地擴張事業ニ屬シ既耕地ノ整理ハ百分ノ三ニ過キス斯業未タ進展ノ域ニ達セス然レトモ將來水利改良ト區劃ノ整理ヲ要スルコトノ切ナルモノ五〇、〇〇〇町歩アリ之等ハ水利關係復雜廣汎ニ亘リ解決困難ナレトモ最近農業水利狀態不良ナルタメ旱魃ニ遭遇シ用水ノ分配上所々ニ大紛擾ヲ醸シツ、アルヲ以テ之カ救済ノ對策トシテ縣管排水改良事業ヲ實施シ旱濕實害ヲ除去改善シ以テ大計畫ノ區劃整理ヲ獎勵セントス

既ニ縣管事業トシテ工事完成シタル馬淵川沿岸用水改良事業ハ之カ附帶工事トシテ目下耕地整理事

業ヲ施行シ其ノ成績良好ナリ
 山田川沿岸排水改良事業ハ全工期ノ五割竣工シ引續目下工事進捗中ニ屬ス
 又淺瀬石川筋用水改良事業ハ本春ヨリ貯水シテ用水補給ヲ爲サントシツ、アリ計畫中ノ事業ニハ七
 戸川沿岸排水改良事業ト馬込川毒水排除事業アリ更ニ計畫セントスルモノニハ山田川沿岸用水改良
 事業ト六羽川沿岸用水改良事業アルヲ以テ之等ノ事業完成ノ曉ハ事業益々勃興ノ機運ニ達スヘキ趨
 勢ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 近來事業資金ノ配當多額ニシテ金融狀態稍緩和セラレタルヲ以テ引續キ
 企業者ニ資金ノ充實ヲ圖ルト共ニ縣ノ財政ノ許ス限リ設備ヲ擴張シ設計調査及工事監督ノ周到綿密ヲ
 計リ且ツ一層當業者ノ至難トスル事項ニ關シテハ現在ノ一般指導獎勵方法ヲ踏襲スルノ外、縣内河川
 並溪谷ノ水利關係ニ就キ根本調査ヲナシ併テ耕地擴張事業ニ關シテハ其ノ區域及狀況ヲ徹底的ニ精査
 シ以テ事業計畫上ノ基礎ヲ確立シ堅實ナル發達ヲ期セントス

岩手縣

現況 國土面積百五十三萬六千餘町ヲ有スル本縣耕地面積ハ一四三、七〇〇町ニシテ其ノ一割ニ達
 セス土地利用ノ程度低キコト道府縣中北海道ニ亞キ耕地中田ハ約三割九分五六、二〇〇町畑ハ約六割
 一分八七、五〇〇町ヲ算スルノミニシテ耕作戸數一〇一、五一五戸ニ對スル一戸當耕作反別ハ田〇・
 五五町畑〇・八六町計一・四一町ニ過キス最近ノ調査ニ依レハ耕地整理施行認可ハ二八九地區一六、

九八六町其ノ内譯左記ノ通ニシテ年々ノ工事済面積ハ田三〇〇町乃至五〇〇町畑二〇〇町乃至五〇〇
 町ナリ

工事未着手		工事中		工事完了		同上中換地處分済		同上中事業終了	
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
二七	一、五六五町	二〇二	一三、〇八一町	六〇	二、三四〇町	三六	二、〇八二町	一三	七九二町

又開墾助成出願狀況ハ一三一地區開田四、八六四町開畑九四八町計五、八一二町ニシテ其ノ内譯次ノ
 如シ

指令済		未指令		未進達	
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
一〇九三、九四〇	八五六四、七九六	二〇	八六四	九二	九五六
				二	六〇
					六〇

開墾助成地移住獎勵事業ハ

現在調査済ニシテ確實ナルモノ		既ニ實施セルモノ	
地區數	所要戸數	地區數	戸數
三二		一八	
			四七
			三五三

此ノ他縣營農業水利改良事業ノ現況ヲ示セハ左ノ如シ

箇所數	受益面積	工事進捗ノ程度
二	三、〇七三町	一、二、四〇〇町 六七三町 九分進捗 未着手

趨勢 耕地擴張並改良見込地約九二、九〇〇町ノ内開田畑六七、六〇〇町耕地改良二五、三〇〇町アリテ年々調査設計出願二、〇〇〇町餘ニ達スルモ現在ノ設備人員四三名豫算四六、九八二圓ヲ以テシテハ到底其ノ要望ノ全部ヲ充ス事能ハス一方設計書變更ヲ要スル地區少カラス且又開墾助成地區ハ年ト共ニ増加シ尙本年度中ニ於テ出願セムトスルモノ及昭和六年度中出願見込ノモノ並移住獎勵戸數次ノ如シ

年度區分	地區數	開田	開畑	計	移住獎勵
五年度出願見込	四一	五〇〇町	二二〇町	七二〇町	三〇
六年度出願見込	三三	二七六	五九	三三五	三〇
計	七四	七七六	二七九	一、〇五五	六〇

而シテ大正十三年以來引續キ六箇年ニ亘ル畑地旱害ノ結果之ヲ水田ニ變換セムトスルモノ甚タ多ク且又舊田ノ水利改良及用水補給ヲ目的トスル企業亦相當數ヲ算シ調査設計及工事指導ノ他開墾助成並工事完了後ノ事務ノ指導ノ施設甚不足ヲ感ス

將來ニ對スル指導獎勵ノ方針 指導獎勵ノ方針ハ前數年間ニ於テ既ニ答申セル通ナルモ現況及趨勢ニ

- 一、大規模ノ耕地擴張及改良見込地ノ計畫樹立ハ國ノ調査ニ俟ツコト
- 二、相當大面積ノ開田畑ヲ縣管施行シ主要食糧增收ニ資スルコト
- 三、耕地事業關係設備ヲ漸次充實セシムルコト
- 四、旱害地方ノ水利取締ヲ徹底的ニ行フコト
- 五、事業當事者ヲシテ年次計畫及財務計畫ノ實施ニ努力セシムルコト
- 六、事業中心人物ノ養成方法ヲ講スルコト
- 七、自作農維持創設ハ主トシテ開墾地ニ之ヲ實施スルコト
- 八、整理施行地ノ利用並維持管理ニ留意セシムルコト

宮城縣

現況並趨勢

- 一、耕地整理事業
- 二、本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良ハ縣產業振興上唯一ノ事業ナルヲ以テ明治三十四年以降耕地整理ヲ獎勵シタル結果漸次普及發達シ組合設立又ハ施行認可ヲ與ヘタル地區數五百五十八其ノ面積五萬五千五百五十七町歩ヲ算スルニ至リタルモ尙施行ヲ要スル箇所尠カラサルニ依リ既定ノ方針ニ基キ獎勵

中ナルモ近時農産物ノ價格暴落シ農村ノ經濟狀態ハ著シク困憊ニ陥リ爲ニ斯業ノ振興ヲ阻害スルノ傾向ヲ呈スルニ至リタルモ事業資金ヲ低利債ニ求メシムルニ於テハ大ナル影響ナキカ如シ

二、開墾助成事業

一、斯業ハ開墾助成法ノ改正ニ伴ヒ勃興ノ機運ニ向ヒタルヲ以テ獎勵ヲ怠ラサルモ穀價ノ暴落ハ其ノ振興上影響スルノ憾ナキ能サルモ事業資金ヲ低利債ニ求メシムルニ於テハ不振ノ狀態ニ陥ルカ如キ事ナカラン

三、用排水幹線改良事業

斯業ハ補助要項ヲ定メラレタル以來施行ヲ了シタルモノ二箇所施行中ニ屬スルモノ五箇所ニシテ尙施行ヲ要スルモノ尠カラサル狀態ニアルヲ以テ之カ事業ノ計畫ヲ行ヒ以テ其ノ促進ヲ期セムトス

將來ニ對スル指導獎勵方針 現況及趨勢ノ概要ハ前述ノ通ニシテ耕地ノ擴張改良事業ノ消長ハ直ニ本縣産業ノ消長ニ重大ナル關係カ有スルヲ以テ今後一層ノ努力ヲ要スルニヨリ從來ノ方針ニ基キ指導獎勵シ以テ斯業ノ振興促進ヲ期セムトス

秋田縣

現況並趨勢 本縣ハ耕地ノ總面積十三萬六千七百三十二町步米生産額年々二百萬石内外ニ達シ東北地方第一ノ農業國ナレトモ其ノ利用ノ狀況未タ充分ナリト言フヲ得ス即チ水田ニ於テハ灌漑排水ハ其ノ組織不完全ニシテ或ハ養水不足用水ノ過多冷泉ノ湧出且亦排水不充分ノ爲被害ヲ受タルコト著シク殊

ニ最近耕種法ノ改良ノ爲乾田採用激増シ爲ニ要水量ニ著シキ不足ヲ來シ年々旱害ヲ被リ昨年ハ其ノ被害面積一萬七千七百七十四町步ニ及ヒ之カ救済ハ目下ノ急務タリ

又畑地ニ於テモ利用途充分ナラス蔬菜ノ如キモ其ノ大部分ノ供給ヲ他府縣ヨリ仰クノ狀況ナリ然ルニ未耕地ニシテ將來利用シ得ラル、開墾適地ハ民有地國有地合計約十萬三千餘町步ノ大面積ヲ包容シ其ノ面積全國第一位ヲ占メ中ニハ企業上頗ル有望ノモノモ不尠殊ニ從來企業者ノ施行ニ係ルモノ多ク土地所有者ト或種ノ契約ノ下ニ資本及工事ノ施行ヲ企業者ニテ之ヲ行ヒ完成ノ土地ヲ其ノ代價トシテ歩合ニヨリ分讓スル種ノモノ多ク殊ニ此種ノ事業ハ北部地方ニ尤モ多ク中ニハ相當成功セルモノアレトモ一般ニ其ノ成績思ハシカラス企業者ニ於テ事業半ハニシテ此ノ爲メ資産ノ蕩盡スルモノ續出スルノ狀態ナリ

尙其ノ他ノ開墾地區モ最近米價ノ下落ノ爲年賦金ノ支拂困難ニ陥リ一般ニ經營困難ノ狀態ニ陥レルモノ多ク爲ニ最近ニ於テ事業遅々トシテ進展セス今最近三箇年間ノ耕地擴張改良事業ノ出願狀況ヲ示セハ次ノ如シ

自昭和二年 耕地改良擴張出願狀況調

至昭和四年

三九地區 八二九町九段二畝二八步

四〇地區 六二九町九段一畝一五步

五一地區 五〇六町四段

五二地區 一八九町

五三地區 一八九町

五四地區 一八九町

五五地區 一八九町

五六地區 一八九町

五七地區 一八九町

五八地區 一八九町

五九地區 一八九町

六〇地區 一八九町

六一地區 一八九町

六二地區 一八九町

六三地區 一八九町

六四地區 一八九町

六五地區 一八九町

六六地區 一八九町

六七地區 一八九町

六八地區 一八九町

六九地區 一八九町

七〇地區 一八九町

前表ニ依レハ耕地ノ擴張事業ハ之ヲ改良事業ニ比シ稍不振ノ状態ニアルカ如シト雖モ本縣ノ實情ハ前述ノ如ク過去數年間ニ涉リ激甚ナル旱害ヲ被リ其ノ救済ハ一刻モ緩クスル能ハサル關係上耕地ノ擴張事業ハ用水問題ノ容易ニ解決シ得ラル、區域ニ對シテノミ指導獎勵ヲナスノ已ムヲ得サル結果ニアリ然レトモ昨年開墾助成法ノ改正ニヨリ補助率ノ増加ト共ニ一時小康ヲ得タル此ノ種ノ事業漸ク勃興ノ機運ニ進ミ農業水利改良ノ計畫ト共ニ本縣耕地事業益々發展ノ域ニ達セントシツ、アリ今最近計畫中ニ屬スル重ナル事業ノ狀況次ノ如シ

- 一、三九地區 浦津川、津田川、大森川、三ノ宮川、一、五三〇町歩
- 二、二八地區 大森川、津田川、浦津川、一、〇四四町歩
- 三、〇四四町歩
- 四、六七〇町歩

用排水改良事業(縣費補助) 二七個所 二、二六二町歩
 尙此外田澤湖利用約三千五百町歩ノ開墾及入郎瀉ノ理立工事等大規模ノ開墾計畫等ノ企圖アレトモ之等ハ其ノ主要工事ヲ國縣管トシ實現ス可キモノトス
 將來ニ對スル指導獎勵ノ方針 前述セル如ク本縣ノ新業ハ今後益々發展ノ機運ニ備ヒ居リ之カ合理的指導方針ヲ樹立スルコトハ本縣農村振興並目下ノ大問題タル失業救済上尤モ適切ノ方法ト思量セラレルヲ以テ從來ノ施設ノ運用ニヨリ督々進捗ヲ計ル外時勢ノ進運ト相俟ツテ財政ノ許ス範圍内ニ於テ新ナル施設ヲナシ一層本縣ノ富源開發ヲ企圖スル豫定ナルモ差當リ左記ノ方針ニヨリ新業ノ發展ヲ期セントス

- 一、開墾助成地區ノ内現在經營難ニ陥レル組合ニ對シ財務計畫ノ立直並其ノ救済ノ方法ヲ講スルコト
- 二、新タニ開墾事業ノ出願ニ對シテハ可成工事ノ容易ニ經營ノ安固ナルモノヲ先ニシ水利關係復雜ニ難工事ノモノヲ後廻ニシ尙企業者ト共同經營スルモノニ對シテハ之カ監督指導上特ニ留意スルコト
- 三、大規模ノ開墾計畫ニ關シテハ特ニ基本調査ヲ行ヒ計畫ノ的確ヲ期シ然ル後之カ實現ヲ計ルコト
- 四、旱害地ノ救済ニ關シテハ縣費ニテ其ノ工事費ノ三分一以内ノ補助金ヲ支出シ急速ニ之カ工事ヲ施行セシムルコト
- 五、規模大ナル農業水利計畫ニ對シテハ本省及ヒ縣ニ於テ基本的調査ヲナシ之カ實施ハ國庫補助ヲ得縣管ニテ施行スルコト
- 六、開墾地ノ利用ニ關シ特ニ專任ノ技術員ヲ設置シ之カ充分ナル指導ヲナスコト

山形縣

現況並趨勢ニ昭和四年九月實施セル農業調査ニ依ル本縣耕地面積ハ十四萬一千三百四十六町歩ニシテ土地總面積ノ一五%ニシテ我國ノ土地面積ト耕地面積トノ比ニ一致セリ之ヲ人口トノ割合ヲ見ルニ一人當一反四畝歩、又農家戸數ニ對比スルトキハ一戸ニ付一町四反七畝歩ニ當ル而シテ田ハ十萬六千四百十五町ニシテ耕地面積ノ七割一分畑ハ四萬七百町歩ニシテ二割九分ニ當ルノ状態ニシテ其ノ農家一戸

當リノ耕地面積ハ全國平均ノ一反一畝歩餘ニ對比シ大ナリニシテ、其ノ由來本縣ハ主要産業タル農業ハ米作ヲ主トスル關係上耕地擴張改良事業ノ普及發達ヲ計ルハ農業ノ振興ヲ期スル上ニ於テ最モ緊急要事タルハ論ヲ俟タサル所ナリ、而シテ本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ノ現況ヲ見ルニ明治四十一年耕地整理ニ關スル職員設置規程並事業實施規程ヲ發布シ爾來國ノ獎勵方針ニ策應シ各種獎勵規程ヲ制定スル等之カ助成補助ノ途ヲ啓キ專ラ新業ノ發展ニ努メタル結果良好ナル成績ヲ收メツ、アリ今各事業別ニ其狀況ヲ舉クレハ左ノ如シ

種別	地區數	面積其ノ他	補	要
基本計畫調査	三一	八二、三四九町	内水利調査五地區三、九二〇町ヲ含ム	
灌溉水源調査	三〇	二〇、二五九		
實施設計調査	三八	五〇、二一一		
一、發起施行認可	二七五	四一、〇三三		
二、工事完了	一五〇	二四、九七五		
三、換地處分認可	一四二	二二、九六二		
四、事業終了	一一二	一三、一六三		
土地改良調査	一九二	七四八		
耕地整理工事補助	九一	八〇四、六三七町		

土地改良補助交付
耕地整理協會事業助成補助

一〇四
三三七町 補助交付額 一四、六五九
三、〇九〇

用排水改良事業調

地區名	費用	受益面積	補	要
吉田堰	二五四、〇〇〇町	一、二五三、八〇	揚水機設置ニ依ル用水補給 大正十三年度着手、昭和三年度竣工	
最上堰	三二五、〇〇〇	一、〇〇一、四〇	幹線改良ニ依リ用水量ノ増加ヲ計リ用水補給 大正十四年度着手、昭和三年度竣工	
大町溝	二一七、〇〇〇	一、六二〇、二四	揚水機設置幹線新設ニ依ル用水補給 大正十四年度着手、昭和三年度竣工	
笹川堰	二四一、六〇〇	八二七、〇〇	揚水機設置幹線新設ニ依ル用水補給 昭和二年度着手、昭和五年年度竣工ノ見込	
東置賜郡屋代郷 耕地整理組合	九四六、〇〇〇	八八四、二〇	溜池新設幹線水路設置ニ依ル用水補給 昭和四年年度着手、昭和十一年年度竣工ノ見込	

開墾助成地區調

種別	地區數	面積		備考
		開	田	
助成指令済	八九二、八三三町	三、八四町	六、六一七三、二一八、二〇一七	
同上未指令ノモノ	一四	六二七、三二二五	一〇六、七一〇〇	七三四、〇三二五

將來出願見込計

三七一、二〇九・三一〇〇
一四〇四、六七〇・一七二五
五二二・七五一〇
一、七二二・〇六一〇

現在調査計畫中ノモノ
ナ計上セリ

開墾地移住家屋調

種別	棟數	補助額	備考
移住家屋	一八九戸	七二、八〇〇円	縣管萩野開墾地ニ於テ昭和二年度共同建造物三戸アルモ本表ニ記載セス
共同建築物	五棟	二、一九二	
計	一九四	七四、九九二	

以上ノ通ノ現況ニ在ルモ近時農村經濟異ノ不況ハ直接本事業ノ發展ヲ阻止スルノ傾向アルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ蓋シ積極的ナル耕地改良擴張事業ハ多額ノ資金ヲ投スルモ利益ヲ一時ニ回收シ得サルト相當困難ナル事情ノ伴フコト多キトノ關係上今日ノ如キ經濟狀態ニアル農村トシテ容易ニ企圖シ得サルノ狀態ニアリ然レトモ近年比較的旱害多カリシ結果ニ鑑ミ應急ヲ要スル水源設備及水路ノ改修等ノ事業及投資比較的少額ニシテ單獨ニテ施行シ得ハ利益又速ニ實現スル暗渠排水事業ハ漸次増加セントスル趨勢ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於テハ將來ノ産業獎勵方針ヲ調査研究スルノ目的ヲ以テ産業調査會ヲ設ケントスル豫定ナルヲ以テ耕地關係ニ對シテモ此ノ際過去現在ノ狀態ニ基キ將來ノ方針及施設

- 方法等ヲ定メ以テ堅實ナル發達ヲ期セントスルモノナリ
尙左ノ事項ニ對シテモ特ニ注意ヲ拂ヒ指導獎勵セントス
- 一、事業獎勵及指導、監督ノ施設ヲ充實スル爲メ縣財政ノ許ス範圍内ニ於テ縣豫算ノ増額ヲ計ルコト
 - 二、事業遂行ヲ容易ナラシムル爲メ工事補助並土地改良補助等ノ増額ヲ計ルコト
 - 三、地下水利用ノ方法ヲ講シ灌漑用水ノ充實ヲ計ルコト
 - 四、從來調査セル農業水利改良計畫ハ可成速カニ實施スル様勵誘スルコト
 - 五、現在ニ於テハ企業稍不振ノ狀態ニアルモ將來經濟界ノ好轉ニ伴ヒ反動的ニ企圖計畫スルモノ勸興スルヲ豫想セラル、ヲ以テ豫メ此ノ點ニ注意シ苟クモ投機の企業ヲ誠メ健實ナル發達ヲ期セントス
 - 六、財務計畫ニ對シテハ特ニ周到ナル指導ヲ爲シ實際ニ適應スル様作製セシムルハ勿論之ヲ各組合員ニ周知セシメ確實ニ實施セシムルコト
 - 七、工事ノ監督ハ尙一層嚴ニスルハ勿論特ニ財務狀態ニ留意シ工事ノ圓滑進捗ヲ計ルコト
 - 八、經費ノ輕減ト組合員ノ權利義務ノ明確ヲ期スル爲メ工事終了後ハ直チニ工事完了後ニ於ケル手續ヲ履行セシムルコト

福島縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ明治三十五年度ヨリ縣農會事業トシテ獎勵シ同三十九年度ヨリ縣事業ニ移シ其後開墾干拓等ノ事業モ相當設備ノ許ニ事業ノ指導獎勵ニ努メタル結果左ノ如

キ現況ヲ見ルニ至レリ
尙用排水幹線改良事業ハ縣營トシテ左表ノ如ク昭和元年度ヨリ遂次工ヲ起シ耕地改良獎勵ニ努メツ、
アリ

地區數	面積	工事完了		換地處分		事業完了	
		地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
九二六	三九、七七三町	六一二	二五、七三五町	五六七	二四、七九六町	二六三	一一、四九四町

開墾助成事業

地區數	施行面積		計
	開田	開面	
七八	一、五一六町	九一六町	二、四三〇町

用排水幹線改良事業

事業名	繼續年度	事業費	支配面積
相馬郡石神村外二ヶ村農業水利改良事業	至自昭昭和七三年度	四八〇、〇〇〇	五九七

事業名	繼續年度	事業費	支配面積
會津大川筋農業水利改良事業	至自昭昭和四十四年度	七五〇、〇〇〇	一、五五七
相馬郡金房村外二箇村農業水利改良事業	至自昭昭和八四年度	二六〇、〇〇〇	五七〇
安達郡本宮町外一箇村農業水利改良事業	至自昭昭和八十五年度	四八〇、〇〇〇	七五九
阿武隈川疏水農業水利改良事業	至自昭昭和八十四年度	一、三三〇、〇〇〇	一、一七九

以上ノ現況ヲ見ルニ至レリト雖財界不況ノ影響ハ延テ事業上ニ及シタルモ水田ニ乏シキ山間部地方ニ
アリテハ自然食料自給ノ必要ヲ悟リ小面積ノ開墾事業續出シ特ニ耕地改良ニアリテハ大正十三年及大
正十五年ノ兩度地方稀有ノ旱魃ニ遭遇シタル爲水路堰堤溜池揚水機等水源工事ノ勃興ヲ來シタリ亦極
メテ小規模ノ事業ニシテ開墾助成法ノ恩典ニ浴シ得サル五町步未滿一町步以上ノ開墾事業並濕田改良
ヲ目的トスル暗渠排水事業ニ對シテハ大正十三年縣令ヲ以テ簡易土地改良獎勵規程ヲ發布シ勸獎ニ努
メタル結果開墾面積七十餘町步濕田改良面積二百餘町步ニ達シ成績頗ル良好ニシテ之等事業ハ年々増
加シツ、アリ將來ニ對スル指導獎勵方法ニ付テハ前述ノ狀況ナルヲ以テ從來ノ方針ヲ踏襲スルノ外耕
地ノ改良ヲ助成速進セシムヘク用排水ノ不良ナル箇所ニ對シテハ農林省ノ獎勵施設ト相俟ツテ調査ヲ
行ヒ縣營トシテ事業ヲ施行スルノ計畫ヲ以テ之カ實行ニ努メツ、アリ
更ニ大規模開墾ニ付テハ多年縣民ノ熱望スル所ニシテ先年來農林省ニ於テ矢吹町外十箇町村ニ亘ル約
千町步ノ大集團地ノ國營開墾事業計畫ノ目的ニテ調査セラレタルヲ以テ縣ニ於テモ相當費用ヲ計上シ

政府ノ施設ト相俟ツテ速ニ實現ヲ期シ努力シツ、アリ尙開發實施ノ方法ニ付テハ關係町村ヲ區域トスル聯合耕地整理組合ヲ組織セシムルヲ最適當ト認メ目下進捗中ニ屬セリ

茨城縣

現況 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ大體順調ナル發達ヲナシ今ヤ左表ノ如キ成績ヲ舉ケ得タリト雖之ヲ縣下耕地ノ擴張改良豫定面積八萬六千八百餘町歩ニ比較スレハ尙多大ノ未整理地域ヲ殘存スル状態ニシテ斯業ノ前途遼遠ナリ

耕地整理事業(昭和五年四月末日現在)

地區數	面積	發起、設立、施行、認可		工事中		換地處分認可		事業終了	
		地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
二二四	二五、四四九町	一〇七	一一、〇三五町	一一七	一三、四一四町	一〇五	一一、六九二町	四二四	四、四二九町
七三	三、二六七町	二、八〇三町	四六四町	三七	一、一三三町	三六	二、一三四町		

開墾助成事業(昭和五年四月末日現在)

地區數	面積	耕地擴張面積		工事中	
		開田	開畑	地區數	面積
一九	一五・六町	一五・六町	昭和五年一月ヨリ開始		

暗渠排水事業(昭和五年四月末日現在)

事業數	支配面積	事業費	記

農林業水利改良事業

本縣ハ地勢上大體三區域トナリ北部並西北部ノ山嶽地ヲ除キ中央部臺地及西南部低地ハ何レモ農業經營上好適ノ土地ナルモ右臺地ハ水利ノ便ニ乏シク主トシテ山林、原野、畑地等ヨリナリ收益甚僅少ニシテ土地利用上遺憾ノ點多ク低地部ハ主トシテ水田ヨリナルモ耕地整理施行地以外ノ耕地ハ一般ニ治水並利水上ノ施設見ルヘキモノ尠ク爲ニ用排水何レモ困難ニシテ満足ナル收益ヲ舉ケ得サルモノ多シ前記臺地ノ區域ハ近來開畑工事ノ勃興ヲ見ツ、アルモ最大百町歩平均十數町歩程度ノ小規模ナルモノニシテ數萬町歩ヲ算スル廣漠ナル之等臺地ノ完全ナル開發ハ現狀ノ儘ニテハ到底望ミ得ヘカラス一大用水源ヲ確立シ恒久ノ計ヲ樹ツルヲ要ス低位部耕地ハ尙幾多局部的ニ改良施設ヲナシ得ルモノアリ下雖モ排水幹線設備ニ根本的改良ヲ加ヘタル後ニ非サレハ徹底セル耕地ノ改良困難ナルモノ亦頗ル多

シ低位部並臺地ニ接スル數多ノ湖沼ハ概ネ水深淺ク干拓適地ニシテ目下干拓工事ノ隆盛ヲ見ツ、アリテ將來ニ於テモ相當發展スヘキモノト認ム尙縣下ニハ低濕ナル水田ニシテ暗渠排水工事ヲ施行シ得ヘキモノ多キヲ以テ客年新ニ之カ獎勵補助規程ヲ設ケタルニ豫期以上ノ成績ヲ舉ケツ、アリテ將來益普及發達スヘキモノト信ス既往ニ於ケル耕地擴張改良事業中歐洲大戰後財界好況時代ニ施行セルモノ若ハ不測ノ障礙ノ爲工事ノ齟齬ヲ來タセルモノハ特ニ多額ノ事業費ヲ要シ從テ過大ナル負債ヲ有シ今日之カ償還ニ當リ米價ノ異常ナル下落ニ遭遇シ經濟上甚敷逼迫ヲ來タセルモノ多シ之カ對策トシテ主務省ニ於テハ特別開墾助成金ノ交付、高利債借替資金ノ増額等ニ關スル施設ヲ見、一方縣ニ於テモ補助金ノ増額舊債借替、滯納整理、經營方法改善等ニ關シ更ニ一般ノ努力中ナルモ右經營困難ナル事業中ニハ全收益ヲ投入スルモ尙償還不可能ナルモノアリ斯クテハ獎勵事業ノ性質上斯業ノ前途ニ好マシカラサル影響ヲ及ホスヘキニ依リ充分考慮ヲ要スヘキモノト認ム

趨勢 耕地擴張改良事業ノ趨勢ニ付テハ昭和四年度主任官會議ニ於テ答申セル處ト大體同様ニシテ之ヲ大局ヨリ見ルトキハ從來ノ事業ト漸次其ノ趣ヲ異ニシ來タリ局部的ニ擴張改良ヲ施行シ得ルモノ減少シ先ツ大區域ニ涉リ根本的ニ用排水幹線設備ノ大改善ヲ要スルモノ多シ即低位部各河川沼水田ノ改良ニ付テハ農業水利改良事業ノ如キヲ急務トシ高位部臺地ノ開發ニ付テハ用排水幹線工事國營ノ如キヲ最モ喫緊トスル狀態ナリ然レトモ東南部ニ介在スル湖沼ハ幾多干拓事業ニ適スルモノアリ又各所ニ散在スル低濕ナル水田ハ暗渠排水工事ヲ必要トシ臺地ノ開墾事業ノ如キモ將來相當増加シ得ヘク其ノ他局部的ニ耕地ノ擴張改良ヲナシ得ヘキ山林、原野並田畑等モ相當存在シ之等ハ何レモ從來ノ通漸

事業ノ進行ヲ見ツ、アリ

最近一般的ノ不景氣ト穀價ノ暴落トハ耕地ノ擴張改良事業ニモ影響ヲ來タシ幾分事業ノ手控ヲナスモノアリト雖舊耕地ノ改良事業トハ多少其ノ趣ヲ異ニスル開田畑事業中殊ニ干拓事業ノ如キハ諸物價ノ低落勞銀ノ低廉ヲ期トシ之カ實施ヲ圖ルモノ多キハ將來事業經營上好結果ヲ齎スヘク喜フヘキ現象ナリ尙開墾助成法ハ從來ノ利子補給ヨリ事業費補助ニ改正セラレタル結果一般ニ好感ヲ以テ迎ヘラレ延テ新規事業ヲ促進シ來タレルモノ、如シ

將來ニ對スル指導獎勵方針 縣下斯業ノ現況並趨勢ハ大體上記ノ如クナルニ依リ之ニ對應シテ大規模ナル用排水幹線事業ノ促進ヲ計ルト共ニ一面局部的ニ改良擴張ノ可能ナルモノニ付テハ一層之カ獎勵指導ヲ行フハ勿論ナリ尙本縣ニ於テ土地利用上最モ重要視スヘキハ前記臺地ノ開發ニシテ之ハ規模甚大ナルカ爲到底地方團體ニ於テハ實行シ得サルヲ以テ是非共政府ノ用排水幹線國營工事トシテ援助ヲ仰キ國內稀ニ見ル所ノ大規模ナル開墾事業ノ促進ヲ計ラムトス

由來本縣ハ農業ヲ主トシ耕地ノ擴張改良事業ハ縣是ノ一ナルニ依リ官民協力シテ最善ノ努力ヲ拂フヘキハ當然ノコト、ス而シテ之カ指導獎勵ノ實際ニ付テハ既往ノ主任官會議ニ於テ答申セル所ト大體同様ナルニ依リ之ヲ省略スルモ從來ト多少其ノ趣ヲ異ニスル點ヲ舉クレハ左ノ如シ

一、昭和四年度中耕地協會ノ設立ヲ見タルニ依リ本年度ヨリ一層之カ機能ヲ發揮セシメ以テ整理後事務ノ助成、整理事業ニ必要ナル圖書類ノ調製並維持管理ニ必要ナル技術上ノ援助ヲナサシムルコト

二、シ一層事務ノ進捗工事完了後ノ經營ニ支障ナカラシムルコト、セリ

二、從來動モスレハ組合費ノ滯納整理不完全ノ爲組合財務經理上遺憾ノ點多カリシニ鑑ミ特ニ本年度ヨリ組合財務ヲ一層嚴重ニ監督セムカ爲新ニ財務係專任ヲ設ケ將來益監督指導ヲ徹底セシメントス

栃木縣

現況 耕地ノ擴張改良事業ニ關シテハ之カ指導獎勵ノ爲調査設計、工事監督、事務指導等設備ニ遺憾ナキヲ期シ各種ノ補助又ハ獎勵金ヲ交付シ以テ斯業ノ普及發達ニ努メツ、アリ今事業ノ現況ヲ概説スレハ次ノ如シ

一、耕地擴張事業

一、開墾助成事業及移住獎勵

本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ開墾助成法施行以來昭和四年度迄ニ出願ノモノ百二十六地區、開田二千七百四十九町歩開畑六百九十一町歩計三千四百四十町歩、事業費金二百五十一萬九千五百八十三圓ヲ算ス今之ヲ各年度別ニ示セハ次ノ如シ尙本縣ニ於テハ政府ノ補助ヲ得開墾地移住家屋ヲ建築シタル者ニ對シテハ獎勵金ヲ交付シ以テ開墾助成地區經營ノ完全ヲ期シツ、アリ其ノ交付狀況ヲ示セハ次表下記ノ如シ

年 度	開 墾		成 績		開墾地移住獎勵金	
	地區數	耕地擴張面積計	事業費	交付金	戶數	
大正八年度	一四	八七六・六町	二六一・五町	一、一三八・一町	八八一、二三五四	

年 度	地區數	開田	開畑	面積計	事業費	交付金	戶數
同 九年度	一八	四三八・八	八三・二	五二二・〇	三三二、四一〇	一、五〇〇	一五
同 十年度	一四	三四九・五	一八・三	三六七・八	二四〇、四三四	三、〇〇〇	一五
同 十一年度	一二	一一三・一	二・九	一一六・〇	一〇七、一〇八	五、〇〇〇	三〇
同 十二年度	七	二二四・二	二二・九	二四七・一	一七一、九六六	六、〇〇〇	三〇
同 十三年度	七	一二四・五	四八・七	一七三・二	一一一、二九二	九、六〇〇	四八
同 十四年度	九	一八三・七	四〇・四	二二四・一	一七六、九一一	六、八〇〇	三四
昭和元年度	八	五七・六	一五・〇	七二・六	六一、四九一	一一、〇九五	五八
同 二年度	二一	二八二・二	九三・七	三七五・九	三一九、五〇四	一〇、〇七六	四四
同 三年度	六	六〇・九	五〇・三	一一一・二	五三、二五七	一一、六〇〇	五六
同 四年度	九	三八・〇	五三・九	九一・五	六三、九四一	一三、一二五	三五

二、耕地擴張補助事業

開墾助成事業ノ外「耕地整理及土地改良補助規程」ニ依リ面積五反歩以上五町歩未滿ノ耕地擴張事業ニ對シ補助金ヲ交付セルモノ三百五十二地區開田二百八十八町三反餘開畑二百四十二町餘歩計五百三十町三反餘歩ニシテ之ヲ各年度別ニ表示スレハ左ノ如シ尙面積五反歩ニ達セサル小規模ノ耕地擴張事業ニ付テハ之ヲ詳カニセスト雖集メ來ラハ相當ノ面積ニ達スヘク從來ノ實績ニ徵スレハ年々一千町歩内外ノ擴張ヲ見ツ、アリ

年 度	地 區 數	耕 地 擴 張 面 積		計	補助金交付額
		開 田	開 畑		
大正九年	六七	三七・一三	二・三三	三九・四六	七、〇〇〇
同 十 年	七六	五六・〇四	三・三〇	五九・三四	七、〇〇〇
同 十 一 年	三七	三三・五八	三・二三	三三・八一	九、一七四
同 十 二 年	二二	三三・八七	四・一二	三七・九九	五、〇〇〇
同 十 三 年	二五	二二・二三	八・五九	三〇・八二	四、六六五
同 十 四 年	二二	一五・六九	一一・三二	二七・〇一	四、〇〇〇
昭 和 元 年	二〇	一六・〇〇	一一・八五	二八・八五	三、〇〇〇
同 二 年	五〇	二五・六四	五・五三	八〇・九四	五、四五〇
同 三 年	四五	六・七八	六三・四〇	七〇・一八	三、〇〇〇
同 四 年	九五	四一・三五	七七・六一	一一八・九六	六、〇〇〇

二、耕地改良事業

一、耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十三年九月河内郡古里村大字中岡本ニ於ケル十二町歩ノ漏田整理ニ端ヲ發シ以來獎勵ニ努メ大正十二年度ヨリ耕地整理特殊工事費ニ對スル補助ノ途ヲ講スル等企業ヲ助ケ今日左表ノ如キ成績ヲ示スニ至レリ

認可總面積	工 事 中		工 事 未 着 手		工 事 完 了		換 地 處 分		地 價 配 賦		登 記 終 了		事 業 完 了	
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
六七	三、六六二町	六	三、七六六町	空	二、七四四町	四九二	二、二四〇町	三九三	一、七二四町	三三三	一、四、四四四町	三四六	一、四、九九九町	二、五五四町

二、用排水幹線改良事業

本縣ニ於ケル用排水幹線改良ヲ要スル事業頗ル多ク其ノ面積二萬五百町歩ニ及ヒ各水利系統ニ依リ基本的調査ヲ進メツ、アレトモ其ノ最モ緊急ヲ要スト認メタル左記地域ヲ選定シ曩ニ農林省ノ補助指令ヲ受ケ目下事業着手ヲ急キツ、アリ

イ、下都賀郡生井村外三箇村

ロ、安蘇郡界村外一町三箇村

趨 勢 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ現況ニ述ヘタル如ク年ト共ニ益々其ノ效果ヲ舉ケツ、アリ既ニ認可工事ニ着手セルモノ二萬七千町歩ニ達シ斯業カ農村振興上必要ナルコトハ充分地方民ニ徹底セルモ廣大ナル地積ヲ有スル本縣トシテハ該事業候補地ノ僅ニ一部ヲ了シタルニ過キス尙將來ニ向ツテ一層促進獎勵ヲ要スヘキモノ甚タ多シ軌近本縣ハ五町歩未滿ノ小規模ナル耕地擴張事業ヲ起スモノ頓ニ加ハリタルモ地勢其他ノ關係上已ムヲ得サルモノ、他可成廣ク一團地トシテ事業ヲ起ス様努メテ其ノ附近ヲ勸誘セシメ申請スル様獎勵シツ、アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、本縣ニ於ケル開墾適地七萬五千町步中其ノ大集團地ニ在リテハ國縣營計畫ヲ樹テ之カ實施ヲ期セントス

二、用水不足田八千五百町步排水不良田一萬二千町步中其ノ大集團地ニ在リテハ縣營トシテ排水幹線改良事業ノ實施ヲ期セントス

三、冠水被害地七千八百町步要區畫整理地一萬町步第一項ニ該當セサル未開發地第二項ニ該當セサル要用排水設備地其ノ他一般耕地擴張改良事業ニ對シテハ從來ノ指導獎勵方針ニ基キ企業ノ勸奨ニ努メ潤澤ナル資金ノ供給ヲ仰キ又縣財政ノ許ス限リ補助又ハ獎勵金ノ豫算ヲ増額交付シテ懇切ナル指導監督ノ下ニ之カ促進ヲ期セントス

四、事業施行地ノ經營ニ付テハ開墾地ノ移住獎勵自作農ノ創定耕作管理購買販賣組合水利組合等ノ組織適切ナル作物ノ選定等ニ遺憾ナキヲ期シ事業施行ノ效果ヲ發揚セシメ以テ斯業ノ發達ヲ期セントス

五、以上ノ方針ニ則リ目下左記事項ニ關シ調査計畫ヲナサントス

- (一) 那須平原ノ大規模開墾計畫ヲ樹立スルコト
- (二) 鬼怒川ニ於ケル農業水利ト發電水利トノ關係ヲ詳查シ之カ對策ヲ考究スルコト
- (三) 小倉川沿岸ノ地下水利用ニ依ル用水改良ノ調査計畫スルコト
- (四) 縣下各河川沿岸ノ水利系統ヲ調査シ用排水幹線改良事業ノ具體的計畫ヲ樹ツルコト
- (五) 其ノ他濕田等ニ付テハ暗渠排水ノ指導獎勵ヲナスコト

群馬縣

現況並趨勢

一、耕地整理及開墾助成事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ昭和五年四月末ニ於テ地區數二百六十二其面積一萬五千百十七町步ニ達スルト雖モ縣下耕地總面積十萬九千六百四十二町步ニ比シ僅ニ一割四分弱ニ過キササルヲ以テ將來改良ノ餘地尙尠カラサルモノアリ又開墾助成事業ハ其ノ數六十面積千二百十五町步内開田二百八十一町步開畑九百三十四町步ナリ而シテ事業ノ目的ニ依リ最近ノ趨勢ヲ觀ルニ開墾及農業水利改良等ノ事業ハ著シク増加スルニ反シ土地ノ交換分區畫ノ改正等ヲ主トスル普通整理事業ハ漸次衰微ノ傾向ヲ示シツ、アルカ其ノ原因ヲ察スルニ後者ノ不振ハ事業費ノ割合ニ多額ヲ要スルニ比シ直接ノ利益尠ク且整理後ノ事務煩雜ナル事カ事業者ノ起業心ヲ甚シク阻礙スル如キ憾アリ然ルニ農業水利改良事業ハ近年用排水幹線改良事業ノ效果顯著ナルコト及縣ニ於テ最近特ニ農業水利改良補助ヲ實施シテ之カ獎勵ニ努メタル結果農民ノ自覺ヲ促シ殊ニ年々旱魃ニ苦シム地方ニ於テ溜池、揚水機、水路改修等ノ工事ヲ企ツルモノ續出ス又開墾事業ハ主トシテ本縣平坦部ノ主要産業タル機械カ機械化セルコト及經濟界ノ影響ヲ受ケテ極メテ不振ナルコトカ原因トナリ之カ從業者ニ過剩ヲ來シタル結果農村ニ於テ平地林ノ開墾ヲ企畫スルモノ多キヲ見ル

二、用排水改良事業

本縣ハ利根川本流貫流シ且其ノ支流數多アリ水量豊富ナルニ係ラス之ヲ灌溉ニ利用スル途充分ナラ
 ス縣下ノ大部分ハ用水不足ヲ告ケツ、アリ亦之ニ反シ東部地方ニ於テハ土地低濕ニシテ排水不良ノ
 箇所尠カラス一般ニ灌溉排水ノ状態頗ル不完全ナリ故ニ其ノ改善ヲ圖ルハ最モ緊要ナルヲ以テ昭和
 二年度ニ於テ縣ハ農業水利調査費ヲ設置シ爾來毎年度調査ヲ續行シ基本計畫ヲ樹立シツ、アルカ偶
 々政府カ用排水幹線改良事業國庫補助ノ途ヲ開カル、ヤ農業水利改良事業施行スルモノ勃興シタリ
 乃チ事業施行ノ狀況左表ノ如シ尙東毛五郡六千數百町ニ渉ル灌溉水補給事業（開墾計畫ヲ伴フ）ヲ
 目的トスル所謂大正用水ハ目下計畫中ニ屬ス、
 亦五百町歩未滿ノ地區農業水利改良事業ニ付テハ縣ハ昭和三年度ニ於テ之カ補助規程ヲ設ケ助成シ
 タル結果頗ル好成绩ヲ收メ昭和三年度ニ於テ七地區同四年度ニ於テ十三地區ノ事業施行ヲ見將來事
 業施行スルモノ益々増加ノ見込ナリ

用排水幹線事業一覽

(一) 己ニ事業完了シタルモノ

名	稱	受益面積	事業費	事業年度
長野堰用排水改良事業		一、六五四町	一八五、八一〇円	自昭和四年
佐波新田用排水改良事業		七五四	二九九、二五九	自昭和三年
待矢場下流部用水改良事業		七五一	一九〇、〇〇〇	自昭和四年

(二) 目下事業中ノモノ

名	稱	受益面積	事業費	事業年度
邑樂郡東部用排水改良事業		一、六二四町	八二〇、〇〇〇円	自昭和五年
三名川貯水池用水改良事業		五六五	三三〇、〇〇〇	自昭和四年

備考 邑樂郡東部用排水改良事業第二期計畫ハ昭和五年度ヨリ引續キ施行見込ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ノ耕地面積ハ田三萬三千百七町步畑七萬六千五百三十五町合計十萬

九千六百四十二町ニシテ縣下總面積五十五萬四千七百七十二町ニ對シ僅ニ二割弱ニ過キサレノミナラ
 ス山間部多キ故自然水田ニ乏シキト養蠶業發達シタル結果桑畑多ク米產額ハ水稻七十二萬九千九百七
 石陸稻九萬七千七百八十二石合計八十二萬七千六百八十九石ニシテ縣下需用ニ對シ年々約三十萬石ノ
 不足ヲ告ケツ、アルノ状態ナリ故ニ耕地ノ擴張改良ニ依リ之カ增收ヲ圖ルハ本縣農業政策上最モ重要
 ノ事項ニ屬ス殊ニ農業水利ノ改善ト開墾事業ノ促進トハ最近ノ趨勢ニ鑑ミ極メテ緊要ノコト、シテ之
 カ獎勵ニ努メサルヘカラス即チ先ツ大正用水計畫ノ實現ニ主力ヲツクシ以テ東毛一帶ノ開墾並用水補
 給ヲ實施スルト同時ニ一方山間部地方ノ開發ニ最モ必要ナル耕地ノ擴張改良ヲ獎勵セムトス而シテ之
 カ爲ニ採ルヘキ方策トシテハ農業水利ニ於テハ政府ノ補助ト相俟テテ用排水事業ヲ起スハ勿論五百町
 歩未滿ノモノニハ縣費ヲ以テ現在實施中ノ農業水利補助ノ増額ヲ期シ又開墾事業ニ於テハ五百町歩未滿
 ノ地區ニ對シ縣費補助ノ途ヲ開キ以テ山間部ノ開發ニ資セムトス尙道路區畫換地等ヲ主眼トスル普通

整理事業ノ如キハ時代ノ進歩ニ從ヒ將來ノ農村計畫トシテ今後益々重要ナルモノト思惟セラル、ヲ以テ其ノ獎勵ノ方法トシテハ之カ不振ノ原因ニ鑑ミ相當助成ノ途ヲ講スルト共ニ耕地協會ノ活動ト相俟チテ組合事務ノ指導並當業者ニ對シ知識ノ普及ヲ圖ラムコトヲ期ス

埼玉縣

現況並趨勢

一、用排水幹線改良事業

本縣下ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ大正五年以降水利調査ヲ行ヒ此ノ結果ニ基キ既往ニ於ケル灌溉排水ノ被害ヲ除キ縣民福利ノ増進ヲ企圖スヘク首尾一貫セル計畫ヲ樹立シ爾來着々其ノ工ヲ進メ成績極メテ良好ニシテ之カ改良事業完成ノ曉ニハ積年ノ禍害其ノ跡ヲ絶テ能ク豫期ノ目的ヲ達スルモノト信ス今事業名、事業費及年度割ヲ列擧スレハ左ノ如シ

用排水幹線改良事業名	事業費總額	年度割
大落古利根川筋 用排水改良事業	二、〇〇〇、三四七円	至自昭大 和正 六八 年年年度
元荒川筋 同	四、六五六、二五三	至自昭大 和正 八八 年年年度
芝川筋 同	七八二、三五二	至自昭大 和正 四十 年年年度
福日川筋 同	一、七二一、六一九	至自昭大 和正 六十 年年年度

事業名	事業費總額	年度割
大場川筋 同	五三三、七〇〇	至自昭大 和正 六十四 年年年度
新方領堀 同	六五五、〇〇〇	至自昭大 和正 六元 年年年度
大里用水路 同	一、四四〇、〇〇〇	至自昭大 和正 十二 年年年度
兒玉用水 同	七五〇、〇〇〇	至自昭大 和正 九三 年年年度
習生領用排水路 同	一、六〇〇、〇〇〇	至自昭大 和正 十三 年年年度
入間郡北部第一用水 同	三〇〇、〇〇〇	至自昭大 和正 八四 年年年度
荒川左岸用排水 同	七一〇、〇〇〇	至自昭大 和正 十五 年年年度
北河邊領用水 同	五四、〇〇〇	至自昭大 和正 六五 年年年度
計	一五、二〇三、二七一	

右表ニ示スカ如ク用排水幹線改良事業個所數十二個所ヲ算シ内

- (一) 工事ノ竣功セルモノ芝川筋用排水改良事業
- (二) 工事進捗中ノモノ大落古利根川筋外五用排水改良事業
- (三) 起工準備中ノモノ兒玉用水路外四用排水路改良事業

等ニシテ之カ事業費總額實ニ千五百二十萬圓餘ノ巨額ニ達シ年々ノ事業費支出額金百五十萬圓ヲ突破シ縣歲出經常臨時部合計額ノ約六分ノ一ニ相當スルノ狀況ニアリ而シテ之カ財政計畫トシテハ國

庫ノ補助金、縣費並關係水利組合又ハ地元町村等ノ負擔金、寄附金ヲ以テ充當スルノ計畫ニシテ目下夫々豫定ノ通り着々進捗中ニ屬ス尙特記スヘキハ時節柄縣財政緊縮整理ノ際ニモ不拘縣下農業水利改善ノ極メテ緊要ナルモノアルヲ認メ新ニ左記用排水改良事業ヲ計畫シ昭和四年十二月通常縣會ニ提案セルニ縣會亦緊要適切ナルヲ認メ何レモ滿場一致ヲ以テ可決シ昭和五年度ヨリ之カ實施ヲ見ルニ至リ多大ナル好果ヲ齎シタルモノト信ス

用排水幹線改良事業名	事業費總額	年	度	制	同上年數
荒川左岸用排水改良事業	七一〇、〇〇〇円	自昭和	和十五	一年度	七箇年
北河邊領用水改良事業	五四、〇〇〇	自昭和	和六五	一年度	二箇年

以上ノ如ク本縣ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ頗ル進捗セルノ現況ニアルモ尙農業水利ノ改良ヲ要スヘキ面積十二萬二千町歩ヲ算シ且關係水利組合並關係町村ニ於ケル事業實施ノ希望極メテ熱烈ニシテ之カ實現ノ一日モ速ナランコトヲ希望スルヲ以テ本事業ノ前途洵ニ遼遠ノ狀況ニアリ

二、耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十四年其ノ端ヲ發シ爾來逐年其ノ發展ヲ見ルニ至レリ近時用排水改良事業ノ進捗ト共ニ本事業ノ實施ヲ希望スルモノ年一年ニ増加シツ、アルハ農村振興上洵ニ欣フヘキ現象ナリトス今其ノ一斑ヲ舉クレハ昭和五年三月末日ニ於ケル耕地整理施行及耕地整理組合

設立認可ヲ與ヘタル總面積二萬六千三百七十三町步餘地區數二百四十三箇所ニシテ面積ニ於テ全國第十一位ニアリ工事ノ完了セル總面積二萬五百十六町步餘換地處分認可済ノ總面積一萬八千五百七十四町步餘事業終了シタル總面積一萬二千八百五十一町步ニ達シ其ノ成績極メテ良好ノ狀況ニアリ而シテ本事業ニ對シテハ調査設計、工事監督其ノ他一般事務(財務整理ニ付テハ特ニ一段ノ注意ヲナス)ニ付テハ常ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ指導督勵ヲ加ヘツ、アリ尙昭和五年度ニ於テ施行セントスル豫定ノ概要左ノ如シ

區	別	地	區	名	面	積
基本	調查	見沼代用水路外三用悪水路				二二、〇〇〇町
實地	調查	北足立郡青木村地區外一九箇地區				一、二四六
土地	調查	荒川右岸農業水利調查				一、五三九
早害地	調查	入間郡飯能町外十八箇村地區				一、〇〇〇

前記ノ如ク優良ナル成績ヲ示シツ、アルモ尙平時用排水不良ナルモノ四萬六千町步一時浸水ノ害ヲ受クルモノ二萬一千町步ヲ存シ用排水幹線改良事業ノ進行ト共ニ益々獎勵指導ノ緊要ナルモノアリ

三、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル開墾見込地約三萬町步ノ開墾ヲ助成シ大ニ耕地ノ擴張ヲ期スルノ方針ヲ以テ昭和四年度以降、一、開墾機械ノ購入及操縦技術員ノ設置、二、機械管理所ノ新設、三、移住獎勵補助、四、

開墾桑園ノ補助、五、開墾茶園ノ補助、六、講習講話及實演會ノ開催等ノ各施設ヲナシ夫々獎勵助成ニ努メ爾來引續キ今日ニ至リタルノ結果從來遅々トシテ進マサリシ本縣開墾事業モ近時著シク勃興セリ

昭和五年度ニ於テ助成出願見込ノモノ
 (イ) 既ニ願書ヲ本省ニ進達シタルモノ

地 區 數	開 田 面 積	開 畑 面 積	計
七箇町	八町	八〇三町	八一二町
(ロ) 今後出願セムトスルモノ			
地 區 數	開 田 面 積	開 畑 面 積	計
一三箇町	一七〇町	二三九町	四〇九町

昭和六年度ニ於テ出願見込ノモノ

地 區 數 開 田 面 積 開 畑 面 積 計

一八箇町 三五〇町 七四七町 一〇九七町

移住獎勵金國庫補助見込戸數 一〇〇戸 共同建造物 一五棟

四、水利組合事業

本縣ニ於ケル水利組合中其ノ關係區域十數箇町村ニ互ルモノ即チ見沼代用水路普通水利組合外二十一組合ハ大正十五年郡役所廢止以來地方課勤務ノ事務官ヲ管理者ニ指定シ管理ヲナシツ、アリシカ之等ノ水利組合ハ縣營事業タル用排水幹線改良事業ト極メテ密接ナル關係ヲ有シ縣營事業施行上ヨリ見ルモ又農業水利事務ノ統一上ヨリ見ルモ耕地課ニ於テ主管スルハ最モ機宜ニ適シタル事項ナルヲ以テ昭和四年度以降農林主事二名ヲ設置シテ之等水利組合ノ管理ヲナサシメツ、アリ從テ水利組合ニ密接ノ關係ヲ有スル農業水利改良事業ハ全部耕地課ニ統一管理指導ヲナシツ、アリテ一般關係者ノ利便少カラス豫期ノ成績ヲ收メツ、アリ

五、昭和五年度耕地關係豫算

- 開墾及耕地整理費 一〇五、〇九五圓
- 耕地整理補助費 二二、〇〇〇圓
- 耕地協會補助 八五〇圓
- 開墾地移住獎勵補助 一一、〇〇〇圓
- 大落古利根川筋外一〇用排水改良事業本年度支出額 一、四一五、八七二圓
- 計 一、五五五、八一七圓

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、用排水幹線改良事業ニ關シテハ縣財政ノ許ス限リ實施シ以テ耕地改良ノ根本的解決ヲナサストス

- 二、耕地整理事業ニ關シテハ基本調査、土地改良調査、旱害地救済調査等繼續調査施行ノモノニアリテハ引續キ調査ヲナスハ勿論出來得ル限り新規地區ノ調査ヲ實施セムトス
- 三、耕地整理工事費補助ニ付テハ縣經濟ヲ考察シ出來得ル限り増額ヲナシ且特殊工事ニ對シテハ一層補助率ヲ増加セムトス
- 四、耕地整理工事完了後ノ事務ニ關シテハ縣耕地協會ヲ督勵シ一層之カ指導ヲ加ヘ以テ事業ニ依リ得タル利益ヲ減損セサル様努メムトス
- 五、水利組合ノ管理ニ關シテハ組合ノ狀況ニ鑑ミ一層適切ニ之ヲ管理シ且組合ニ於テ施行スル事業ニ對シテモ相當助成ノ途ヲ講セムトス
- 六、開墾用機械ニ關シテハ縣財政ノ許ス限り一層機械ノ増加ヲ計リ尙將來ハ特ニ農業土木用諸機械ノ設置ヲナスト共ニ開墾機械管理所ノ充實ヲナサムトス
- 七、開墾事業獎勵ノ爲開墾機械實演會ノ開催ヲナシ事業ノ普及徹底ヲ期セムトス
- 八、耕地整理工事完了後ノ維持管理ニ關シテ一層指導獎勵ヲ加ヘントス

千葉縣

現況並趨勢 本縣ノ地勢ハ南房總ヲ除クノ外ハ概ネ土地平坦ニシテ用水及排水共ニ不良ニシテ水田十萬五千餘町步中惡水停滯地水田六萬二千四百餘町步、用水不足地水田二萬四千餘町步ニ達シ其ノ生産力極メテ少ナク惡水地帯ニ在リテハ反當僅ニ一石五斗三升、用水不足地帯ニ於テ一石七斗三升ニ過

キス斯ノ如キ狀態ナルニ鑑ミ耕地五百町步以上ヲ支配スル地域ニ對シテハ大正十二年度ヨリ用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ用排水改良事業ヲ縣營ニ依リ根本的改善ヲ期スヘク既ニ縣下十大河川沿岸用排水幹線改良事業（此ノ關係面積一萬四千八百八十四町步事業費四百七十六萬圓）ヲ繼續事業トシテ縣會ノ議決ヲ經目下五河川沿岸改良地區事業ニ對シテハ政府ノ補助ヲ受ケ實施中ニ屬スル外用水源並用水幹線改良事業地區トシテ二箇所（此ノ關係面積三千三百六十五町步事業費百二十九萬八千圓）ノ繼續事業ヲ縣會ノ議決ヲ經是亦政府ノ補助ヲ受ケ將ニ工事ニ着手セントシツ、アルノ外繼續事業地區中ニ屬スル五河川沿岸改良事業ニ對シテハ着々實施ノ準備中ニアリ而シテ小地域ニ對スル耕地擴張改良就中用水不足地帯ニ在リテハ用水源設備ノ改良ヲ先決ノ目的トシテ特ニ工費ノ四分ノ一以內ノ補助金ヲ増加交付シ之カ改善ノ促進ヲ期シツ、アリ輓近世界的經濟ノ不況ハ惹ヒテ農村經濟ニ至大ノ影響ヲ與ヘタリト雖モ旱害ノ危險、農業ニ忍フ能ハサル實情ニアルヲ以テ用水改良事業ハ農村百年ノ大計トシテ豫期以上進展ヲ呈シツ、アリ昭和五年三月末日現在ニ於ケル耕地整理施行地區ノ狀況左ノ如シ

種別	地區	數	面積
工事中		六三	六、三四六町
完工了		一六〇	一五、一七五
換地處分済		一〇七	一二、七八七

事業終了	一三二	一、〇〇六
計	三六二	三六、三一四

開墾事業ニ在リテハ其ノ見込地六萬三千八百餘町歩ヲ算スト雖モ開田ニ屬スル適地ハ概ネ干拓或ハ埋立ニ依ルヘキ大規模開墾ニシテ一般的組合事業トシテ企畫經營容易ナラサルヲ以テ國營事業ノ實施ヲ要望シテヤマサル所ナリ其ノ他小規模ノ開墾事業ハ歸農者増加ノ趨勢ニ鑑ミ獎勵大ニ努メタリト雖モ農産物價下落ノ大勢ト共ニ助成指令下附セラレサル結果事業ノ進展ヲ期スル事ヲ得サルハ甚遺憾トスル所ナリ昭和五年三月末日現在ニ於ケル開墾助成地區ノ狀況左ノ如シ

開墾助成終了地區	地 區	數	面 積
同上		六三	八七二町
助成中地區		四一	一、〇九一
計		一〇四	一、九六三

又小規模ノ排水事業タル暗渠排水事業ハ一萬町歩以上ヲ算スルヲ以テ技術員ヲ配置シ技術的指導監督ヲ爲スノ外工事費補助ノ途ヲ設ケ斯業ノ普及ヲ期シツ、アリト雖トモ當業者ノ負擔甚タ過重ニシテ事業ノ進展容易ナラス

將來ニ對スル指導獎勵方針 農業水利改良計畫トシテハ海上、香取、匝瑳三郡ニ跨ル利根川導水計畫

關係面積一萬町歩ハ目下農林省ノ調査中ニ屬スルヲ以テ其ノ調査完了ヲ俟ツテ獎勵ニ努ムヘク其ノ他五百町歩以上ニ屬スルモノ一萬町歩ニ對シテハ目下夫々調査中ニ屬スルヲ以テ順次用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ縣營農業水利改良事業ノ實施ヲ期セントス而シテ耕地五百町歩以下ノ耕地改良事業ニ對シテハ用排水幹線改良事業ノ完成ニ伴ヒ支派線用排水路ノ改良ト相俟ツテ耕地ノ改良ヲ計ルヘク用水不足地帯ニ對シテハ水源ノ設備改善ヲ主眼トシ耕地ノ利用増進ヲ期スル計畫ヲ確立シ事業ノ實行ニ關シテハ指導監督ヲ勵行シ事業ノ適確ト經濟ヲ期スルハ勿論尙事業資金運用ノ圓滑ヲ圖リ以テ事業費ノ負擔輕減ヲ圖リ事業完了地區ニ對シテハ完了事務ノ敏括促進ヲ促シ益々事業ノ經營ヲシテ容易ナラシムル方針ヲ採リ以テ益々斯業ノ發展助長ニ努メントス

東京府

現況並趨勢

耕地擴張 本府ニ於ケル開墾助成事業ハ比較的不振ニシテ僅ニ小笠原島ニ七箇所伊豆大島ニ一箇所在原郡羽田町ニ震災復舊トシテ施行シタルモノ一箇所及ヒ目下農林省へ出願中ノモノ四箇所ニシテ在原郡ノ地區ヲ除ク外全部山林原野ヲ開畑スルヲ目的トシ内小笠原島ニ於ケルモノハ製糖會社ノ經營ニ係リ甘蔗栽培ヲ主トセリ今府下ニ於ケル事業ノ概要ヲ示セハ次ノ如シ

所在	助成出願ノモノ		同 工事成功ノモノ		同 工事中ノモノ		同 工事未着手ノモノ	
	地區數	開畑面積	地區數	開畑面積	地區數	開畑面積	地區數	開畑面積
小笠原島	七	二五三町	七	二二七町	一	一町		
伊豆大島	一	一三						
荏原郡	一	五三	一	五三				
北南多摩郡	四	三〇	八	二九〇	一	一三	四	三〇
計	一三	三四九	八	二九〇	一	一三	四	三〇

府下ニ於ケル耕地擴張見込地ハ主トシテ南、北、西多摩郡方面ニシテ相當集團地アルモ之等土地ハ比較的資産家ノ所有ニ屬シ今日ノ如ク小作料低廉ニシテハ收支償ハサルモノトシテ企業ヲ躊躇スル傾向ニアリ然ルニ開墾助成法改正ノ結果有利ニ開墾シ得ルニ至リシヲ以テ農業者カ進ンテ土地所有者ヨリ土地ヲ賃借シ自ラ開墾ヲ行ハムトスルニ至リシヲ以テ將來此種開墾事業ハ相當企畫セラルヘキ趨勢ニアリ

耕地改良 本府ニ於ケル耕地改良事業ハ主トシテ道水路變更、地目變換(田ヲ畑ニ變換)及區劃形質ノ改良ヲ目的トスルモノニシテ特種事業ト認ムヘキモノナキモ昭和五年度ニ於テハ南葛飾郡金町外八箇町村面積約二千町歩ニ對スル用水補給ノ目的ヲ以テ揚水機ヲ設置シ江戸川水位低下ノ際揚水スル計畫ヲ立テ既ニ農林省ニ對シ用排水幹線改良事業國庫補助打合せ中ニアリ今府下ニ於ケル耕地整理ノ概況ヲ示セハ次ノ如シ

分布所在	施行又ハ組合設立ヲ認可シタルモノ		組合解散又ハ事業完了ノモノ		換地處分ヲ認可シタルモノ		工事未完了ノモノ	
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
東京市附近(荏原、多摩、北豐島)	九一	五、七三四町	二七	六八八町	四七	一、五一〇町	三三	三、三五二町
府下東部地方(南足立、南葛飾)	三九	一、八四一	六	二四五	一六	四六三	二一	一、三四一
府下三多摩地方(北、南、西多摩)	一〇	二七三	一	一四	二	七八	八	一九五
計	一四〇	七、八四八	三四	九四七	六五	二、〇五一	六二	四、八八八

農家經濟ノ不況ニ原因シ耕地整理事業モ亦一般ニ不振沈滞ヲ來シ從ツテ新事業ヲ企畫セムトスルモノ尠ナキ趨勢ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 大規模ノ耕地擴張ハ目下實施困難ノ状態ニアルヲ以テ十町歩内外ノ耕地擴張見込地ニ對シ地方農業勢力ノ剩餘ヲ考察シテ實際農業ニ從事スル者ノ共同若ハ組合組織ニ依リ土地ノ賃借ヲ爲サシメ以テ開墾ヲ行ハシムル様指導獎勵ヲ加ヘムトス

耕地改良事業ハ現況、趨勢ニ於テ述ヘタル如ク一般ニ不振ノ状態ニアルモ反面勞働賃金ノ低下ニヨリ事業ヲ有利ニ施行シ得ルヲ以テ既成地區ニ對シ工事進捗ヲ督勵スルト共ニ工事完了後ノ事務指導ニ力ヲ注キ一面南、北、西多摩郡方面ノ耕地改良主トシテ暗渠排水事業ニ向ツテ指導獎勵ヲ加ヘムトス

神奈川縣

現況並趨勢 本縣耕地事業ハ關東大震災以來一萬數千町歩ニ亘ル震災耕地ノ復舊ニ努メ今ヤ漸ク一段落ヲ告ケントスルノ狀況ナルモ之等復舊地區ハ急速ニ組合設立ヲナシ工事ノ施行ヲ取急ク必要アリタル爲自然計畫及書類上ノ不備不尠之カ改訂ノ爲設計書變更地區變更等所謂補足的ノ事務ヲ必要トスル地區可成ノ數ニ達ス依テ今後之等ノ事務ニ相當ノ努力ヲ要スルト共ニ速ニ換地處分地價配賦等ノ殘務整理ノ手續ヲ要スルモノ莫大ナルヲ以テ之等ノ事務ニ對シテハ縣ハ主トシテ監督ノ立場ニ當リ實務ハ主トシテ縣耕地協會ヲシテ之ニ當ラシムル豫定ナリ

震災復舊事業ハ前述ノ如ク殘務整理事務ヲ殘ス外大體終末ニ近ツキタルヲ以テ今後ハ主力ヲ平時ノ事業ニ向クルコト、シ震災被害輕微ナル地方へ出張所ヲ開設シ從來殆ント放任ノ姿ニアリシ之等地方ノ事業獎勵指導ヲナスコト、セリ而シテ縣下近年著シク市街地ノ膨張、鐵道網ノ發達等ノ爲耕地潰滅シ耕地ノ減少不尠モノアルヲ以テ之カ補充ヲナシ尙進シテ將來耕地ノ増加ヲ計ル目的ヲ以テ山林原野ノ開墾ノ獎勵ニ力ヲ加ヘタル結果ハ昨年開墾助成法改正ノ效果ト共ニ各地共競フテ開墾ヲ行フ事業ノ出願ヲ見ルニ到リ目下之カ組合設立ニ忙殺サレツ、アルノ情勢ナリ其ノ他既耕地ノ改良トシテハ目下着手中ノ縣營用排水改良事業ハ着々事業進捗中ナルモ未タ事業開始ニ到ラサル大面積ノ地域數地區アルヲ以テ之等ニ對シテハ成ルヘク速ニ國庫補助ヲ受ケ事業ヲ開始スヘク夫々準備中ニ在リ又既耕地ノ改良トシテ近時注目スヘキハ交通運搬方法ノ變遷ニ伴ヒ道路ノ改良ヲ主ナル目的トスルモノ勃興セントスル傾向アリ尙昨年十月稀有ノ水害ノ爲五十四地區ニ涉リ十六萬圓ニ達スルノ被害高ヲ見ルノ不幸ニ陥リタルヲ以テ縣ハ之カ救濟ノ爲急遽補助豫算額約四萬圓ヲ計上シ以テ之カ復舊工事ノ進捗ニ助メツ

、アルノ現況ナリ

認可地區數面積及事業費

地區數	面積	事業費
三一五	二一、二八三町	一五、六三〇、七八六町

事業進捗別地區數及面積

工、事完了セルモノ	換地處分濟ノモノ	事業終了セルモノ	地區數	面積	事業費
			一四八		七、五三四町
			九八		四、七〇三町
			二七		七八五町

開墾助成出願

地區數	開田面積	開畑面積	合計	事業費	摘要
普通助成地區	一一〇町	八二町	一九二町	六〇五、五四九町	内指令濟 内事業終了 外ニ地區震災ニ因リ書類燒失不明 (事實ニ於テ事業廢止)
震災助成地區	三、三二一	二、六六五	五、九八六	八〇一、一七一	
計	三、四三一	二、七四七	六、一七八	七、四〇六、七二〇	

移住獎勵金交付

地區	數	面積	戶數	獎勵金	摘要
普通助成地區	四	一〇八町	三五	六、八〇〇	獎勵金ハ震災前二戸ニ對シニ二〇〇〇圓交付其他ハ全部一戸當ニ二〇〇〇圓
震災助成地區	一九	一、五三二	一九六	三九、二〇〇	
計	二三	一、六四〇	二三一	四六、〇〇〇	

用排水幹線改良事業現況

地區	數	面積	積	事業費
五			九、七〇〇町	三、〇九四、〇〇〇

用排水幹線改良事業豫定

地區	數	面積	積	事業費
多摩川右岸			六、〇〇〇町	一、五〇〇、〇〇〇
酒匂川左岸			一、〇〇〇	六五〇、〇〇〇
引地川沿岸			七五〇	未定

將來ニ對スル指導獎勵方針

- 一、企業獎勵ニ關スルモノ
 - (一) 縣下ノ灌溉排水ニ關スル調査ヲ行フコト
 - (二) 大面積ヲ支配スル幹線水路ノ改良ハ縣營ヲ以テ施行スルコト
- 二、事業資金ニ關スルモノ
 - (一) 特種ノ耕地整理組合ヲシテ債券ヲ發行セシムルコト
 - (二) 震災復舊工事ハ成功セルモ債務ニ苦シメル地區尠カラス依テ之等ノ地區ニ對シテハ償還計畫ヲ樹テ其ノ實行ヲ督勵スルコト
- 三、完了事務ニ關スルモノ

完了事務ヲ指導スルタメ職員ヲ縣ニ於テ増置セントスルモ目下ノ縣財政ハ之ヲ許サ、ルヲ以テ専ラ縣耕地協會ヲ利用セシムルコト、シ委託ノ方法ニ依リ之カ促進ヲ圖リツ、アリ
- 四、開墾事業ニ關スルモノ
 - (一) 開墾ニ關スル水利調査ヲ行フコト
 - (二) 相模原國營開墾ノ實現ニ向テ努力スルコト

新潟縣

本縣ノ耕地擴張見込面積ハ開墾四萬六千七百餘町步地目變換二萬一千六百餘町步ニシテ開墾助成法ニ

基キ助成金ノ交付ヲ出願シタル地區數ハ本年五月十五日現在ニ於テ八十五箇所其ノ面積ハ開田二千六百町步開畑二百町步ナリトス又耕地ノ改良ヲ要スヘキ見込面積ハ十九萬六千餘町步ニシテ本年五月十五日現在ニ於テ耕地整理法ニ依リ事業施行ノ認可ヲ受ケタルモノ、進捗狀況ヲ示セハ

認可地區數	面積	五四六	五五、一七七町
内工事完了數	面積	四一四	三二、〇六六町
内換地處分數	面積	三九七	三二、〇九七町
内事業終了數	面積	三〇〇	二四、二二六町

目下工事中ノ主ナルモノハ北蒲原郡南部耕地整理組合三千町步ノ幹線水路三島郡深才耕地整理組合五百餘町步ノ區劃整理ニシテ中蒲原郡白根郷耕地整理組合五千七百餘町步、南蒲原郡中三島村耕地整理組合二千六百餘町步三島郡日越村耕地整理組合六百餘町步ノ區劃整理ハ今秋ヨリ着手スヘク尙組合設立認可申請手續中ノモノハ

耕地擴張ヲ目的トスル地區數	面積	六一六	七一町
耕地改良ヲ目的トスル地區數	面積	一〇	四、一七一町
耕地擴張ヲ目的トスル地區數	面積	一一一	二七八町
耕地改良ヲ目的トスル地區數	面積	一九	二、一八八町
無算ニシテ入計ニシタル地區數	面積	三〇	二、四六六町

次ニ用排水幹線改良事業ハ大正十三年度以降縣會ノ協賛ヲ經タル地區數五箇所事業費豫算總額三百六十四萬八千圓其ノ受益面積一萬六千六百餘町步ニシテ既ニ工事完了シタルモノハ何レモ其ノ效果顯著ナリトス而シテ目下計畫調査中ノモノハ佐渡郡新穂村及二宮村ノ溜池新設受益面積一千町步岩磐郡神納村外一箇村ヲ區域トスル面積八百町步ノ用水幹線改良事業ニシテ信濃川河狀整理ハ本年度ヨリ二年ノ豫定ヲ以テ土木課ニ於テ基本計畫ヲナシ耕地トシテ利用シ得ヘキモノ約二千町步ニ對シテハ更ニ土地利用調査ヲ行ヒ統一シタル設計ノ下ニ之カ開發ヲ勸奨セムトス

以上ノ如キ現況趨勢ニシテ將來ニ於テモ尙從來ノ方針ヲ踏襲シ企業者ニ對シ測量設計ヲ補助シ工事中ハ周到ナル指導監督ヲ爲シ耕地整理施行及開墾助成ニ關スル諸般ノ手續ヲ指導シ開墾地移住家屋及共同建造物ノ建築、耕地整理及土地改良ノ持種工事並之ニ伴フ設備ニ對シテハ補助金ヲ交付シ更ニ本年度ヨリ政府ノ施設ト相俟ツテ開墾助成地區ニシテ經營困難ナルモノヲ救済スル爲特別補助ノ繼續費ヲ設定シ用排水改良補助要項ニ該當スル事業ハ縣ニ於テ監督費ノ全部ヲ負擔シテ之ヲ實施スルノ方針ヲ報リ耕地整理換地處分、地價配賦、登記等ヲ迅速ニ終了セシムル爲其ノ事務ヲ助成シ其ノ他耕地整理施行手續、開墾助成案内、諸規則類ヲ印刷配布シテ一般當業者ニ書類ノ調製ヲ容易ナラシムル等斯業ノ指導獎勵上萬遺憾ナキヲ期セムトス

富山縣

現況並趨勢

一、耕地ノ擴張

本縣ニ於ケル耕地擴張豫定面積ハ二萬二千九百三十二町歩ニシテ内五町歩以上集團セルモノハ三百一十箇所五千九百八十二町七反歩ニ上リ大正八年六月開墾助成法實施以來助成ノ出願ヲナシタルモノ七十六地區千三百三町六反歩ニシテ既ニ開墾竣成シタルモノ開田六百八十八町六反歩開畑五十八町六反歩計七百四十七町二反歩ニ達シ其他ハ着々事業ノ進捗中ニアリ而シテ開墾助成出願地區ニシテ未タ助成ノ指令ニ接セサルモノ相當アリ之等ハ何レモ工事着手ヲ熱望シ居レル状態ニシテ其ノ運ヒニ至ラサルハ遺憾トスル所ナリ斯クテ之カ利用増進上開墾地移住獎勵ノ必要ヲ認メ大正十年二月縣令第七號ヲ以テ開墾地移住獎勵規程ヲ制定シ建坪二十坪以上ニシテ建築費一千圓以上(昭和三年度迄ハ八百圓以上)ノモノニ對シ一戸四百圓以内ノ獎勵金ヲ交付スル途ヲ開始シ移住家屋ノ建設ヲ獎勵シ既ニ獎勵金ノ交付ヲ得テ家屋ノ建築ヲナシ移住シタルモノ百十三戸ニ上リ尙今後開墾事業ノ増進ト共ニ本規程ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ得テ其利用ヲ圖ラムトスルモノ益々多キヲ加フル趨勢ニアリ

二、耕地整理

本縣耕地整理見込面積ハ七萬五千四百五十七町一反歩ニシテ既ニ耕地整理ノ施行認可ヲ得タルモノ四百六十四地區一萬九千二百三十七町歩(昭和五年三月末日現在)ニシテ内工事ノ完了シタルモノ百三十二地區三千六百九十三町歩換地處分濟百十地區三千二百六十三町歩事業ノ終了シタルモノ六十三地區千七百三十二町歩ニ上レリ

而シテ之カ獎勵ニ關シテハ明治四十三年九月縣令第五十一號耕地整理獎勵規程ニ依リ測量設計ノ補

助事務ノ指導工事ノ指導監督補助金ノ交付等ヲ行ヒ着々其ノ勵行ニ努メツ、アルモ近年米價ノ低落等農村財力ノ疲弊ハ新規企業ヲ阻止シ獎勵上困難尠カラス

三、旱害地耕地整理

大正十五年ノ旱魃ニヨリテ旱害ヲ蒙リタルモノ一萬一千四百十六町四反歩ニ上リ之カ救濟ノ緊要ナルヲ認メ特ニ旱害地耕地整理事業費補助規程ヲ制定シ溜池ノ築造修理ヲ促シ灌溉設備ノ新設改良ヲ策シタル處之ニヨリテ水路ノ改良二四、溜池ノ新設及改良三五五、堰新設改築五、揚水機新設六、水閘新設改築六、横井戸掘鑿四ノ改善ヲ見ルコト、ナリ今ヤ大部分ノ竣成ヲ告ケ何レモ其ノ惠澤ニ浴シツ、アリ

然ルニ昭和四年六、七、八ノ三箇月ニ亘ル大旱魃ハ大正十五年ノ旱害ニ讓ラサルモノニシテ曩ニ救濟策ヲ樹テ、施設ヲ了シタルモノハ其ノ難ヲ免レタルモ尙一町歩以上ノ集團被害町村六十五面積六千七百餘町歩産米減收見積額四萬一千八百餘石ニ上リ之カ救濟ハ刻下ノ急務ナリト認メ昭和五年度ニ於テ旱害地耕地整理獎勵費三萬四千圓ヲ計上シ臨時職員ヲ特設シテ調査設計及工事指導ノ衝ニ當ラシメツ、アリ而シテ本事業ハ昭和八年度ヲ以テ終了ノ豫定ナリトス

四、用排水改良

本縣水田灌溉面積八萬四百二十八町歩(免租年期地ヲ除ク)ノ内用水不足ナルモノ一萬七百六十九町歩アリ又平時ニ於テ排水不良ナルモノ一萬二百三十八町歩洪水時ニ浸水被害アルモノ一萬一千八百五十六町歩計二萬二千餘町歩ノ排水不良地アリ之カ改良ハ本縣農業政策上最モ緊要ニ屬ス而シテ

大正十二年度ヨリ政府ハ五百町歩以上ノ用排水改良事業ヲ縣營ニテ施行スル場合其ノ事業費ノ半額ヲ補助スル途ヲ開カレタルカ本縣ニ於テハ此種ノ事業ハ最モ多ク當業者ニ於テモ之カ實現ヲ熱望シ既ニ事業完成セルモノハ上新川郡廣田用水補給水路開鑿事業ニシテ大正十二、三兩年度ニ於テ經費二十五萬七千圓ヲ以テ施行シ三千八百五十間ノ新水路ヲ開鑿シ平時百立方尺ヲ通水セシメ千四百町歩ヲ灌漑シ其成績誠ニ良好ナリトス

次ニ射水郡庄東耕地整理區域ノ排水事業ニ對シテハ大正十五年度ニ到リ事業費百三十一萬圓ニ對シ半額補助金交付ノ指令ヲ得テ事業ニ着手シ今ヤ幹線ノ改修、放生津瀉防波堤修築等頗ル進捗ノ域ニ達セリ又庄川用水合口事業費二百八十七萬一千三百三十圓及黑部川用水合口事業費二百四十五萬二千三百三十圓ニ對シテハ昭和二年度ニ於テ佛生字川沿岸排水事業費五十萬圓鍛冶川沿岸排水事業費五十八萬五千圓ニ對シテハ昭和三年度ニ於テ小矢部川沿岸用水補給事業費三十五萬圓ニ對シテハ昭和四年度ニ各國庫補助金交付ノ承認ヲ得テ目下夫々縣營事業トシテ施行中又ハ施行ノ準備中ニアリ其他縣内大小用排水路ノ改良ヲ要スヘキモノニ付テハ目下調査計畫中ニ屬ス

五、昭和五年度耕地關係豫算

縣 職 員 費	五五、六六八	四
早害地耕地整理獎勵費	三六、一〇六	(内前年度繰越二、一〇六圓ヲ含ム)
耕地整理補助費	二〇、〇〇〇	
早害地耕地整理補助費	二五、〇〇〇	(前年度ヨリ繰越)

開墾地移住家屋建設獎勵費

下條川沿岸排水事業費本年度支出額	二、〇〇〇
庄川用水合口事業費本年度支出額	四〇三、三五七 (前年度ヨリ繰越ヲ含ム以下同斷)
黑部川用水合口事業費本年度支出額	九〇九、七九〇
佛生寺川沿岸排水事業費本年度支出額	一、六八七、二八〇
佛生寺川沿岸排水事業費本年度支出額	一九〇、四八〇
鍛冶川沿岸排水事業費本年度支出額	一二〇、〇〇〇
小矢部川沿岸用水補給事業費本年度支出額	六三、六〇〇
合 計	三、五一三、二八一

六、耕地關係職員

農林主事	耕地整理	用排水改良	計
農林技師	一	一	一
農林主事補	四	六	一〇
農林技師	一	一	一
農林主事補	五	一二	一七
農林技師	二七	二一	四八
耕地整理技師補	二五	一七	四二
耕地整理助手	七	一	七
富山縣			八三

昭和五年四月一日現在定員

計

七〇

五六

一二六

將來ニ對スル指導獎勵方針 農閑ノ時期等ヲ利用シテ整理見込地ニ於テ講話會、協議會等ヲ開催セシメ吏員ヲ派遣シテ説明獎勵ヲ行ヒ施行セントスルモノニ對シテハ測量設計ノ助成並事務ノ指導ヲナシ且ツ工事施行ニ際シテハ工事ノ指導監督ハ勿論拔根機、輕便鐵軌等ノ貸與ニヨリテ事業費ノ輕減ニ資シ尙補助金ノ交付ニヨリテ事業ノ經營ヲ容易ナラシメムトス殊ニ旱害地救濟耕地整理ノ如キ急ヲ要スルモノニ對シテハ特ニ其ノ進捗ヲ圖ラシメムトス

又開墾ニ關シテハ前記ノ獎勵ノ他五町歩以上集團ノモノニ對シテハ開墾助成法ノ特典ニ浴セシメ其ノ事業ヲ容易ナラシムル様指導ヲ加ヘ尙開墾地ノ利用ヲ完カラシメムカ爲獎勵金ヲ交付シテ開墾地移住家屋ノ建設並共同利用ノ設備ヲ獎勵セムトス

次ニ用排水ノ改良ニ關シテハ其ノ急ヲ要スルモノヨリ漸次調査ヲ進メ計畫ヲ樹テ國庫補助金ノ交付ヲ受ケ地元納金ヲ徴シ縣費ヲ加ヘテ縣營事業トシテ施行シ地方農村ノ振興ニ資セムトス

尙耕地整理完了事務ニ就テハ從來施行者ヲシテナサシメツ、アルモ事務頗ル復雜ナルタメ遅々トシテ其ノ終了ヲ見ルニ至ラス大正十年耕地協會ヲ組織シ專ラ同協會ヲシテ之カ助成ヲナサシメツ、アルモ仍ホ其ノ成績良好ナラサルヲ以テ縣ハ財政ノ都合ヲ見計ヒ縣ノ事業トシテ設備ヲ行ヒ完了事務ノ助成ヲ行ハムトス

石川縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張事業ハ年ト共ニ漸次進展シ昭和五年四月末日現在ニ於テ已ニ施行認可ヲ爲シタルモノ耕地整理ニ在リテハ六百三十六地區此面積二萬九千八百六十六町歩、開墾助成法ニ依レルモノ四十六地區此面積八百三十二町歩ニ達シ内工事完了シ換地處分ヲ終ヘタルモノ四百三十一地區此面積一萬九千四百四十六町歩ニシテ事業完了シ組合解散シタルモノ三百二地區此ノ面積一萬五千六百七十九町歩ナリ尙開墾埋立干拓及地目變換ニ依ル耕地擴張見込地開田五千六百七十八町歩開畑四千五百六十五町歩ヲ有スルヲ以テ之ニ對シ極力督勵ヲ加ヘ完成ニ務メムトス次ニ耕地ノ改良事業ニ關シテハ縣下加賀方面ハ今ヤ耕地ノ大部分ハ區劃整理ヲ施行シ交通、運搬、耕耘ノ面目ヲ一新セリト雖尙用水ノ根本的施設ニ於テ幾多改善ノ要アリト認ム能登方面ニ於テハ整理施行地僅少ナルノミナラス耕地ハ地形上區劃形狀頗ル狹小不整ニシテ道水路迂曲錯雜シ加フルニ濕田ナルヲ以テ農業上ノ利便ヲ缺キ灌溉排水ノ組織良好ナラサルヲ以テ之カ改良ニ努力スルト共ニ前年答申セシ本縣五瀨ノ沿岸ニ於ケル耕地ノ湛水被害ヲ除去スル方法ヲ講セムトス

將來ニ對スル指導獎勵方針縣ハ政府ノ方針ニ基キ設計調査工事監督及縣費補助金ノ交付ヲ爲スノ外本縣ノ耕地擴張事業ヲ如何ニシテ普及發展セシムルヤヲ考究シ其ノ實現ニ最善ノ努力ヲ爲サムトス今其ノ要項ヲ擧クレハ左ノ如シ

一、組合事務ノ監督

耕地整理組合ノ事務ニ關シテハ毎年之カ指導監督ニ務メツ、アルモ尙不整理ノ向尠カラサルヲ以テ是等ニ對シ一層嚴密ナル監査ヲ行フト共ニ諸般手續ノ指導ハ耕地協會ト聯絡シ懇切且ツ迅速ニ處理

セムトス

二、設計調査濟地區並不良地區

設計調査濟ノ地區ニシテ工事ニ着手セズ放任シツ、アル箇所及工事ニ着手シタルモ成績不良ナル地區ニ對シ實地ニ就キ其ノ原因ヲ探究シ之カ施行並救濟ニ努メムトス

三、水利系統調査

水利ノ改良ハ耕地ノ改良擴張ノ根幹ナルニ拘ラス本縣ニ於ケル河川ノ水利關係ハ石川郡ヲ除ク外一般ニ不良ナル爲紛擾ヲ惹起スル場合アルヲ以テ各水利系統ヲ調査シ其ノ水利權ノ調和ヲ圖ルト共ニ用水ノ適切公平ナル分配ヲ計ラントス

四、用水補給施設

前年度ノ旱天ニ際シ用水ニ不足ヲ告ケシ箇所尠シヲ以テ溜池新設又ハ地下水利用ノ如キ用水補給ノ施設ヲ講セムトス

五、暗渠排水ノ獎勵

縣内能登方面ノ水田ハ殆ト濕田ニシテ暗渠排水ヲ必要ナキ所ナシト雖從來此ノ種ノ改良事業ハ極メテ不振ノ狀態ナルヲ以テ極力之カ實施獎勵ニ努メムトス

六、河北潟干拓事業

目下調査中ノ河北潟干拓事業ニ對シテハ縣營又ハ組合事業トシテ速ニ工事ノ實施ニ努メムトス

福井縣

現況並趨勢

本縣ニ於ケル耕地ハ田面積五萬七千九百三十四反歩畑面積一萬八百四十六反歩合計六萬一千六百三十九反歩ニシテ農家一戸當耕作反別平均八反六畝歩ナリ

由來耕地擴張改良事業ハ坂井郡ノ平野ニ多ク足羽、吉田ノ兩郡之ニ次キ其ノ他各郡ニアリテモ漸次斯業發達ノ傾向ヲ示シ近クハ大野郡上庄村及富田村ニ稍大規模ニ屬スル開墾計畫アリ而シテ縣ハ從來是等農耕上土地ノ利用増進ヲ圖ルヘク銳意事業ノ勸奨ニ努メ大正元年十二月耕地整理獎勵金交付規程ヲ設ケ之カ改良計畫ヲ獎勵シ次テ大正八年四月開墾助成法ノ實施ニ伴ヒ同九年四月耕地整理及土地改良獎勵規程ノ一部ヲ改正シ指導獎勵シタル結果逐年施行面積ヲ増加スルニ至リ認可面積九千二百町歩地區數ハ二百六十一地區ニシテ工事竣成面積約六千九百町歩内開墾面積一千八百町歩ニ達シ其ノ他ハ着々事業ノ進捗中ニアリ

開墾助成法ノ適用ヲ受ケ出願セルモノ六十一地區此助成面積七百三十六町歩ニシテ近ク出願セントスルモノ八地區此面積七百十三町歩ノ見込ナリ而シテ今後更ニ耕地ノ擴張改良事業ニ依ル増加見込面積ハ優ニ六千三百町歩ヲ算スルヲ以テ漸クテ斯業ノ發達ヲ見ルヘキモノトス
將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣耕地ノ現狀ニ鑑ミ之カ事業ノ進展ヲ圖ランカ爲將來尙左記各項ニ付指導獎勵ヲナシ益々斯業ノ堅實ナル發達ヲ期セムトス

一、本縣ノ耕地ニシテ尙用排水良好ナラサルモノ尠カラス此等水利ノ基本的調査ヲ行ヒ以テ根本計畫

ヲ樹立シ其ノ最モ主要ナルモノニシテ用排水幹線ノ改良ニ屬スルモノハ之ヲ縣營事業トシ其他ノ土地改良事業ニ付テハ關係團體其ノ他ヲシテ企業セシメントス

二、縣ハ從來耕地整理及土地改良獎勵規則ニ依リ相當ノ補助金ヲ交付シ獎勵ニ努メ來リシ結果逐年企業地區ノ増加ヲ見ルニ至リシヲ以テ今後尙前項ノ調査ヲ進ムルト共ニ縣財政ノ許ス限リ補助増額ニ努メ一面從業員ノ充實ヲ圖リ暗渠排水事業ヲ實施セシメ以テ本事業ノ達成ヲ期セムトス

三、耕地整理工事完了事務ニ關シテハ縣耕地整理協會ニ專任職員ヲ設置シテ各組合ノ指導ニ當ラシメ之カ事務ノ速進ヲ圖ラントス

山梨縣

現況

一、耕地擴張事業ノ現況

耕地整理施行以來現在迄耕地整理組合認可セル地區數百十四面積五千九百六十町九反五畝四步ヲ算シ此中耕地擴張ニ依ル開田面積一千二百二十七町一反四畝二十一歩開畑面積二百九十四町五反九畝計一千四百二十一町七反三畝二十一歩ナルヲ以テ開墾事業ハ耕地整理面積ノ二割四分ニ相當ス

事業別ニ表記スレハ次ノ如シ

種	目	區	數	面	積
耕地擴張	開田	一〇	一〇	二〇八・四六一六	七八四・八二二六
耕地擴張	開畑	一三	一三	四三五・九三二二	二〇八・四六一六
耕地擴張	其他	六	六	四・五三一・七二〇〇	四三五・九三二二
耕地擴張	計	一四	一四	五、九六〇・九五〇四	四・五三一・七二〇〇

事業完了セルモノ	二五	七八四・八二二六
換地認可済ノモノ	一〇	二〇八・四六一六
工事完了セルモノ	一三	四三五・九三二二
工事施行中ノモノ	六	四・五三一・七二〇〇
計	一四	五、九六〇・九五〇四

本縣ハ地勢ノ關係上水力發電事業發達セル爲水利上大規模ナル耕地擴張事業ハ困難ニシテ一團地百町步以下ノ高岳ノ山麓及河川ノ沿岸地及震水災跡地ノ復舊事業ハ相當ノ成績ヲ擧ケ事業ニ對スル償還金ノ滯納等モ少ナシ

然レトモ地勢上難工事多キ爲事業費ハ向上ノ傾向アルヲ以テ極力勞力出資ヲ獎勵シ經濟的自力主義並獎勵補助ニ努メツ、アリ之カ擴張面積ハ年約二十町步内外ニシテ大正十五年以後開墾地ニ於ケル移住家屋建築補助戸數累計六三戸ナリ

二、耕地改良事業ノ現況

用排水幹線改良事業ハ施行済ノモノ東八代郡富士見村外二箇村一地區六百町步ニ過キス計劃中ノモノ四地區三千町步アルモ經濟界不況ニ累セラレ企業停頓中ナリ

趨勢

一、耕地擴張事業ノ趨勢

本縣ハ他府縣ニ比シ耕地面積少ナク農家一戸當リ耕作及別田二反八畝二十六步畑五反五畝十四步計

八反四畝十歩ニシテ全國一戸當耕作反別一町一反歩ニ比シ著シキ過少ナリ從ツテ年々米穀二十四萬石（内米二〇萬石）ヲ輸入スルノ状態ナルヲ以テ耕地ノ擴張及改良ハ本縣產業政策上最モ緊要ニシテ縣ノ獎勵施設ト相俟ツテ漸次進展シ明治四十年四十二年ノ大水害及震災ニ因ル荒地ノ復舊及山岳部ノ比較的平坦部ノ開墾ハ一部終了シタルモ尙今後開墾見込地面積相當大ナルモノアリ

種別	田トナルヘキ面積	畑トナルヘキ面積	計
開墾	一、二三七町	六、三七四町	七、六一一町
地目變換	二、九一三	六、三七四	二、九一三
計	四、一五〇	六、三七四	一〇、五二〇

即約一萬町歩ヲ有スルモ開田地ハ地勢上及田水等潤澤ナラサルモノアレハ溜池設置ニ依ルモノ多キヲ以テ工事費多額ヲ要シ又八ヶ岳山麓及富士山麓地方ハ火山ニ因ル地質ナルヨリ充分調査研究ヲ要スルモノアリ又八ヶ岳山麓ハ開墾見込地約三千町歩（田千町歩畑二千町歩）ヲ一團地トシ（標高一、二〇〇尺以下）目下工事中ノ佐久鐵道開通ニ伴ヒ地元關係町村之カ開墾方法ヲ具體化セムトスル氣運ニシテ大規模國營開墾豫定地トシテ實行方法ヲ促進セムトスル趨勢ナリ

二、耕地改良事業ノ趨勢

甲府盆地ニ於テハ用水不足地少ナケレトモ排水不良地ハ約七千町歩アリ盈地以外ニ於テハ用水不足面積三千四百町歩アリ又八ヶ岳山麓ニハ濕田地ニシテ暗渠排水ヲ要スル面積約一千町歩アリ之カ改

良ニ對シテハ五百町歩以上ノ圃地ハ農業水利調査ヲ大正十四年度以降繼續シ左記地區ハ調査終了シタリ

年 度	地 區 名	種 別	被 害 面 積
大正十四年度	濁川沿岸甲府市外六箇村	排 水	一、四一七町
昭和元 年度	荒川沿岸貫川村外六箇村	排 水	八〇〇
昭和二 年度	笛吹川沿岸忍林村外五箇村	排 水	七〇〇
昭和三 年度	平等川沿岸甲運村外六箇村	排 水	二、四〇〇
昭和四 年度	北巨摩郡圓野村外九箇村	排 水	六〇〇
計			五、九一七

今後調査見込ノモノ十地區約七千町歩ヲ有ス

調査セル地區ハ何レモ用排水幹線改良事業豫定地ナレハ地區民ノ要望及被害程度縣經濟等ニ鑑ミ實現ヲ期シツ、アルモ一般經濟界不況ニ因リ農村ノ經濟的打撃著シキト最近小作爭議等ノ影響ヲ蒙リ事業實施上地元ノ負擔金捻出困難等ニ依リ大ナル支障ヲ來シツ、アリ暗渠排水地ハ一部工事施行ノ結果多大ノ實績ヲ擧ケタル爲漸次進展シ耕地整理組合ヲ以テ施行中ナリ
尙震水災其他既ニ工事済ニシテ換地處分未濟面積約千二百町歩アルヲ以テ土地改良協會ノ施設ト相俟ツテ是カ促進ヲ計リツ、アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針
主ナル方針次ノ如シ

- 一、耕地擴張事業ハ地勢急峻ナル關係上今後ノ施行地ハ益々工費多額ヲ要スルヲ以テ開墾助成ノ主旨ニ則リ堅實ナル財務計劃ヲ樹立シ施行セシムルタメ開田畑工事ハ必ス夫役ノ方法ニ依リ施行スルハ勿論溜池工事並幹線水路等主要工事モ出來得ル限り夫役ニ依ラシメ工事終了後ノ負擔ノ輕減ヲ計ラムトス
- 又溜池工事施行ニ當リテハ搗固等ハ出來得ル限り農用機械力ヲ利用シ政府ノ施設ト相俟ツテ工事費ノ輕減ヲ計ラントスル方針ナリ
- 二、既往ニ於ケル開田施行地ニ於テ計畫通ノ用水量以上ニ用水ヲ要シ所期ノ開田ヲ施行スルコト能ハス爲ニ經營困難ニ陥レル實情ニアルモノ又ハ財務計劃不備若クハ其ノ實行難ノ爲經營面白カラサル地區ハ事業獎勵上遺憾ナレハ其ノ起因スル所ヲ充分調査研究ノ上確メ事業經營ヲ可及的助成セシムル方針ナリ
- 三、八ヶ岳山麓大規模開墾豫定地ハ高原地ニシテ氣温等低キヲ以テ目下部分的ニ基本調査中ナルモ是カ開墾事業ハ本縣農業上一大懸案ナルヲ以テ高原作物試作ノ上（農事試驗場ニ於テナサシム）適當ナル栽培作物ノ種類其ノ栽培方法及移住經營ノ方法等ヲ研究シタル上國營開墾豫定地トナシ開墾ノ實現ヲ期スル方針ナリ
- 四、用排水幹線改良事業ハ經濟界不況ニ因リ企業一頓挫セル狀況ナルモ地元ノ負擔金調定ヲ獎勵シ被

害ノ甚大ニシテ且ツ急ヲ要スルモノヨリ實施セシメントス

五、山間部ノ暗渠排水ヲ要スル約千町歩ノ改良ハ最モ適切ナルモノナレハ可成リ簡易ナル方法ニ依リ經費節減ヲ圖リ政府ノ獎勵施設ト相俟ツテ實施ヲ期セムトス

六、換地處分ノ促進ヲ圖リ工事完了後ノ手續ヲ一層迅速敏活ニ處理スル爲職員ヲ増員シ適當ノ方法ヲ採ラムトス

長野縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張改良施行見込地面積ハ約五萬三千町歩ニシテ昭和五年四月末日現在ニ於ケル耕地整理認可面積ハ一萬三千四百六十四町步地區數三百七十二箇所ニシテ内工事完了面積六千二百七十九町步二百七十四箇所換地處分濟面積六千二百四十五町步二百七十三箇所事業完了面積四千三百六十一町步百九十三箇所ナリ又開墾助成出願面積ハ二千八百七十九町步地區數五十七箇所ニシテ内工事完成面積一千六百七十六町步ニ達ス

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十六年創始以來測量設計、工事監督、事務指導並工事費補助等ノ獎勵施設ニ依リ漸次發達ノ域ニ進ミ大正八年開墾助成法ノ實施ニ依リ開墾事業勃興セシモ近來米價下落並一般財界不況ノ爲開墾事業稍不振狀況ナリシモ助成金四割補助ニ變更セラレシト一面養蠶業不況トニ依リ再ヒ開墾事業勃興ノ傾向ニシテ用排水ノ改善、區劃整理等ノ事業稍不振ノ狀況ニアリ

灌溉排水ノ缺陷ヲ根本的ニ改善スル用排水幹線事業ハ其ノ制度多大ナルヲ以テ曩ニ梓川水利改良事業

五千四百四十五町ノ施行ヲ見目下企業計畫中ニ屬スルモノハ善光寺平用水事業一千七百町歩及小縣即川西十箇村用水事業一千六百五十町歩ノ二地區トス

將來ニ對スル指導獎勵方針 現況如斯ニシテ耕地擴張改良見込地面積約五百三千町歩ニ對シ事業施行面積ハ僅ニ四分ノ一ニ過キササルヲ以テ將來ハ既耕地改良事業中多額ノ經費ヲ要セス工事容易ニシテ而モ利益顯著ナル用排水ノ改善並農道新設等ノ事業ニ力ヲ加フルト共ニ一團地三百町歩以上ニ亘ル地區ノ農業水利調査ヲ續行シ現ニ企業計畫中ニ屬スル用水幹線改良事業ト共ニ幹線改良補助要項ニ依リ政府ノ補助ヲ受ケ事業ノ實現ヲ期セムトス又開墾助成事業ニ對シテハ從來ノ方針ニ依リ利益顯著ナル地區ヲ選ヒ耕地整理法ニ依リ事業ヲ施行セシメ開墾助成法ノ恩典ニ浴セシメムトス尙又曩ニ申請セル野邊山原耕地整理組合一千一百町歩ノ開墾事業ニ付テハ主要工事ヲ國營ニテ施行ヲ受ケ開墾事業ハ速ニ着手セムトスル豫定ニシテ組合ハ着々準備中ナリ工事完了後ニ於ケル事務ニ付テハ速ニ手續ヲ完結セシムル様本縣耕地協會ト連絡ヲ保チ一層適切ナル指導ヲ加ヘムトス之等總テノ指導獎勵ニ付テハ縣經濟ノ許ス限リ設備ヲ擴張スルト共ニ工事費補助開墾地移住獎勵金豫算等モ相當増額シ斯業ノ獎勵ニ一段ノ力ヲ致サムトス

岐阜縣

現況並趨勢

一、耕地整理事業

耕地整理事業ハ從來ノ方針ニ基キ設計調査、工事監督、確定測量及完了事務等ノ指導ト工事費ニ對スル補助金ヲ交付シ獎勵ニ努メタル結果目下認可地區數二百十二、面積一萬二千四百五十四町歩ヲ算スルニ至レリ、近時耕地整理施行ノ必要ヲ一般ニ認識シ測量設計ヲ申請スルモノ漸次多キヲ加ヘ殊ニ用排水幹線改良工事ノ完成ニ伴ヒ關係區域内ニ於ケル古田整理ヲ企畫スルモノ増加シ年々逐ヒ益々發展ノ傾向アリ

二、開墾助成事業

開墾助成事業ハ耕地整理法ニ依リテ施行セシメ之ニ對シ古田整理ノ耕地整理ヨリモ高率ノ補助金ヲ又移住者招致ヲ要スルモノハ家屋建築補助金ヲ交付シ尙拔根機ノ貸與ヲ爲シ獎勵助成ニ努メ目下地區數六十六、此面積千六百三十八町歩ニ達セリ然レトモ近時經濟不況ノ爲新規企業ハ頓ニ減少ヲ見ルニ至レリ

三、成績不良地區復活事業

開田ヲ主目的トスル耕地整理地區中成績不良ナルモノ、改善ニ付テハ大正十四年度ヨリ年賦償還金ノ補給金ヲ交付シ來タリ更ニ昨昭和四年度ヨリ開墾地特別助成費豫算ヲ計上シ高率ノ補助金ヲ交付シテ水源工事其他ノ改良ヲ行ヒ開田地ノ増加ト生産物ノ増加ヲ計リ其ノ他財務計畫ノ樹立、經營ノ指導監督ヲ行ヒ開墾助成特別取扱ヒ等ニ依リ所期ノ事業ヲ遂行セシメムコトヲ期シ尙同年度縣ニ於テ特ニ農林省ノ追加補助ヲ得テ開墾田ノ用水節約調査ヲ行ヒ他面此等不良地區ニ模範田ヲ設置シ床掃工事ヲ施行シ以テ開田工事ノ基準ヲ示スト共ニ組合員ノ心機一轉ニ努メ之カ施肥耕種等ニ就テハ

農事試驗場及農會方面ト聯絡ヲ保チ指導スル計畫ナリ
四、用排水幹線改良事業

本事業ハ大正十三年度ヨリ開始シ左記ノ如ク既ニ完成セルモノ三個所此面積七千四十六町歩、工事中ノモノ五個所此面積一萬四千四百五十八町歩ニ達シ更ニ本年度ヨリ開始ノ爲メ國庫補助申請中ノモノ一個所此面積二千四百町歩アリ本縣ニハ今後尙改良ヲ要スヘキ五百町歩以上ノ集團地約三萬町歩ノ多キヲ存スルカ故ニ計畫調査ヲ希望スルモノ順次多キヲ加ヘントスル趨勢ナリ

區別	事業名	施行個所	關係面積	事業費總額
工事終了	岐阜縣農業水利改良事業	安八郡福東輪中普通水利組合區域	二、〇三〇町	三四七、〇〇〇
同	同	海津郡大江輪中普通水利組合區域	三、〇三二	三八六、〇〇〇
同	同	羽鳥郡中部普通水利組合	一、九八四	五〇二、〇〇〇
同	同	同	七、〇四六	一、二三五、〇〇〇
同	同	同	六、七九三	一、一〇〇、〇〇〇
同	同	同	一、八九六	七〇〇、〇〇〇
同	同	同	三、四二二	一、一八〇、〇〇〇
同	同	同	一、三四七	二五〇、〇〇〇
同	同	同	一、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇
計			一四、四五八	三、五三〇、〇〇〇

五、農業水利改良事業

市町村又ハ水利組合ニ於テ耕地五十町歩以上ヲ支配スル灌溉排水ニ關スル新築、改築工事及之ニ伴フ設備若ハ附帶工事ニ對シ四割以內ノ補助金ヲ交付スルコト、シ創メテ昭和四年度補助金ヲ計上ス而シテ本年度豫算金一萬九千圓ニシテ本事業ハ耕地五百町歩以上ノ縣營用排水幹線改良事業施行ニ伴ヒ支川改良ヲ獎勵シ事業ノ效果ヲ擧ケシメムトスルモノニシテ用排水幹線改良事業ノ進捗ニ伴ヒ益々發展ノ傾向アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地ノ改良ヲ必要トスル土地ハ主トシテ木曾、長良、揖斐ノ三大川ニ介在スル平坦部ニ屬シ灌溉排水不良ナルヲ以テ用排水幹線、同支川改良事業等ト相俟ツテ耕地整理ヲ獎勵シ耕地擴張事業ハ食糧自給ノ關係田畑面積及勞力ノ均衡等ヲ考慮シ可成有利ニシテ且成功確實ナルモノニ付キ獎勵ヲ加ヘ之等ニ關スル指導、獎勵、監督ノ設備補助金ハ縣經濟ノ許ス限リ擴張増加シ事業ノ健全ナル發展ヲ期シ用排水幹線改良事業ハ事業ノ緩急、地元ノ氣運等ヲ顧慮シ木曾川上流改修工事ト相俟ツテ畫策發展ヲ計ラムトス

靜岡縣

一、耕地ノ擴張

現況並趨勢 本縣ノ耕地ハ田六萬三千三百五十四町歩畑七萬三千五百四十五町歩合計十三萬六千八百九十九町歩アリ而シテ本縣農家戸數十四萬八百八十戸ナルヲ以テ一戸當耕作反別ハ僅ニ九反歩ニ過キス全國平均反別ニ比シ遠ク及ハサルノミナラス年々米穀不足高五十萬石ノ移入ヲ俟ツノ状態ニ在リ依ツテ人口食糧問題解決上ヨリスルモ自給自足ノ領域ニ達セシメントス

大正八年以降ハ特ニ獎勵ニ盡シタル結果企畫經營スルモノ漸ク増加シ開墾見込面積三萬二千二百七十八町歩ノ中開墾助成法ニヨリ出願シタル現在地區數八十四其ノ面積二千六百八十町歩ニ達シタリ内開墾實施成功シタルモノ田七百七十七町歩畑三百三十九町歩アルモ其ノ外助成法ニ依ラサル開墾地亦尠カラス而シテ開墾見込地中大集團ヲ爲スモノハ三方原五千町歩小笠郡南部海岸砂地二千町歩、富士並愛鷹山麓及浮島沼開發ノ三千二百町歩田方郡先原三里五百町歩等アリ何レモ大事業ニシテ未タ起業ヲ見サルモ近時頓ニ開墾熱ヲ加ヘ伊豆地方ヲ始メ各地ニ企業ノ勃興ヲ促シタルハ誠ニ喜フヘキ事象ト云フヘシ三方原或ハ富士山麓及小笠郡南部海岸關係ハ既ニ期成同盟會ヲ起シ斯業ノ促進ニ就テ研究運動ヲ續ケツ、アリ殊ニ三方原開墾ハ本縣重要事業ノ一トシテ多年宿望スルトコロ從來ニ於テモ地方的ニハ屢々企畫セラレタルコトアルモ巨費ヲ要スル關係ト設計計畫カ不充分ナリシ爲實現セシテ今日ニ及ヒタリ然ルニ三方原ハ氣候風土宜敷ニ適ヒ交通亦開ケ東西ノ要衝ニ當ル濱松市ニ隣接シ極メテ開墾適地ニシテ之カ開發ハ國富増進上地方振興上著シキ效果ヲ齎スモノナルヲ認メ縣ハ昭和元年度ヨリ昭和四年度ニ至ル四箇年ノ歲月ト縣費七萬三千餘圓ヲ投シテ農林省ノ指導ヲ受ケ之カ設計調査ヲ完了シタリ、偶々人口食糧政策上大規模開墾ノ唱導セララル、ニ當リ農

林省用排水幹線國營開墾費ノ計上セラレテヨリ一層白熱化シ一日モ速ニ實現セラレンコトヲ望シテ止マサル状態ニ在リ小笠郡南部海岸砂地開發ハ之亦本縣耕地擴張上適切ナル事業ノ一ニシテ目下砂濱開墾期成同盟會ヲ指導シテ氣象觀測ノ設備ヲ爲サシメ是地特有ノ風向ト風力トニ對スル砂ノ異動關係ヲ精査シ以テ開墾ノ基本タル砂防工事ノ統一的设计ヲ樹立セシメントス又先原三里ノ開墾ハ本省調査班ノ出張ヲ得テ施行ノ機運ヲ著シク増進シ來レル等開墾助成法ノ改正ハ頓ニ事業界ニ活況ヲ與ヘ本縣耕地擴張上一新機軸ヲ劃セリ

大正八年以降ノ耕地擴張潰廢ノ狀況ヲ示セハ左ノ如シ

年次	種別		潰廢		差引増減		備考
	田	畑	田	畑	田	畑	
大正八年	六五五・三	一、七五六・三	二八・四	二〇・四	五二六・七	一、五五四・九	110,810
同 九年	二八八・八	七四・七	二二・九	一八・八	七四・九	五四三・九	109,711
同 十年	二六四・八	九四・四	一八・二	三〇・九	一四七・七	七七・五	七三,311
同 十一年	一九七・七	一、三六〇・九	二八・八	二六・四	八五・二	一、一三三・五	四八,210
同 十二年	一六八・三	九二・四	六八・〇	〇〇・〇	四九・八	五二・四	三六,811
同 十三年	四〇三・八	六四・〇	一六・七	二二・八	三三・二	四六九・二	二四,010
同 十四年	一五七・二	四九・六	一八・八	六四・〇	三・六	一五〇・四	五,300

昭和元年	三〇・六	一、三三〇・〇	四八五・一	七六三・一	△	一七五・五	四三三・九	畑田	一、一〇〇
同 二年	一八・〇	八七〇・〇	二二一・五	三六九・九	△	二四・五	四七・一	畑田	一、〇〇〇
同 三年	一九・五	五七〇・四	二九・二	一、三八三・二	△	六六・七	八四八・八	畑田	一、〇〇〇
同 四年	六・九	四七・一	一九・四	二五・四	△	九三・五	二二・七	畑田	一、〇〇〇
計	三、〇四・六	九、九四三・八	二、九六・九	四、八四・九		一一四・七	五、五八・九	畑田	三、〇〇〇

備考 一、表中△印減テ示ス

二、備考欄記載ノ面積ハ開墾助成法ニ依リ開田開畑セルモノヲ示ス

指導獎勵方針 指導獎勵ノ徹底ヲ期スル爲調査設計ニ際シテハ慎重萬遺憾ナキヲ期シ又各種ノ機關ヲ通シテ法ノ精神ヲ全縣下ニ周知セシムルト共ニ一面事業經營者ノ意見ヲ徵シ又ハ視察ノ便宜ヲ供與シ或ハ講話會ヲ開催シ或ハ開墾地移住家屋建築ヲ獎勵シ或ハ指導機關ヲ作りテ事業經營上ノ圓滿ナル遂行ヲ圖リ進テ農家經濟ノ向上ヲ期セントス

二、耕地ノ改良

現況並趨勢 普通耕地整理ハ其ノ見込面積五萬一千町歩ノ中施行認可ヲ得タルモノ四百四十一地區其ノ面積二萬二千三百五十九町歩アリ而シテ事業完了セルモノ百七十二地區其ノ面積五千五百七十一町歩ナリ是等事業ニ對シテハ技術ノ力ヲ理想的ニ發揮セシメ天與ノ恵ヲ遺憾ナク利用シ農村計

畫ノ基調ヲ完カラシム比較的大ナル集團面積ノ施行ハ年ト共ニ覺醒セル農民ノ認ムル所ナリ從來相當困難トセラレタル百町歩以上ノモノヲ遂行着手スルニ至レリ而シテ用排水幹線改良事業ニ付テハ先年大要調査ノ結果事業施行ノ要アルモノ十八箇線アリ本縣ハ北ニ山岳重疊シ南ハ海ニ面シ其ノ間概シテ平野少ク河川亦急峻用水亦乏シキモノ尠カラサル状態ニナリ依ツテ右何レモ事業施行ノ急ヲ告ケ居ル狀況ニ在リ而シテ昭和元年度ヲ以テ事業完了シタルモノ諸井富里用水幹線改良事業ノ一線、目下事業中ノモノ栃山川沿岸用排水改良事業、都田川沿岸用排水改良事業、門池用水改良事業及磐田用水改良事業ノ四線アリ是等事業費總額實ニ三百七十八萬四千五百四十圓ノ多キニ達シ之カ計畫面積實ニ一萬五百八十町歩ニ達シタリ何レモ圓滿ニ事業ノ進捗ヲ見ツ、アルモ尙コノ外未著ノモノ十三線コノ計畫面積一萬三千九百町歩アリ夫々實施ヲ熱望シツ、アルヲ以テ順次國庫補助ヲ仰キ遂次遂行セントスサレハ用排水幹線改良事業ハ將來相當進展ヲ見ルモノト豫想セラル

指導獎勵方針 從來ノ方針ト根本ニ於テ異ルコトナク耕地整理獎勵費ノ如キ財政緊縮ノ場合ニ不拘從來ノ補助率ヲ低減スルコトナク獎勵シツ、アリ更ニ現況前述ノ趨勢ニアルヲ以テ耕地ノ改良カ單ニ其ノ耕地ノ理化學的ニミ止ラス進ンテ農業經營ノ向上ヲ圖リ以テ農村計畫ノ基調完成ニ努メントス暗渠排水事業ニツキテハ國ノ方針ニ添ヒ開墾助成法改正ノ精神普及徹底ヲ圖ルト同様方法ニ依リ其ノ效果等ヲ徹底的ニ周知セシメ斯業ノ勃興ヲ計ラントス尙耕地擴張改良事業者ノ團體タル耕地

協會ノ活躍ハ近時著シキモノアルニ鑑ミ縣費補助ヲ交付シ更ニ斯團體ノ發達ヲ助ケ以テ官民共同一
致シテ其ノ實ヲ擧ケントス

愛知縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ開墾助成法發布以來政府ノ施設ニ基キ獎勵ノ結果各地ニ勃
興シタルモ最近一般經濟界不況ノ爲稍沈衰ノ状態ニアリ然リト雖開墾助成法ノ改正並移住家屋建築補
助規定ノ改正等ニ依リ漸次振興スヘキ見込ニシテ三月末日現在ニ於テハ地區數五十三箇所此ノ面積一
千七百九十二町歩ニ達ス然シテ大規模開墾ノ候補地トシテ渥美、八名兩郡ニ亘リ約四千七百町歩ノ開
田見込地アリテ曩年農林省可知技師ノ踏査セラレタルモノナリ

耕地整理事業ハ近年農村一般景氣不況ニ拘ラス猶發展ノ状態ニアリ本年三月末日現在ニ於テ認可シタ
ル地區數三百十二箇所此ノ面積二萬九千六百二十町歩ニ達ス而シテ之カ基因スル所多クハ用悪水路及
交通運搬ニ供スル道路ノ不完全ナルニ依ルハ言ヲ俟タサル所ナルモ獨物價低落ノ現時ニ於テ施行スル
ノ利益ナルヲ認メタルト數年前旱害ノ辛慘ヲ嘗メタル等影響スル所尠カラサルカ如シ
耕地改良ニ至大ナル關係アル用排水幹線改良事業ハ地方ニ於テ痛切ニ其ノ改良ノ必要ヲ認メ希望スル
者多キモ縣トシテハ可能性アルモノヨリ順次實行ノ方針ヲ採リ縣會ノ決議ヲ經テ繼續事業トシテ實行
セムトスルモノ第一期八箇所第二期八箇所計十六箇所ニシテ此ノ内工事終了セルモノ幡豆郡横須賀用
排水幹線改良事業及渥美郡汐川用排水幹線改良事業及海部郡戸田川沿岸排水改良事業ノ三箇所工事ニ

着手セルモノ二箇所近ク工事ニ着手セムトスルモノ九箇所アリ
左ニ參考ノ爲前記事業ノ見込ニ對スル認可、出願、終了ノ對照ヲ示サムトス

發起設立施行認可 開墾助成出願 用排水幹線改良事業	成		見	
	地區	面積	地區	面積
三一	二九、六二〇町	一	一〇三、八〇〇町	
一五	一、七九二	一	二二、一四六	
三	二、三六四	一	八六、九五七	

將來ニ對スル指導獎勵方針 縣經濟ノ許ス範圍内ニ於テ大體從前ノ通り左ノ方針ニ依ラムトス

耕地整理事業

一、調査設計工事監督及事務指導等ハ獎勵規程ニ依リ補助獎勵シ工事ニ對シテハ補助規則ニ依リ補助
金ヲ交付セムトス

二、必要ニ應シ講習講話會ヲ催シ印刷物ヲ刊行シ又ハ耕地整理ニ關スル特殊團體タル耕地協會ノ如キ

ニ對シテ補助後援ヲ爲シ或ハ農會ノ如キモノト提携シテ益々斯業ノ普及發達ヲ期セムトス

三、用排水幹線改良事業ニ對シテハ縣費ヲ以テ其ノ區域ノ調査計畫ヲ施シ又本省並地方ト互ニ連絡ヲ

保テ極力事業ノ遂行ヲ圖リ之ト關聯シ耕地整理事業ヲ促進セシムトス

開墾事業

一、開墾助成法ノ普及徹底ヲ圖ルト共ニ耕地整理法ニ基クモノノ特種工事ニ對シテハ縣費補助金ヲ交

一、付セムトス

- 二、開墾地ニシテ勞力不足ノ地區ニ對シテハ移住獎勵ノ爲移住家屋ニ對シ補助金ヲ交付ス
- 三、開墾地ニ於テハ自作農ヲ創成スルヲ以テ經營上適當ナリト信ス故ニ之カ遂行ノ爲必要ナル方法ヲ講セシムルコト
- 四、農事試驗場機械農場等ト連絡ヲ保チ機械農具動力農具等ノ普及及利用ノ途ヲ講スルコト

三 重 縣

本縣ニ於ケル耕地擴張及改良事業ニ關シテハ從來政府ノ方針ニ基キ常ニ督勵ヲ怠ラス已ニ認可セラレタルモノノ耕地整理ニ在リテハ二萬八百六十町歩ニ達セリコレヲ耕地面積十萬三千四百九十八町歩ニ比スレハ約二割強ニ過キス今後尙耕地ノ改良スヘキ見込面積ハ五萬二千町歩アリ又開墾助成指令面積ハ一千六百七町歩ニシテ今後耕地ノ擴張スヘキ見込面積ハ一萬八千十町歩アリ斯ノ如ク前途遼遠ナルヲ以テ此際最モ有利ナル獎勵方法トシテハ縣營用排水幹線改良事業施行ニ伴ヒ耕地擴張改良事業ヲ促進セシムルヲ以テ現下ノ急務ト認メ昭和三年度以來農業水利改良計畫調査ヲ行ヒタルモノ約四千町ニ及ヒタリ

滋 賀 縣

一、耕地ノ改良事業

三本縣ニ於ケル改良事業ハ明治三十九年以來努メテ其ノ施行ヲ獎勵シタル結果逐年其ノ施行増加シ本年五月一日迄ノ整理施行認可地區數二百三十八面積一萬九百三十六町歩事業費約一千七十萬圓農業水利改良事業施行數一面積五百四十町歩事業費六萬六千圓ニ達セリ其ノ内工事完了地區數百五面積二三千三百四十五町歩換地處分地區數八十六面積二千八百六十二町歩事業終了地區數四十二面積一千九百九十六町歩ニ及ヘリ而シテ目下測量設計中ニ屬スルモノ五箇所三百五十町歩ニシテ尙設計調査豫定地ニシテ未タ著手ノ運ニ至ラサルモノ四十箇所千三百町歩存シ縣内耕地面積七萬九千三百町歩ノ内耕地整理見込面積二萬七千町歩ニ對比シ猶前途企畫スヘキ事業多シ然ルニ近時經濟界ノ事情ニ伴ヒ相當大區域ノ施行ハ其ノ企畫稍躊躇ノ傾向アルニ反シ旱害並小作問題等ノ應急對策トシテ溜池ノ新設増築地ト水ノ利用等比較的小規模ノ事業ニ付テ之カ施行希望多クナル傾向アルモ他方排水事業ハ氣候及下流地方トノ利害關係等ノ爲其ノ進捗見ルヘキモノナシ要スルニ本縣耕地ハ地勢上周圍山岳ヨリ琵琶湖ニ注ク各河川ニ支配セラレ其ノ流量ノ多寡ハ直接懸ツテ耕地ノ用排水ニ影響スルノ狀態ナルヲ以テ局部的ノ施行ハ之ヲ可及的避ケ曩ニ施行シ及今後施行セムトスル基本調査並農業水利調査ヲ基準トシ各河川流域ニ適合セル相當大ナル面積ノ改良計畫ヲ樹立シ關係者ヲ誘發シ之カ實現ヲ圖ラムトス

二、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ從來耕地整理事業ニ附隨シテ之ヲ勸奨シ殊ニ大正八年開墾助成法發布以來頗ニ之カ施行増加ノ趨勢ニアリ本年五月一日現在ノ開墾助成地區數二十九其ノ工事後ノ耕地擴張

張豫定面積ハ二千九百八十四町歩ヲ算シ開墾見込地四千五百町歩ニ對比シ當ニ其ノ半ヲ超ユルノ狀況ニアリ而シテ今後ノ見込地ハ僅ニ耕地間ニ介在スル小面積ノ荒蕪地山間ノ局部的小地及琵琶湖周二邊ニ存在スル内湖並寄洲ニ過キス依テ今後荒蕪地及山林原野ノ開墾ハ耕地整理施行ヲ可及的普及スルト共ニ治水關係ヲ考慮シ琵琶湖周邊ニアル寄洲荒蕪地ノ整理ニヨリ之カ擴張ヲ計ラムトス

京都府

現況 昭和四年九月一日現在農業調査中耕地調査ノ結果ハ本府管内ノ耕地總面積六萬五千九百八十八反九畝步其ノ内田面積四萬二千二百二十二町四反六畝步、畑面積一萬八千三百七十六町二反三畝步トス而シテ耕地整理施行可能地トシテ調査済ノ面積三萬一千町歩ハ之ニ含ム

- 一、耕地整理事業
 - 明治三十九年以來着實ナル進步發展ヲ爲シ現在施行ヲ認可シタル地區數四百五十八箇所面積一萬二千六十町歩ニ達シ其ノ内工事完了シタルモノ百十五地區面積二千七百四十五町歩換地處分認可済ノモノ九十一地區面積千九百四十三町歩事業終了セシモノ六十地區面積千九百九十三町歩ヲ算ス
 - 二、開墾助成事業
 - 大正八年以來出願シタル地區數三十九何モ耕地整理法ニ依リ事業ヲ施行開田四百三十三町歩開畑八十九町歩ヲ算ス
 - 三、用排水幹線改良事業
 - ...

○紀伊郡横大路村外一町三箇村排水改良事業

受益地面積五百九町歩
事業費十一萬五千六十四圓（決算）

○南桑田郡曾我部村外一箇町用水改良事業

受益地面積五百三十七町歩
事業費十七萬一千九百七圓（決算）

○乙訓郡向日町外六箇村排水改良事業

受益地面積八百二十三町歩
事業費二十三萬一千九百三十九圓（決算）

○綴喜郡八幡町外三箇村排水改良事業

受益地面積千二百九十七町歩
事業費二十萬五千五百二十一圓（決算）

○乙訓郡羽束師村外三箇村排水改良事業

受益地面積五百五十九町歩
事業費三萬三千七百九十三圓（決算）

以上何レモ工事竣成セリ

四、開墾地移住費補助

昭和三年度以來開墾地移住家屋建築費ニ對シ補助金ヲ交付シタルモノ二萬二千八百圓戸數八十二戸ヲ算ス

五、開墾機械使用費補助

昭和三年度ニ於テ農用牽曳機使用ニ對シ二百七十三圓ヲ交付セリ

趨勢 本府ノ耕地狀態ハ山城ノ南方一部ハ平坦ナリト雖丹波及丹後ノ方面ニ在リテハ山岳重疊シ耕地ハ概ネ其ノ豁間ニ存スルモノ多ク地勢上狹隘ニシテ廣大ナル區域ニ亘リ事業ノ施行殆ント不能ニシテ小區域ニ限界サレ其ノ結果著シキ施行面積増加ノ成績ヲ舉クルコトヲ得ス從ツテ現況ニ記述セル如ク地區數ノ多キニ比シ面積大ナラサル所以ナリ然シテ今後尙不完全耕地ヲ改良シ生産増加ヲ圖ルヘキモノ山城方面ヘ主トシテ排水改良ヲ目的トシ丹波及丹後方面ハ主トシテ用水改良ヲ目的トスル事業ヲ企畫セルモノ尠カラズ更ニ開墾地目變換等耕地ノ擴張ヲ行フヘキモノ續出スルノ傾向アリ
將來ニ對スル指導獎勵方針 既ニ現況趨勢ノ項ニ述ヘタル如キ狀態ナルヲ以テ指導獎勵方針ハ敢テ從來ト異ルコトナキモ將來一層ノ努力ヲ怠ス苟モ耕地ノ改良擴張ヲ爲シ得ヘキモノハ必要ノ施設ヲ講シ事業ヲ進展セシムルハ勿論經營上遺憾ナキヲ期セントス

大阪府

本府ニ於テハ耕地擴張ノ餘地少ナキヲ以テ開墾助成事業ハ甚タ不振ノ狀態ニアリ然レトモ耕地ノ改良事業ニアリテハ灌溉排水設備ノ改善水路ノ變更廢置、區劃ノ整正ヲ必要トスルモノ尠カラズ斯種事

業ハ土地所有者ノ自覺ニヨリ逐年増加進展ノ趨勢ニアリ將來ニ於テモ現時ノ獎勵方針ニ依リ其ノ施設ヲ踏襲スルノ外特ニ事業經營上ニ於ケル事務ノ促進整理ヲ期スルタメ極力實地ノ指導助成ニ島メムトス

目下主力ヲ用排水幹線改良事業ノ實施ト耕地整理ノ施行ニ注キツ、アリ其ノ現況ヲ述フレハ
耕地整理事業

設計調査ヲ了シタルモノ二萬五千町歩ノ内約一萬二千町歩ハ耕地整理トシテ既ニ施行ノ認可ヲ與ヘタリ此地區數百六十六箇所事業費豫算總額八百十七萬餘圓ニ達ス而シテ其ノ工事完了セルモノハ百三箇所此面積四千六百餘町歩トス

明治三十九年以來右工事費ニ對シ十分ノ二以内ノ補助金ヲ交付シ昭和四年度迄ニ四十六萬圓四千餘圓ヲ支出セリ

今左ニ昭和五年度ニ於ケル耕地改良獎勵事業ノ豫算、設備、施行豫定ヲ示セハ左ノ如シ

豫算 獎勵費三萬五千五百六十三圓

工事ニ對スル補助費金六萬圓

耕地整理協會補助費金五百圓

設備 技師二人 主事補五人

技手十二人 助手十人

雇一人 計三十人

施行豫定

調査設計 一千四十町歩
工事監督 六百町歩
事務指導 六百四十町歩

用排水幹線改良事業

府管用排水幹線改良事業ハ大正十二年度以來引續キ施行シ既ニ豫定ノ事業ヲ終リタルモノニ箇所目下工事中ノモノ一箇所本年度ヨリ新ニ事業ヲ開始セルモノ二箇所アリ概況左ノ如ク既往ニ於ケル成績ハ洵ニ顯著ナルモノアリ

地區名	受益面積	豫算總額	昭和五年度支出額	事業期間	目的
中河内郡十六個水路用水改良事業	八五〇町	決算五〇、六六〇	—	自大正十二年度至大正十三年度	揚水裝置
大阪市淀川右岸用水改良事業	一、三〇〇	決算九三、二八九	—	自昭和二年年度至昭和三年年度	同
南河内郡狭山池用水改良事業	二、五〇〇	四九二、四六七	一九五、三四七	自大正十四年度至昭和五年年度	溜池ノ新築増築用水幹線改修
泉北郡光明池用水改良事業	二、〇〇〇	一、四九六、〇〇〇	六九、〇〇〇	自昭和五年年度至昭和十年年度	同
中河内郡恩智川沿岸排水改良事業	六七〇	二三五、〇〇〇	四一、九六一	自昭和五年年度至昭和七年年度	恩智川ノ改修
計	七、三二〇	二、三六七、四一六	三〇六、三〇八		

以上事業中ノモノニ對スル專任職員トシテ現在技師三名主事補四名技手五名助手六名計十八名之ニ

從事シ居レリ

兵庫縣

現況 本縣ニ於ケル土地ノ總面積ハ六十一萬八千二百二十三町歩ニシテ田面積十一萬二十九町歩畑二萬四千三百三十四町歩合計十三萬四千三百六十三町歩(昭和三年末現在)ナリ而シテ改良事業ノタメ既ニ認可ヲ與ヘタル地區數四百五十七箇所面積一萬七千七百三十三町歩(昭和四年末現在)ニシテ事業ノ成績ハ概シテ良好ナリ今事業開始以來ノ成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

年次	發起設立施行認可		工事完了		換地處分認可		事業終了	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
明治三六年	三	三五町	—	—	—	—	—	—
同三七年	二	四三	—	—	—	—	—	—
同三八年	三	一四三	—	—	—	—	—	—
同三九年	六	一〇七	—	—	—	—	—	—
同四〇年	五	八八	—	—	—	—	—	—
同四一年	二	三四一	一	三五町	—	—	—	—
同四二年	七	三九二	—	—	—	—	—	—
同四三年	一〇	一、〇四二	七	二四九	二	四三	—	—

兵庫縣

昭和三十四年度	昭和三十三年度	同計
九二	一〇・六	一〇七
一・二・八	一〇〇・〇	二、二二六・八
六九・五	一〇・六	二五五・六
八二・三	一〇・六	二、四八二・四

趨勢 本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ逐年發展ノ機運ニ向ヒツ、アリシニ一般經濟界ノ不振ノ爲ニ之ヲ阻止セラル、傾向アルハ寔ニ遺憾トスル所ナリ然レトモ本縣ハ昨四年一局部ナルモ旱害ヲ被レルモノアルト近來小作問題ノ緩和ノ爲ト耕地整理事業ハ百年ノ大計ナリトシテ順次企業ヲ爲スノ傾向ニアリ加フルニ用排水幹線改良事業ノ實施ハ用排水ノ根本的解決ヲ與フルコト、ナル結果之ニ伴フ用排水ノ改良ヲ企畫スルモノ漸次増加スルモノト察知セラル又耕地擴張事業ハ客年開墾助成法ノ改正ニ依リ一般當業者ニ著シク好影響ヲ齎ラシ將來漸次發展ノ傾勢ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地改良可能地及耕地擴張見込地中最モ有利ニシテ且施行容易ナルモノヨリ順次施行セシメ用排水改良ノ大規模ノモノニ付テハ用排水幹線改良事業補助要綱ニ依リ縣營トシテ實施スル方針ヲ採リ既ニ三草山溜池及山田池ノ築造工事ニ着手シ猶佐治川沿岸用排水改良事業（支配面積二千五百町歩）及六法川沿岸用排水改良事業（支配面積五百町歩）ノ調査進行中ナリ其ノ他縣ノ施設トシテ左記方法ヲ實行シツ、アリ

- 一、耕地改良事業ニ伴フ特種工事ニ對シ其ノ工事費ノ十分ノ一以内ノ補助金ヲ交付ス
- 二、耕地擴張事業ニ伴フ特種工事ニ對シ其ノ工事費ノ十分ノ二以内ノ補助金ヲ交付ス

而シテ一、二、ニ對スル縣費豫算ハ從來三萬圓内外ニシテ事實ノ補助率ハ規定ノ三分ノ一位ニ過キサリシモ昭和四年度以降ハ五萬圓ニ増額シタル結果昭和四年度ノ補助率ハ前者ニ對シ一割五分餘後者ニ對シテハ約八分ノ補助金ヲ交付スルヲ得タリ

- 三、縣下ノ地勢狀況等ニ依リ四箇所ノ出張所ヲ設ケ設計調査、工事監督、事務指導等ノ補助ヲ爲シ事務遂行ノ便ヲ計リツ、アリ
- 四、機宜ヲ考察シ講習講話等ヲ爲シ事業ノ企畫實行ヲ獎勵シツ、アリ
- 五、事業資金ノ融通ニ就テハ努メテ供給ノ途ヲ講シ事業ノ進行ヲ計ラシメツ、アリ
- 六、昭和二年度ヨリ五箇年繼續トシテ地下水ノ調査ヲ行ヒ事業施行上ノ資料ニ供シツ、アリ
- 七、開墾地移住家屋及共同建造物ニ對シ從來前者ニハ二百圓後者ニハ建造費ノ二割以内ヲ補助セルモ昭和四年度ヨリ規定ヲ改正シ前者ヲ四百圓以内後者ヲ建造費ノ四割以内ヲ補助スルコト、シ開墾地ノ發展ヲ促進セシメツ、アリ
- 八、縣耕地整理協會ヲ督勵シ殘務ノ進捗ト事業ノ圓滿ナル發達ニ努力セシメツ、アリ
- 九、昭和四年度ヨリ施設セル農業水利調査ハ技手二名助手二名ヲ以テ之ニ當ラシメ用排水ノ不良ナル箇所ニ對シ其ノ改良ニ對スル根本計畫ヲ樹立シ以テ起業ノ促進ニ努メツ、アリ

奈良縣

現況並趨勢 本縣耕地ノ總面積ハ昭和四年九月一日ノ農業調査ノ結果ニ依レハ四萬五千三百九十三町

步餘畑面積一萬一千七百三十四町步餘ニシテ之ヲ農家戸數ニ割當ツルトキハ一戸當田五反三畝步餘畑一反九畝步餘ニシテ田面積ニ比シ著シク畑面積僅少ナリトス而シテ本縣耕地ノ狀態平坦部ト山間部トニ依リテ多少ノ差異アリトス平坦部ハ大和平野ト稱シ大和川ノ流域ニ屬シ本縣田面積約三分ノ二ヲ抱擁シ京、阪、神ノ大都市ニ隣接シ交通至便ナルノミナラス地味肥沃ニシテ區劃正シク耕法又集約ナル爲米ノ收量多ク其ノ反當收量ハ平年ニ在リテハ全國ニ於テモ優位ニアリト雖田面積ニ比シ流域淺狹ナル爲常ニ用水ノ不足ヲ訴ヘ平均四箇年ニ一回宛ノ旱害ヲ被リ甚シキ年ニ於テハ被害高數百萬圓ニ達シタルコトアリテ用水補給ニ關シ種々ノ救濟策ヲ講シツツアリト雖最早局部的又ハ姑息的手段ヲ以テシテハ之ヲ改良シ能ハサルノ現狀ニアリ故ニ平坦部ノ大々的ノ用水補給事業ヲ斷行スルニ非サレハ根本的ノ改良ヲ望ム能ハサルヘシ尙平坦部ニ於テハ耕地擴張ノ餘地少シト雖近時果樹園藝ノ勃興ト共ニ山林原野ノ開畑漸次盛ニナリツツアルノ趨勢ニアリトス

山間部ハ大和平野ヲ北東ヨリ南方ニ圍繞セル山地ニシテ田地ニ在リテハ大部分卑濕ナルノミナラス地勢ノ關係上區劃不正交通不便等ノ缺點多キヲ以テ農道ノ改良區劃整理暗渠排水等ノ各種改良事業ヲ極力獎勵中ニシテ最近ニ於テハ施行者著シク増加ノ傾向ニアリトス

又山間部ハ大部分山林ニシテ耕地少ク從來農家ノ生計ハ林業ヲ主トシ農耕ヲ從トシツツアリシモ近時財界ノ不況ハ林業ニ大打撃ヲ與ヘ材價ノ低落ハ山林労働者ノ生業ヲ失ハシメ漸次疲弊ノ度ヲ深メツツアルノ結果純農ヲ以テ立ツノ自覺者續出シ一面前記失業者ニ職ヲ與フルノ方策上開畑事業著シク増加シ今後ニ於テモ益々進展スルノ傾向ニアリトス

之ヲ要スルニ本縣ノ耕地擴張改良事業ハ現在ニ於テハ大部分山間部ニ在リテ特ニ昭和二年以降ハ開墾助成事業ノ勃興ヲ見ツツアリ平坦部ニ於テモ目下計畫中ノ用水幹線改良事業ヲ實施スルニ於テハ各種ノ改良事業モ相伴ヒテ起ルノ趨勢ニアリトス今昭和四年度末現在ノ本縣ノ耕地整理及開墾助成出願面積ヲ示セハ次ノ如シ

種目	箇所數	認可面積	同上ノ中昭和二年度以降	
			箇所數	面積
耕地整理事業	三〇七	一〇、九〇二町	八五	二、三八四町
開墾助成事業	四〇	三六一	三一	二六一

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、耕地ノ擴張

本縣ニ於ケル耕地ノ擴張ハ地勢及氣候等ノ關係ニヨリ開畑ヲ主トシ適地ハ大部分山間部ニシテ平坦部ニハ餘地少ナシ

前述ノ如ク本縣ハ田面積ニ比シ畑面積非常ニ少キヲ以テ將來益々之カ開發ニ努メ主作物ノ如キモ企業地ノ狀態ニ鑑ミ都市ニ販出ノ關係ヲ考察シ夫々適當ノモノヲ選擇セシメ又之カ栽培其ノ他土地利用ニ對シ専門技術員ヲ置ク等ノ方針ヲ採ラムトス

二、耕地ノ改良

本縣田地ノ三分ノ二ハ用水補給ヲ訴ヘツツアリテ特ニ米ノ主産地タル大和平野ハ其ノ代表的ノモノナリ故ニ本縣耕地ノ改良事業中用水補給ハ最モ緊急事ニシテ之カ對策トシテ昭和三年度以降吉野川ノ流域ヲ利用スルノ計畫ヲ樹テ目下調査中ナリトス本計畫ハ平坦部約一萬一千町歩ノ用水補給ヲ目的トスルモノニシテ本縣産業振興上ノ主要事業ナルヲ以テ可成速ニ之カ達成ヲ期セムトス又吉野川流域ヲ利用シ得サル用水不足地ノ改良ニ對シテハ各集團毎ニ年々一千町内外ノ調査ヲ施行シ遂次實行ノ促進ヲ計ルノ方針ナリトス

暗渠排水ハ主トシテ山間部ニ之ヲ獎勵シ平坦部ニ於テモ用水關係ト抵觸セサル限り之カ實行ヲ促進シ近ク補助規程ヲ改正シ特ニ助成ノ途ヲ講セムトス

以上ノ外道ノ改良、區劃ノ改正土地ノ交換ノミヲ行フ耕地整理等尙見込地多キヲ以テ縣財政ノ許ス限リ獎勵指導ノ設備ヲ増加シ健全ナル進展ヲ期セムトス

和歌山縣

現況 現在迄耕地敷理事業認可セル地區數二百九面積三千八百八十二町歩ヲ算シ其ノ中開田面積百六十五町歩開畑面積四百二十六町歩計五百九十一町歩ナルヲ以テ開墾事業ハ耕地整理總面積ノ一割五分ニ相當ス

事業別ニ表記スレハ次ノ如シ

種目	地區數	面積
事業完了セルモノ	二二	四一七

換地處分濟ノモノ

三一 五二三

工事完了セルモノ

五七 一〇八六

工事施行中ノモノ

九九 一、八五六

計

二〇九 三、八八二

本縣ノ耕地擴張事業ハ地勢ノ關係上難工事少カラス殊ニ開畑事業ハ山嶺ノ急傾斜ノ地ヲモ開墾シ改良事業ハ溜池ノ新設及増築ニヨリ用水ノ補給ヲナスモノ多ク大部分ハ低利資金ノ供給ヲ仰カス農閑期ヲ利用シ組合員ノ勞力ニ依リ事業ヲ施行シツツアルヲ以テ組合財務等頗ル良好ナル成績ヲ示シ一般ニ本縣ノ耕地擴張改良事業ハ順調ニ進展シツツアリ

趨勢 本縣ハ地勢ノ關係上大規模ノ事業ヲ實施スルコトハ不可能ニシテ小規模ノモノ多シト雖モ最近漁業林業農業等各種産業ノ不況ノ情況ナルヲ以テ最近ニ於テハ農村ハ勿論漁村山村等ヨリ耕地整理調査ヲ希望スルモノ頗ル多ク最近ノ一箇年平均認可地區數十面積百五十歩ナルモ昭和五年度ニ於テハ五月迄申請アリタルモノ既ニ地區數二十六面積五百一十一町歩ヲ算シ本年度未迄ニ相當申請アル見込ニシテ經濟界不況ナルニ係ラス耕地擴張改良事業益々隆盛ニ趨カントスル情況ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ハ紀伊山系ニ屬スル山脈ノ蜿蜒連亘スルヲ以テ急峻ナル地勢ヲ形成シ紀ノ川沿岸ニ平坦地ヲ有スルニ過キス本縣ノ總面積ハ三十六萬八千餘町歩ニシテ耕地面積ハ僅ニ四

萬九千五百餘町歩ナルヲ以テ耕地利用率ハ僅ニ一割四分ニ過キス
 農家一戸當耕作反別ハ田四反三畝歩畑一反九畝歩計六反二畝ヲ算スルニ過キス此ヲ全國平均一町一反
 歩ニ對比スレハ約半數ニ過キサル情況ナリ

將來開墾擴張面積ハ田六百三十一町歩、畑三千七百八十六町歩計四千四百十七町歩ニシテ既ニ開墾ヲ
 了セルモノ約六百町歩ヲ算スルニ過キス

現今ニ於テハ前述ノ如ク漁業林業不況ノ爲開墾事業ヲ申請スルモノ頗ル多ク縣トシテモ現今ノ農家經
 濟ニ鑑ミ極力指導獎勵ヲ爲サントス

農業水利不良地ハ用水不足地六千五百九十八町歩排水不良地八千二百二十六町歩ヲ算ス

調査終了セル御坊町外八箇村地區九百五十町歩及ヒ目下調査中ニ屬スル紀ノ川岩出町以西地區三千六
 百町歩今後調査セントスル紀ノ川以東地區二千五百町歩ニ對シテハ漸次勸誘ノ上事業實施セシメント
 ス

小面積ノ農業不良地及耕地擴張改良適地ニ關シテハ所有者町村關係者ヲ參集セシメ又ハ講演會等ノ場
 合講話勸誘ヲ爲シ耕地整理及開墾助成ノ主旨ヲ徹底セシメ益々事業ノ獎勵ヲ爲ス方針ナリ

鳥取縣

現況 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張及改良事業ハ明治三十二年以來政府ノ方針ニ基キ耕地整理獎勵規程
 並工事補助規程開墾地移住獎勵規程等ヲ公布シ設計調査、工事監督事務指導等極力之カ指導獎勵ニ努

メタル結果其ノ成績稍見ルヘキモノアルニ至リタルモ尙充分ナラサルヲ以テ大正十三年以來集團地ニ
 對シテハ其ノ用排水幹線ノ改良工事ヲ縣營ヲ以テ施行シ又耕地整理協會ヲ設立セシムルト共ニ縣ニ於
 テモ專任事務員ヲ設置シ耕地整理組合ニ於ケル殘務整理ノ進捗ヲ圖リ更ニ昭和三年度ニハ大山試驗農
 場ヲ設置シ畑作物ノ種類肥料試驗並農業經營ノ研究ヲ併セ行ヒ大山原野八千餘町歩ノ開發ニ資セシム
 ル等銳意事業ノ發展ニ努メタル結果昭和五年三月末ニ於ケル成績左表ノ如シト雖之ヲ縣下ノ耕地改良
 及擴張見込面積五萬五千町歩ニ比スレハ其ノ四割ニ達セサルノ狀況ニシテ斯業ノ前途猶遠遠ナリ

一、耕地整理事業

設立及施行認可		工事完了		換地處分認可		事業終了		備考
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	
三一	一七、九九九町	一六	七、一八一町	九九	五、五九八町	六七	二、三九七町	明治三十二年度開始

二、開墾助成事業

地區數	面積			備考
	開	田	畑	
一三〇	二、一六四町	三九四町	二、五五八町	大正八年六月開始

三、農業水利改良事業

名 稱	受益面積	事業費總額	事業期間
東伯郡由良川沿岸	六八五町	三一〇、〇〇〇 ^四	至自昭大 昭和正 和和和 七三六二四 年年年 度度度
氣高郡野坂川湖山池沿岸	一、〇八八	七〇〇、〇〇〇	至自昭昭 昭和和 和和和 七三六二 年年年 度度度
米川及新開川	四、三七五	一、〇〇〇、〇〇〇	至自昭昭 昭和和 和和和 七三六二 年年年 度度度

趨勢 本縣ハ古來有名ナル水害縣ニシテ大正元年同七年ノ大洪水近クハ大正十二年ノ大水害ヲ蒙リ縣民ノ疲弊困憊甚シク其ノ災害地ノ復舊ニ寧日ナク爲ニ普通ノ耕地改良及擴張事業ノ振興ヲ一時阻害セリト雖最近用排水施設ノ完備水路ノ改善ヲ主トスル改良事業漸ク多カラントスル趨勢ニアリ又開墾助成法ノ改正養蠶ノ勃興等ニ伴ヒ畑地ノ開墾ヲ計畫スルモノ頓ニ増加セリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 現況及趨勢ノ概要ハ前述ノ如クニシテ斯業ノ促進達成ヲ期スルハ甚タ容易ナラスト雖之カ遂行ハ生産増殖上極メテ緊要ノコトニ屬スルヲ以テ從來ノ方策ヲ踏襲スルノ外時勢ノ進運ト相俟ツテ新ナル施設ヲ爲シ以テ本縣ノ富源ヲ開發スル豫定ナルモ差當リ縣財政ノ許ス範圍ニ於テ左記事項ノ遂行ヲ期セムトス

- 一、農業水利調査ヲ可成急速ニ完成セシムルコト
- 二、縣營農業水利改良事業施行ノ全區域ニ亘リ耕地整理組合ヲ設立セシメ土地改良事業有終ノ効果ヲ收ムヘク内部ノ區劃整理ヲ實施セシムルコト

島根縣

- 三、大山原野並砂丘地其ノ他全縣下ニ於ケル未開墾地ノ水利調査ヲ行ヒ實行比較的容易ナルモノニ對シテハ實施計畫ヲ樹テ町村又ハ事業者ヲ指導誘掖シテ速ニ實施セシメントス
- 四、事業ノ確實ナル遂行ヲ期シ設計工事監督事務指導ヲ一層周到ナラシメ且殘務整理ノ促進ヲ期スルコト
- 五、事業施行地ノ財務土地利用維持管理等ニツキ一層周到ナル指導ヲナスコト
- 六、五町歩以下ノ小面積ノ開墾ヲモ獎勵助成スルコト

現況並趨勢 本縣ハ地勢概シテ急峻ニシテ耕地ニ乏シク昭和四年九月一日現在ヲ以テ施行ノ農業調査ノ結果其ノ反別ハ田五萬七千五百五十九町步畑二萬五千五百九十三町步計八萬二千七百五十二町步ニシテ官民有地反別五十一萬四千九百九十六町步ニ比シ一割六分二厘ニ相當セリ隨ツテ農家一戸當耕作反別ハ僅ニ八反二畝步ニシテ全國平均ノ夫レニ比シ過少ナルノミナラス之等耕地中ニハ用水不足、排水不良區劃ノ不整狹小ナルモノ頗ル多ク米ノ一反步當收穫高モ漸ク一石八斗九升ニ過キサレノ狀況ニアル加之最近時勢ノ進運ニ伴ヒ耕地ノ潰廢逐年遞増シ最近十年間ニ於ケル其ノ潰廢反別ハ年平均四百九十三町步ノ多キニ達シ差引二百二十六町步ノ耕地ノ減少ヲ示スノ狀態ニシテ耕地ノ擴張改良事業ノ施行ハ現下農村ノ實情ニ鑑ミ最モ緊要ナル事項ナリ依テ本縣ニ於テハ常ニ政府ノ獎勵方針ニ順應シテ諸般ノ施設ヲ爲シ以テ斯業ノ指導獎勵ニ力メタル結果時ニ經濟界ノ變遷ニ伴ヒ消長ナキニ非ラサレトモ明治

三十三年耕地整理法實施以來頗順調ナル経路ヲ辿リ逐年其ノ普及發達ヲ來タシ現在次表ノ如キ成績ヲ擧ケ相當ノ效果ヲ收メタリ然レトモ之ヲ縣下ノ擴張見込反別一萬三千五百十九町歩改良見込反別二萬三千九百七十五町歩計三萬七千四百九十四町歩ニ比スレハ其ノ認可面積ハ僅ニ二割九分四厘ニ過キサルノ狀況ニシテ尙開發ノ餘地多ク將來ノ計畫ニ俟ツモノ尠ナカラサルナリ

而シテ之カ既往ノ成績ヲ觀ルニ本縣ハ地勢ノ關係上擴張事業ノ施行ニ際シテハ多額ノ事業費ヲ要スルヲ常トスルヲ以テ從來比較的事業費ヲ要スルコト少ナキ區劃ノ改正、道水路ノ變更廢置或ハ暗渠排水工事ヲ主トセル改良事業ノ施行多カリシカ近時思想上ノ變遷並ニ經濟界ノ不振等ニ伴ヒ地主小作人間ニ紛争ヲ惹起シ或ハ事業資金ノ融通逼迫等ノ影響ヲ蒙リ地主ヲシテ土地ニ對スル事業資金ノ投入ヲ躊躇セシムルノ傾向ヲ來シ爲ニ斯種事業ノ進捗ヲ阻害シ其ノ前途寒心ニ堪ヘサルモノアリシカ昭和四年四月開墾助成法ノ改正實施セララル、ニ及ヒ從來不振ナリシ擴張事業ハ茲ニ一新紀元ヲ畫シテ頓ニ勃興セムトスルノ情勢ヲ來タセルニ加ヘ近時農業經營ノ改善上果樹園ノ經營又ハ筍ノ採取ヲ目的トスル開墾事業並耕作幹道ノ變更廢置ヲ目的トスル改良事業ヲ企畫セムトスルモノ漸次多カラムトスルニ際シ偶々昨夏稀有ノ大旱魃ニ遭遇シ爲ニ蒙リタル被害激甚ナリシヲ以テ之カ用水源ノ完備ヲ期セムカ爲溜池又ハ井堰ノ築造用水路ノ變更、廢置並揚水機設置等ヲ企畫スルモノ漸次多キヲ加ヘムトスルノ趨勢ニ在リト雖之カ指導獎勵ニ就テハ今後一段ノ施設ヲ要スヘキモノト認ム

一、耕地整理事業

種別	地區數	面積
發起設立施行認可	一、一六五	一一、〇四九・一四
工事完了	五二一	五、二八六・四一
工換地處了	四〇五	四、六五一・九〇
事業終了	二〇二	一、六八〇・二三

二、開墾助成事業

地區數	耕地擴張面積		附記
	開田	開畑	
三三	三七五・六一	五二・〇八	計
			四二七・六九
			未指令地區ヲ含ム

三、農業水利改良事業

名稱	支配面積	事業ノ種類
神戸川用水改良事業	七三四町	堰堤新設水路改修

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地ノ擴張改良事業ハ國家ノ食糧政策上重要ナルノミナラス農業經營ノ合理化上其ノ基本タルヘキモノナルヲ以テ今後時勢ノ進展ニ順應シテ諸般ノ施設ヲ爲シ其ノ最善ノ方

策ヲ講スルコト勿論ナリト雖本縣ニ於テハ昭和三年七月樹立シタル産業計畫ノ方針ニ基キ凡ソ左ノ事項ヲ施設シ以テ將來ニ善處セムトス

- 一、耕地ノ擴張改良事業ヲ一層獎勵シ指導監督ノ徹底ヲ期スルコト
- 二、開墾地ノ移住ヲ獎勵スルコト
- 三、土地水面ノ利用調査ヲ行フコト
- 四、農業水利調査ヲ行フコト
- 五、特殊ノ事業ハ必要ニ應ジ縣營トシ其ノ完成ヲ期スルコト
- 六、耕地整理協會ト聯繫ヲ保チ事業ノ促進ヲ期スルコト

岡山縣

現況 本縣ニ於ケル耕地ハ昭和四年九月一日現在農業調査ノ結果ニ依ルニ總面積十二萬五千七百九十三町步ニシテ内田八萬九千四百五十五町步畑三萬六千三百三十八町步トス而シテ耕地ノ擴張改良事業ハ年ヲ逐ヒ漸次發達シツ、アリト雖今後ノ企畫ニ俟ツヘキモノ極メテ廣汎ニシテ開田見込地二萬二千餘町步開畑見込地一萬一千餘町步ヲ存シ耕地ノ改良ニ於テハ實ニ四萬七千餘町步ニ達シ用水補給ト排水相半シ全耕地ノ約三割八分ニ相當ス今事業ノ現況ヲ示サムニ

- 一、耕地整理事業

昭和五年四月末迄ニ組合ノ設立又ハ施行ヲ認可シタルモノハ地區數五百九十九此面積一萬七千九百

十一町九反步ニシテ之カ進捗ノ狀況左ノ如シ

種別	地區數	面積
工事着手準備中ノモノ	一六	一、〇八三・六町
工事中ノモノ	二二七	九、一五一・七町
工事完了セルモノ	二二二	四、三五七・二町
組合解散又ハ事業終了セルモノ	一一四	三、三一九・四町
計	五九九	一七、九一一・九町

二、開墾助成事業

昭和五年四月末ニ出願シタルモノハ地區數百十二此面積四千八百八町六反步ニ達セリ

三、縣營用排水改良事業

目下三地區ニシテ之カ概要左ノ如シ

地區名	事業ノ目的	關係耕地面積	事業費豫算	附記
鹽手溜池支配地域用水改良事業	用水補給	五六二町	三九〇・〇〇〇円	溜池ノ増築昭和四年三月工事終了
黒谷溜池支配地域用水改良事業	同	五七一町	四七〇・八〇〇円	溜池ノ新設昭和二年四月工事ニ着手目下施行中
昭和溜池支配地域用水改良事業	同	六一六町	四五〇・〇〇〇円	同上、目下工事着手準備中
計		一、七四九町	一、三一〇・八〇〇円	

四、土地改良事業

本事業ハ耕地整理法ニ依ラサル小規模ノ濕田排水事業ニシテ大正十年獎勵費補助規則制定以來昭和三年度迄ニ施行シタル面積二千四百七十二町歩ニ及ヘリ

五、耕地水利事業

本事業ハ町村水利組合等ニ於テ施行スル溜池又ハ堰ノ新設改築事業ニシテ大正十一年補助規則公布以來昭和三年度迄ニ施行シタルモノ溜池ニ於テ二百九堰ニ於テ八十五此關係耕地面積六千七百八十五町歩トス

大要以上ノ如ク何レモ一般ニ良好ナル成績ヲ收メツ、アリ

趨勢

本縣ニ於ケル事業ノ趨勢ハ其ノ當初ニ於テハ事業成否ノ如何ヲ虞レ遲疑逡巡スル者多ク從ツテ事業ノ進捗振ハサリシモ縣ノ指導獎勵ト良好ナル成績トニ依リ漸次當事者ノ自覺ヲ促シ其ノ發起ヲ見ルニ至リシモノナリ而シテ近年ニ於ケル趨勢ヲ見ルニ耕地ノ改良事業ニ在リテハ依然トシテ水源工事ノミヲ行フモノ最モ多キヲ占メ區劃整理ノ如キハ全クナシ右ハ近年早害頻ニ至ルト一面本縣ノ耕地ハ往昔ヨリ其ノ區劃比較的整然タルニ由ルモノニシテ當然ノ傾向ト認メラル耕地ノ擴張事業ニ在リテモ亦依然トシテ小規模ノモノ多シ

然レ共最近深刻ナル農村ノ不況ハ反ツテ本事業ノ企畫ヲ促スモノ、如ク即目下豫定地ノ踏査ヲ出願セル者或ハ測量設計ノ補助ヲ申請セル者著シキ數ニ上レル狀況ニシテ今後尙益々増加セムトスル傾向ニ在リ依ツテ從事懸案ノ豫定地中規模小ナルモノハ勿論其ノ大ナルモノニ在リテモ或ハ近ク實施ニ至

ルヘキカト認メラル

將來ニ對スル指導獎勵方針 趨勢ノ大要右ノ如クナルカ故ニ從來ノ獎勵施設タル調査設計ノ補助工事並會計事務ノ指導監督、工事費ノ補助、土工用器具ノ無償貸與及開墾地移住ノ補助等ヲシテ縣財政ノ許ス限リ一層其ノ内容ヲ充實セシムルコト、シ一面特ニ經營困難地區ノ救濟ニ努メ以テ政府ニ於ケル獎勵方針ト相俟ツテ堅實ナル事業ノ發達ヲ期セムトス

廣島縣

現況 本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業ハ耕地整理法、開墾助成法或ハ用排水幹線改良事業補助其ノ他ノ施設ニ依リ逐年發展ノ狀況ニ在リ今ヤ耕地整理施行認可地區數一千二箇所其ノ面積約一萬九千八百町歩ニ及ヒ其ノ成績顯著ナリト雖其ノ多クハ經營ノ途上ニ在リ尙擴張ノ餘地ト改良ヲ要スヘキ耕地ノ面積相當廣汎ニ亘ルモノアリテ本事業ノ前途ハ頗ル遼遠ナリ
縣ハ時勢ニ鑑ミ事業ノ大成ヲ期スルノ緊切ナルヲ認メ銳意其ノ實施ヲ勸奨シ事業ノ普及發達ヲ促シツ、アリ

今事業ノ實績並將來開發シ得ヘキ見込面積等ニ付其ノ概要ヲ表示スレハ左ノ如シ

一、耕地整理事業成績表（年次ハ歷年ニ依ル）

年次	地區數	擴張		計
		開田	開畑	
大正八年	一七	一七六・五	三六・一	二一二・六
同九年	一六	一〇五・七	一九・四	一二五・一
同十年	一六	一七九・三	一二・〇	一九一・三

二、開墾助成出願狀況表(年次ハ歷年ニ依ル)

年次	地區數	面積	開田	開畑	計
同十一年	三四	七五三・四	一五	一一	二八〇・七
同十二年	二八	一、一九二・三	一〇	一一	一八五・四
同十三年	三四	二、一〇六・五	四	一〇	一四六・六
同十四年	二三	一、四八八・〇	四	四	三一三・二
昭和元年	一四	一、七一・六	一四	一七	四四六・〇
同二年	四〇一	七七七・二	一〇	一五	七九七・五
同三年	二五	六八〇・二	二四	二一	三〇二・四
同四年	八九	二、三〇七・九	六四	二一	二〇二・八
同五年(四月末迄)	二二	四〇〇・六	三二	九	二四四・八
計	一、〇〇二	一九、七九五・五	三六七	一八八	一、九四八・一

年次	地區數	面積	換地處分認可		計
			地區數	面積	
明治三十七年	三	五四・九			三
同三十八年	三	八八・一			三
同三十九年	二	四三・五			二
同四十年	五	七三・九			五
同四十一年	四	五八・五			四
同四十二年	六	五一・二			六
同四十三年	一七	六〇四・〇			一七
同四十四年	一六	三六六・二			一六
大正元年	二二	三八五・二			二二
同二年	三五	九九六・七			三五
同三年	二七	六二八・〇			二七
同四年	四七	一、五六四・七			四七
同五年	四〇	一、二三六・七			四〇
同六年	二一	三〇五・八			二一
同七年	一七	四一九・三			一七
同八年	一一	三五六・六			一一
同九年	三一	六九八・六			三一
同十年	九	一四			九
同十一年	一〇	二〇一・〇			一〇
同十二年	二	二二八・三			二
同十三年	二一	三五五・四			二一
同十四年	一四	一七四・二			一四
同十五年	一三	二二六・八			一三
同十六年	八	五七・八			八
同十七年	六	三五・四			六
同十八年	七	九二・一			七
同十九年	五	七八・六			五
同二十年	六	一〇四・一			六
同二十一年	二	二一・二			二
同二十二年	一	一一・八			一
同二十三年	一	一三四・七			一
同二十四年	一	一一・八			一
同二十五年	二	二一・二			二
同二十六年	二	二一・二			二
同二十七年	一	一・八			一
同二十八年	一	一・八			一
同二十九年	一	一・八			一
同三十年	一	一・八			一
同三十一年	一	一・八			一
同三十二年	一	一・八			一
同三十三年	一	一・八			一
同三十四年	一	一・八			一
同三十五年	一	一・八			一
同三十六年	一	一・八			一
同三十七年	一	一・八			一
同三十八年	一	一・八			一
同三十九年	一	一・八			一
同四十年	一	一・八			一
同四十二年	一	一・八			一
同四十四年	一	一・八			一
大正元年	二	二一・二			二
同二年	一	一・八			一
同三年	一	一・八			一
同四年	一	一・八			一
同五年	一	一・八			一
同六年	一	一・八			一
同七年	一	一・八			一
同八年	一	一・八			一
同九年	一	一・八			一
同十年	一	一・八			一
同十一年	一	一・八			一
同十二年	一	一・八			一
同十三年	一	一・八			一
同十四年	一	一・八			一
同十五年	一	一・八			一
同十六年	一	一・八			一
同十七年	一	一・八			一
同十八年	一	一・八			一
同十九年	一	一・八			一
同二十年	一	一・八			一
同二十一年	一	一・八			一
同二十二年	一	一・八			一
同二十三年	一	一・八			一
同二十四年	一	一・八			一
同二十五年	一	一・八			一
同二十六年	一	一・八			一
同二十七年	一	一・八			一
同二十八年	一	一・八			一
同二十九年	一	一・八			一
同三十年	一	一・八			一
同三十一年	一	一・八			一
同三十二年	一	一・八			一
同三十三年	一	一・八			一
同三十四年	一	一・八			一
同三十五年	一	一・八			一
同三十六年	一	一・八			一
同三十七年	一	一・八			一
同三十八年	一	一・八			一
同三十九年	一	一・八			一
同四十年	一	一・八			一
同四十二年	一	一・八			一
同四十四年	一	一・八			一
大正元年	一	一・八			一
同二年	一	一・八			一
同三年	一	一・八			一
同四年	一	一・八			一
同五年	一	一・八			一
同六年	一	一・八			一
同七年	一	一・八			一
同八年	一	一・八			一
同九年	一	一・八			一
同十年	一	一・八			一
同十一年	一	一・八			一
同十二年	一	一・八			一
同十三年	一	一・八			一
同十四年	一	一・八			一
同十五年	一	一・八			一
同十六年	一	一・八			一
同十七年	一	一・八			一
同十八年	一	一・八			一
同十九年	一	一・八			一
同二十年	一	一・八			一
同二十一年	一	一・八			一
同二十二年	一	一・八			一
同二十三年	一	一・八			一
同二十四年	一	一・八			一
同二十五年	一	一・八			一
同二十六年	一	一・八			一
同二十七年	一	一・八			一
同二十八年	一	一・八			一
同二十九年	一	一・八			一
同三十年	一	一・八			一
同三十一年	一	一・八			一
同三十二年	一	一・八			一
同三十三年	一	一・八			一
同三十四年	一	一・八			一
同三十五年	一	一・八			一
同三十六年	一	一・八			一
同三十七年	一	一・八			一
同三十八年	一	一・八			一
同三十九年	一	一・八			一
同四十年	一	一・八			一
同四十二年	一	一・八			一
同四十四年	一	一・八			一
大正元年	一	一・八			一
同二年	一	一・八			一
同三年	一	一・八			一
同四年	一	一・八			一
同五年	一	一・八			一
同六年	一	一・八			一
同七年	一	一・八			一
同八年	一	一・八			一
同九年	一	一・八			一
同十年	一	一・八			一
同十一年	一	一・八			一
同十二年	一	一・八			一
同十三年	一	一・八			一
同十四年	一	一・八			一
同十五年	一	一・八			一
同十六年	一	一・八			一
同十七年	一	一・八			一
同十八年	一	一・八			一
同十九年	一	一・八			一
同二十年	一	一・八			一
同二十一年	一	一・八			一
同二十二年	一	一・八			一
同二十三年	一	一・八			一
同二十四年	一	一・八			一
同二十五年	一	一・八			一
同二十六年	一	一・八			一
同二十七年	一	一・八			一
同二十八年	一	一・八			一
同二十九年	一	一・八			一
同三十年	一	一・八			一
同三十一年	一	一・八			一
同三十二年	一	一・八			一
同三十三年	一	一・八			一
同三十四年	一	一・八			一
同三十五年	一	一・八			一
同三十六年	一	一・八			一
同三十七年	一	一・八			一
同三十八年	一	一・八			一
同三十九年	一	一・八			一
同四十年	一	一・八			一
同四十二年	一	一・八			一
同四十四年	一	一・八			一
大正元年	一	一・八			一
同二年	一	一・八			一
同三年	一	一・八			一
同四年	一	一・八			一
同五年	一	一・八			一
同六年	一	一・八			一
同七年	一	一・八			一
同八年	一	一・八			一
同九年	一	一・八			一
同十年	一	一・八			一
同十一年	一	一・八			一
同十二年	一	一・八			一
同十三年	一	一・八			一
同十四年	一	一・八			一
同十五年	一	一・八			一
同十六年	一	一・八			一
同十七年	一	一・八			一
同十八年	一	一・八			一
同十九年	一	一・八			一
同二十年	一	一・八			一
同二十一年	一	一・八			一
同二十二年	一	一・八			一
同二十三年	一	一・八			一
同二十四年	一	一・八			一
同二十五年	一	一・八			一
同二十六年	一	一・八			一
同二十七年	一	一・八			一
同二十八年	一	一・八			一
同二十九年	一	一・八			一
同三十年	一	一・八			一
同三十一年	一	一・八			一
同三十二年	一	一・八			一
同三十三年	一	一・八			一
同三十四年	一	一・八			一
同三十五年	一	一・八			一
同三十六年	一	一・八			一
同三十七年	一	一・八			一
同三十八年	一	一・八			一
同三十九年	一	一・八			一
同四十年	一	一・八			一
同四十二年	一	一・八			一
同四十四年	一	一・八			一
大正元年	一	一・八			一
同二年	一	一・八			一
同三年	一	一・八			一
同四年	一	一・八			一
同五年	一	一・八			一
同六年	一	一・八			一
同七年	一	一・八			

年次	大正十一年	同十年	同九年	昭和元年	同四年	同三年	同二年	同一年	同五年(四月末迄)	平均
田	一三	一五	一七	九	六	五	一	九	一〇五	一〇七二・一
畑	八五・五	五三・六	一九八・〇	九八・五	六四・一	四二・七	一五・二	五三・〇	一〇七二・一	三三三・五
計	一五七	一五七	一五七	九	六	五	一	九	一〇五	一〇七二・一
田	一五・五	二・〇	一五・〇	八・二	八・四	一・四	六	七九・二	九・七	三三三・五
畑	二二七・〇	五五・六	二一三・〇	一〇六・七	七二・五	四四・一	一五・八	一三二・二	九・七	一、四一五・六
計	二四二・五	五七・六	二二八・〇	一一四・九	七二・九	四五・五	二一・四	一四一・四	一〇五	一、四一五・六

三、縣管排水幹線改良事業一覽

名稱	目的	事業	受益面積	事業費	一町步當	增收見込高	事業期間
大谷池支配地域	用水補給	溜池改築及新設	一〇三町	五六八、〇〇〇円	五五〇、〇〇〇円	二、五三石	自大正十五年 至昭和五年

四、耕地擴張及潰廢面積比較表(每年自一月三十一日事實)

年次	耕地擴張面積			耕地潰廢面積			差引増減(△印ハ減)		
	田	畑	計	田	畑	計	田	畑	計
大正七年	一六、四〇	一三三、八〇	一五〇、二〇	九三、〇〇	八四、四〇	一七七、七〇	三三、一〇	四九、四〇	七二、五〇
同八年	九〇、〇〇	七四、四〇	一六四、六三	二九、八四	一三三、七〇	四三、三三	二九、三三	四八、三三	三三、〇〇
同九年	二二、七六	一一、二六	三三、〇二	三三、三三	五四、八三	一六、九五	九、六三	五六、五二	六、一六
同十年	二六、六二	一〇三、〇〇	一二九、六二	三六、六〇	七三、〇四	一一〇、六四	一五、一六	三〇、四二	一五、九六
同十一年	一七、七九	一一六、三三	一三四、一二	八四、〇三	七三、〇四	一五七、〇七	八八、七七	一七、〇〇	一〇五、七七
同十二年	一四、〇〇	一一三、二五	一二七、二五	六三、六三	一七、二〇	八〇、八三	四九、六三	一六、二〇	六三、六三
同十三年	一三、〇〇	一一三、〇一	一二六、〇一	一五、九〇	一四、一〇	三〇、〇〇	一六、一〇	一六、一〇	一三、〇〇
同十四年	二五、四九	一一三、七四	一三九、二三	二八、四八	九三、六七	一二一、一五	一七、〇二	一五、八〇	三二、八二
昭和元年	二四、〇〇	一〇九、三〇	一三三、三〇	四三、三〇	三三、六〇	七六、九〇	一五、八〇	三三、三〇	四三、六〇
同二年	三三、六〇	一一八、九〇	一五二、五〇	一七、七〇	一一〇、六〇	一二八、三〇	一五、〇〇	八、三〇	一三六、三〇
同三年	一七、六〇	一一五、〇〇	一三二、六〇	四三、〇〇	一〇九、九〇	一五二、九〇	二六、〇〇	八、九〇	一四四、〇〇
同四年	二六、二五	一一三、八〇	一四〇、〇五	二六、六五	一〇七、七〇	一三四、三五	三六、五〇	九、〇七	一三〇、二八
平均	二〇、一〇	一一三、〇〇	一三三、一〇	二六、八八	一〇七、七〇	一三四、五八	三〇、六六	九、〇七	一二五、五一

五、耕地擴張改良見込地(本調査ハ大正六年施行セル生産調査ノ結果ヲ基準トシ以降ニ於ケル擴張改良實施濟ノモリ及調査漏ノモリヲ相當加除ス)

(一) 耕地ノ現在及擴張改良見込面積

縣内土地 面積 八〇、一五〇町	現耕地 面積 二一、三三九町	耕地面積 全國ノ順位 三	耕地擴張 見込面積 三、三六五町	現耕地改良 面積 一九、七六六町
	對土地總面積ニ 對スル割合 一割三分三厘		將來耕地 面積 一、三六四町	耕地整理 面積 見込面積 三、〇〇八町
			同上總面積ニ 對スル割合 一割六分一厘	

(一) 現地目別耕地擴張見込面積

開墾及開拓(山林原野、池沼其ノ他)	地目變換(開田)	新開(海面、湖海、宮有水面)	合
田 二、六五五町	田 三、三一九町	田 四、三三三町	田 一〇、三九七町
畑 一〇、一五五町	畑 二、六三三町	畑 四、三三三町	畑 一〇、一五五町
計 二、六五五町	計 三、三一九町	計 四、三三三町	計 一〇、三九七町

(二) 目的別耕地改良見込面積

現耕地改良見込 面積 三、〇〇六町	主トシテ排水改良 面積 三〇、八五五町	主トシテ用水改良 面積 五、四三三町	主トシテ區劃整理 面積 二、七三三町
對現耕地ニ 對スル割合 三割三分六厘	對現耕地ニ 對スル割合 一割八分四厘	對現耕地ニ 對スル割合 四分八厘	對現耕地ニ 對スル割合 一割四厘

(四) 農業水利改良ヲ要スル二百町歩以上ノ集團地ノ用排水不良狀況

種別	用水不良ノモノ		排水不良ノモノ		用排水不良ノモノ		計
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	
二百町歩以上集團地	二	四九〇町	三	七二〇町	七	一一、五七〇町	二、七八〇町
三百町歩以上集團地	三	一、一九〇町	三	一、〇三七町	一	一、五七〇町	二、二二七町
三百町歩以上集團地	二	一、六二一町	三	二、一三七町	二	一、一四〇町	四、八九八町
五百町歩以上集團地	七	三、三〇一町	九	三、八九四町	九	二、七一〇町	九、九〇五町
計							

趨勢 本縣ノ耕地整理ハ其ノ當初濕田約二萬町歩ヲ乾田ト爲スノ目的ヲ以テ獎勵ニ努メタル結果暗渠排水ヲ主要工事トスルモノ多數ナリシカ其ノ後區劃ノ整理、農業水利ノ改善、農道ノ改修、地目變換、開墾及湖海ノ埋立、干拓等ヲ主目的トスルモノ漸次増加シ殊ニ大正十三年及昭和四年ニ於テ稀有ノ旱魃ニ遭遇シ被害激甚ヲ極メ其ノ地域廣汎ニ亘リタル爲是等旱害耕地ノ補水ヲ主目的トシテ事業ヲ計畫スルモノ續出ノ状態ナレトモ區劃整理ヲ主目的トスル事業ハ不振ノ狀態ナリ又大正八年、十二年、十四年、十五年及昭和二年三年ト比年相踵ク洪水ニ因リ耕地ノ荒廢シタルモノ尠カラズ之等ニ對シテハ急速ニ復舊事業ノ促進ヲ圖リ且計畫ノ完壁ヲ期シ事業復舊ノ效果ヲ永遠ニ收ムルノ趣旨ニ依リ復舊事業ハ總テ耕地整理法ニ依リ之ヲ施行シ其ノ大部分ハ開墾助成法ノ適用ヲ受ケシメ大正十五年ニ於ケル安藝、佐伯、安佐三郡ニ亘ル水害ト昭和三年ニ於ケル安佐、佐伯、安藝、高田、双三、比婆、山縣ノ各郡ニ亘ル水害ハ其ノ被害ノ程度深刻ナリシヲ以テ特別ノ施設ニ依リ補助計畫ヲ樹立シ前者ハ昭和

二年度ヨリ二箇年繼續事業トシテ已ニ復舊事業ヲ完成シ後者ハ昭和三年度ヨリ三箇年繼續事業トシテ着々進行中ナリ

尙目下内務省ノ實施中ニ係ル青田川改修ト相俟ツテ其ノ沿岸ノ用排水不良耕地ニ對スル改良計畫ヲ樹立シ治水上萬全ノ效果ヲ期スルハ地方産業ノ振興ニ必要ナル緊切ノ事業ト認メ主務省施行ノ農業水利調査ヲ申請シ既ニ福山市外二箇村(瀬戸池關係)ノ用水改良並深安郡中原村ヲ中心トスル排水改良ノ二箇所ハ計畫書ノ交付ヲ受ケ之カ實施ニ關シ地元關係市町村ト折衝中ニ屬シ其ノ他ノ地域ハ引續キ急速調査稟請中ナリ

世羅郡神田村外四箇町村及比婆郡本庄村外四箇町村ニ亘ル用排水改良事業ハ地元ノ要望切ナルモノアリ縣營トナス豫定ヲ以テ目下測量調査中ナリ

耕地ノ擴張事業ニ關シテハ開墾助成法施行以來一時著シク斯業ノ進展ヲ促シタルモ施行地ノ多クハ備後北部ノ山岳重疊セル谿間ニ介在スルヲ以テ地勢上廣大ノ地域ニ亘リテ施行スルコト能ハス從ツテ其ノ施行面積ニ著シキ増加ヲ見ルコト能ハサルノミナラス事業ハ概ネ用水源トシテ溜池工事ヲ伴フヲ以テ自ラ工費ノ増嵩ヲ來シ偶々經濟界ノ變動ニ遭遇シ或ハ工事ノ成績不良等ノ事情ニ因リ經營困難ニ陥レルモノト認メラル、モノアリ一般ニ開墾事業ハ不振ノ情勢ナリシカ昭和四年三月開墾助成法ノ改正ニ因リ著シク事業ヲ促進シ出願増加ノ狀況ナリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

一、本縣ニ於ケル耕地ノ實狀ハ農業水利ノ不良ナルモノ相當廣汎ニ亘リ比年水旱ノ被害甚大ニシテ直

接農作物ノ損失夥シキハ勿論其ノ復舊改良ニ莫大ノ費用ヲ要シ農家經濟ヲ極度ニ疲弊セシムルノ狀況ニ在ルヲ以テ農業水利ノ改善ハ最緊要ノ事ニ屬シ耕地整理等ノ勵行ニ依リ漸次其ノ實ヲ舉ケツ、アリト雖關係地域稍々大ナルモノニ在リテハ其ノ實行容易ナラス仍テ縣下ニ於ケル農業水利狀態ヲ調査シ事業ノ方法計畫ノ綱要ヲ立案シ以テ關係當業者ノ指針トナシ進テ事業實施ノ獎勵ニ關スル施設ヲ爲スヘク考慮中ナリ

二、現在施行シツ、アル實地踏査、設計調査、工事監督、事務指導及確定測量等ノ施設ニ付能率ヲ増進シ徹底ヲ期スルハ勿論特ニ財政並經營上ニ付周到ナル指導監督ヲ爲シ一層事業ノ堅實ナル進展充實ヲ圖ルヘク職員ノ分擔ヲ定メテ之ヲ勵行ス

三、工事費補助、災害耕地復舊費補助、開墾地移住獎勵金ヲ交付シ企業者ノ負擔ヲ輕減セシム

四、開墾及耕地整理工事ノ能率ヲ増進セシムル爲拔根機土締機ヲ備付ケ無償貸付ス

五、地域廣汎ニ亘ル規模大ナル農業水利改良事業ハ地元ト協力シ縣營ニ依リ之ヲ施行スル方針ナリ

六、工事完了後ノ事務ノ進捗ヲ圖ル爲昭和三年度ヨリ該事務ニ關スル設備ヲ増置シ一切ノ書類ハ縣ニ於テ之ヲ作成シ整理施行者ニ交付ス

七、耕地整理施行手續不案内ノ爲事務滯滞セル整理施行者ニ對シテハ手續書式ヲ印刷シテ配賦シ又ハ施行者ノ研究會ヲ開キ或ハ實地指導ヲ爲シ事務ノ刷新整理ヲ期ス

八、地價配賦及登記事務ノ圓滑ナル進捗ヲ圖ル爲隨時當該係官トノ協議會ヲ催ス

九、各種會合ノ機會ヲ利用シテ耕地整理及開墾事業施行ニ關スル智識ノ普及ニ努ム

山口縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ年ヲ逐フテ發達シ本年四月末現在耕地整理地區數七百九十一箇所面積二萬四千三百三十三町步ニシテ事業進捗ノ狀況左ノ如シ

種別	地區數	面積
工事着手準備中ノモノ	二九	九五〇町
工事中ノモノ	一五九	一〇、二一七
工事完了セルモノ	六〇三	一二、九六六
換地處分ヲ終了セルモノ	五三六	一一、〇三三
組合解散又ハ事務終了セルモノ	三九〇	六、一六四

工事ノ種類ハ開墾、地目變換、干拓、溜池、道路水路ノ變更廢置、田區整理、暗渠排水等各般ニ亘レルモ最近ニ於テハ昨年ノ旱魃ニ鑑ミ干害防止ヲ目的トセル溜池、揚水機、井堰並用水路ノ新設改修事業續出シ之カ指導監督ニ全部應スルコト能ハサルノ狀況ナリ
埋立干拓、開墾並地目變換等耕地擴張事業ハ開墾助成法施行以來事業勃興シ本年四月末日現在地區數七十二其ノ面積四千二百八十町步ニ達セルモ近時米價下落シ農村疲弊ノ關係上本事業ニ對スル企業不振ノ現狀ニシテ目下工事中ノモノハ二十六箇所其ノ面積一千九十町步トス

尙縣營事業トシテ經營中ノモノニ小郡灣干拓事業並吉敷郡井關村用水幹線工事アリテ前者ハ總面積百七十町步事業費六十一萬六千五百圓ニシテ既ニ豫定ノ工事ヲ完成シ五十戸ノ農家ヲ移住セシメ一戸當平均二町五反步ノ耕地ヲ配當シ内一町步ニ對シテハ自作農創設資金ヲ融通シ土地ヲ購入セシメ殘一町五反步ニ對シテハ一反步平均四百圓ヲ三十箇年賦ニテ貸付ケ移住後五年目ヨリ償還セシムル計畫ナリ又共同作業場電動農具簡易水道等設備シテ共同ノ土地ヲ利用セシメ其ノ成績良好ニシテ昨年ノ如キハ縣下一般ニ旱害ヲ蒙リシニ拘ラス何等ノ被害ヲ受ケス米收反當平均二石ヲ得タリ又吉敷郡井關村用水幹線工事ハ事業費十一萬一千八百圓ヲ投シ水面十町貯水量七萬三千餘立坪高五十五尺ノ石造堰堤ヲ築造スル計畫ニシテ昭和三年九月一日工事ニ着手以來順調ニ進行シ既ニ約八割ヲ終了セリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル將來開墾、地目變換、埋立干拓等耕地ノ擴張ヲ要スヘキ見込地四萬四千餘町步既耕地ノ用水補給又ハ排水不良ノモノ二萬二千餘町步道路及水路ノ改修田區ノ整理ヲ要スルモノ一萬四千餘町ニ達スル狀況ナルヲ以テ縣ニ於テハ最モ有利確實ナルモノヨリ順次獎勵シ其ノ規模大ナル用排水幹線工事ニアリテハ縣營トシ其ノ他ハ組合又ハ地區ヲシテ施行セシメ調査設計工事監督事務指導ヲ爲スト共ニ工事費ニ對スル補助事業資金ノ斡旋既耕地ノ利用増進ヲ圖ルト經營困難ナル組合ノ救済及設備ノ改善ニ一段ノ督勵ヲ爲サムトス

德島縣

現況 (昭和五年四月末現在調)

- 一、耕地整理設立施行認可地區數 一五四
- 二、同上 面積 四、九三二町
- 三、同上ノ内事業終了地區數 一四
- 四、同上 面積 七二三町

趨勢 近時勞力ノ騰貴並小作爭議防止策トシテ勞力節約ノ目的ヲ以テ耕地整理事業頗ル盛ニナリ勞力節約ノ主ナルモノハ從來ノ人工灌溉ヲ自然灌溉トスル設備ニシテ之ニ伴フ工事ハ機械揚水、溜池新設改造等ニ依ル事業著シク増加シ耕地擴張事業ハ地目變換開墾等増加ノ趨勢ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

調査設計豫定（五百町歩以上ノモノ）

地區名	面積	調査設計豫定（五百町歩以上ノモノ）
吉野川北岸地區	五、〇〇〇町歩	調査設計終了但事業終了ニ至ラズ（用水改良）
那賀川南岸地區	一、五〇〇町歩	未調査（排水改良）
飯尾川地區	六〇〇町歩	目下調査中（同 上）
立江坂野地區	五五〇町歩	一部調査終了（用排水改良）
那賀川北岸地區	二、五〇〇町歩	

小松島町地區	一、〇〇〇町歩	昭和元年ヨリ調査中（同 上）
板野郡川内村地區	五〇〇町歩	目下調査中（同 上）
江川廢川敷地區	五〇〇町歩	同 上（同 上）
吉野川南岸地區	一、二〇〇町歩	調査大部分終了（同 上）
計	一三、三五〇町歩	

- 一、耕地擴張見込
七千百十六町歩ニシテ開墾埋立干拓ニ依リ内田トナルモノ五千八百五町歩畑トナルモノ一千三百十一町歩
- 二、耕地改良見込
二萬二千三百五十町歩ニシテ灌溉水不足排水不足ニ依ルモノ（一時的洪水被害ヲモ含ム）

香川縣

現況並趨勢 本縣耕地ハ昨年ノ農業調査ニヨレハ總面積五萬八百餘町歩之ヲ農家戸數ニ割當ツルトキハ一戸當田五反二畝歩ニ過キヌ加之爾來年々人口増加ノ爲農村經濟ハ益々疲弊シツ、アリ一面近時交通發達、都市ノ膨脹等ニ依リ耕地ノ潰廢相當多ク之カ對策トシテ縣當局ニ於テモ常ニ耕地擴張獎勵ニ意ヲ用ヒ漸クニシテ之カ面積ハ稍増加ノ狀況ニアリテ今後益々耕地擴張改良ヲ必要トスル趨勢ニ

アリ

一、耕地擴張事項

本縣ニ於ケル耕地擴張事業ハ主トシテ耕地整理法ニ基キ工事ヲ施行スルモノ多ク將來開墾セムトスル面積約二千町歩ヲ有スルモ之等地區ハ比較的傾斜地ニシテ小規模ナルニ工事費ハ之ニ反シ相當多額ヲ要スル關係上開田ヲナスモノ少ク開田トシテ工事ヲ施行スルモノ多ク一面本縣既墾地ノ多クハ畑地ニシテ之等土地ニ對シテハ果樹除虫菊ノ栽培ヲ行ヒ之等生産物ハ阪神地方ト盛ニ取引セラレツ、アリ其ノ販路ハ益々開拓セラレ、ノ現況ニ付其ノ有利ナルヲ地方民ノ認ムル處トナリ開畑事業ハ頓ニ其數ヲ加ヘツ、アリ之ニ鑑ミ縣ニ於テモ設計計畫、工事施行ニ付テハ相當注意シ指導監督ヲナシツ、アリ

二、耕地改良事業

本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ大正十三年ノ旱魃以來耕地整理事業トシテ貯水池ノ新設、擴張等ヲナシ來リシモ近ク竣工セル縣管田野々池地域ノ配水狀況ノ遺憾ナキヲ期シタル實績ニ徴シ今後ノ改良計畫ハ大規模ノ改良事業ノ實施ト相俟ツテ耕地ノ改良ヲ計ラサルニ於テハ根本的ニ改良ヲナシ能ハサルモノトシ其ノ計畫ヲ樹立シ以テ事業實施ニ注意ヲ拂ヒツ、アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本件ニ關シテハ相當考慮スル處アルモ勉メテ調査設計、工事監督、事務

指導ニ當リ萬遺憾ナキヲ期シ極力施行者ノ注意ト努力ヲ喚起セシムルト同時ニ整理後ノ土地ノ利用等ニ付テモ極力指導獎勵シ一層事業ノ企畫ヲ促シ事業經營ヲ容易ナラシメ將來益々盛ナラシムル様努ムルノ方針ナリ

今耕地整理法實施以來施行認可ヲ與ヘタル地區數面積ハ及將來開墾セムトスル豫定面積並用排水ノ改良ヲ必要トスル面積ヲ示セハ左ノ如シ

一、施行認可ヲ與ヘタルモノ

地區數	施行面積	事業總額
二四六	六、五八五町	四、一〇六、九八八圓

二、將來耕地擴張改良セムトスル豫定面積

種別	面積	積
將來開墾セムトスルモノ		二、〇〇〇町
將來地目變換セムトスルモノ		一、四〇〇町
將來用排水改良ヲ要スルモノ		六、六〇〇町

三、用排水幹線改良事業

面積	五〇〇町以上 三〇〇町以上	積	六箇所 五箇所	地區數	一箇所 三箇所 目下勸誘中	備考
----	------------------	---	------------	-----	---------------------	----

愛媛縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ耕地整理法並開墾助成法實施以來諸般ノ獎勵施設ヲ行ヒ專ラ指導獎勵ニ努メ或ハ用排水改良事業トシテ縣營ヲ以テ直接實施ヲナス等銳意事業ノ促進ヲ圖リタル結果極メテ順調ナル發展ヲナシツ、アリ現在ニ於ケル事業成績別表ニ示スカ如シ

一、耕地整理現況

昭和五年五月一日現在

發起設立施行認可	工事完了	換地處分	事業終了
地區數	地區數	地區數	地區數
面積	面積	面積	面積
整理費	積	積	積
三一 一六、六二七町	一六〇	一三〇	九三
七一、一九九、五八五町	六、八七二町	五、四七六町	三、六八三町

二、開墾助成現況

昭和五年五月一日現在

助成認可	地區數	開田	開畑	計	地區數	面積
地區數	三六	六五四町	八三町	七三七町	三一	六五〇町

三、縣營用排水改良事業現況

事業地區名	事業費豫算	受益面積	事業進捗程度
室川渦井川排水改良地區	三八六、九九八円	六三五町	大正十五年十一月工事着手 昭和四年三月工事完了
新谷大洲用排水改良地區	四五一、〇〇〇	六四四	事業中

本縣現在耕地面積ハ九萬二十三町歩ヲ算シ耕地擴張面積ハ年ニ依リ消長アリト雖最近一箇年平均三百八十町歩ニ達ス然レ共一面ニ於テ地方開發ニ伴ヒ道路、軌道用地建物敷地等トシテ年々耕地ノ潰廢ニ歸スルモノ尠カラス差引耕地面積ハ漸次減少ノ傾向ニアリ而モ現在ニ於ケル縣内産米ハ自給ニ不足ヲ告ケ年々平均五萬石内外ノ移入超過ヲナシツ、アリ斯ノ如キ情勢ニ在ルヲ以テ耕地擴張事業ハ本縣ニ於テ極メテ緊要ノ事項ナリトス近時農村經濟不況ノ影響ヲ受ケ開墾事業不振ノ狀況ナルモ將來耕地擴張見込地一萬三千五百町歩ニ達スルヲ以テ之カ助成ニ努ムルニ於テハ今後事業ノ勃興ヲ見ルニ至ルモノト思惟セラル耕地改良事業ニ在リテハ用水不足地並排水不良地尠カラスシテ農業水利ノ改良ヲ要スルモノ八千八百町歩ニ達シ軌近連年ノ旱魃被害ノ爲農道ノ改良ト併セテ用水補給ノ事業ヲ企畫スルモ

ノ激増シ此ノ種ノ事業益々發展ノ趨勢ニ在リ
 將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル耕地ハ農業水利状態不良ニシテ之カ改良ヲ要スルモノ腐汎
 ニ亘ルヲ以テ汎ク縣内ニ於ケル農業水利調査ヲ施行シ農業水利改良ノ根本方策ヲ確立シ以テ事業ノ促
 進ヲ圖リ耕地擴張事業ニ對シテハ事業ノ成功確實ナルモノニ對シテハ努メテ其ノ實行ヲ促シ難工事又
 ハ多額ノ經費ヲ要スル等實施容易ナラサルモノニ對シテハ特ニ周密ナル調査ヲナシ事業計畫上遺漏ナ
 キヲ期シ尙縣經濟ノ許ス限リ從來ノ指導獎勵施設ノ徹底ヲ圖リ斯業ノ堅實ナル發達ヲ期セムトス

高知縣

現況並趨勢 昭和四年九月一日現在ニ於ケル農業調査ノ結果ニ依レハ本縣耕地面積六萬七千九十九町
 步餘ニシテ内田面積三萬三千九百七十町步餘畑面積三萬三千二百二十九町步餘ニシテ農家戸數一戸當田
 四反二畝步餘畑四反一畝步之ヲ土地臺帳面積ニ比較スレハ田ニ於テ二千六百五十二町步畑ニアリテハ
 實ニ五萬三千八百二十八町步ノ減少ヲ示セリ蓋シ此減少ノ綜合的主因トシテハ田ニアリテハ各種產業
 ノ關係等ヨリ耕地カ宅地工場建物敷地ニ畑ニアリテハ主トシテ山間地方ニ於テ燒畑、切替畑ノ形式ニ
 依リ土地臺帳面ニ畑トシテ存在セルモノカ實狀ハ其ノ過半已ニ林野ト化シタルモノヲ其ノ儘臺帳上ニ
 地目變換ノ手續ヲ爲ササルモノト認メラルモ耕地ノ擴張改良ノ餘地寔ニ多大ナルモノアリ而シテ耕地
 ノ擴張改良ニ關シテハ明治三十九年諸種ノ規程ヲ設ケ爾來政府ノ獎勵ト相俟テ改善ニ努メ開墾、地目
 變換並耕地ノ改良ニ縣費補助ヲ支出シ且耕地整理法及開墾助成法ニ依リ調査設計、工事監督事務指導

ヲナシ獎勵ニ努メタル結果昭和四年末ニ於テ耕地整理組合地區數五百三十九施行面積一萬三千八百八
 十四町步ヲ算スルニ至レリ然ルニ本縣産米ハ年十萬石乃至十五萬石ノ不足ヲ生スルニヨリ農村振興上
 耕地ノ擴張改良ハ喫緊ノ事業タルヲ認メラルルニ至リ農村經濟ノ不況ナルニ不拘漸次事業發展ノ趨勢
 ニアリ。而シテ用排水幹線改良事業トシテ曩ニ安藝郡枋ノ木堰ノ改修ヲ行ヒ六百餘町步ノ耕耘ヲ利シ
 昭和三年度ヨリ吾川郡八田堰（關係面積八百六十町步）及高岡郡日下加茂（關係面積五百六十町步）ノ
 兩事業ノ計畫ヲ遂ケ八田堰ハ本年度ニ於テ日下加茂ハ昭和六年度ニ於テ完了ノ計畫ニシテ事業完成ノ
 後享クル利益多大ナルヲ信シテ疑ハス又高岡郡鎌田堰（關係面積六百八十町步）ノ改修計畫ノ企畫中
 ニシテ此種ノ事業益々發展ノ趨勢ニアリ

福岡縣

將來ニ對スル指導獎勵方針 耕地整理施行見込地ハ田畑、山林、原野等二萬餘町步ヲ有スルニヨリ既
 定計畫ニ基キ基本調査、設計調査ノ完備ヲ期シ耕地ノ擴張改良事業ノ進展ニ努メ就中本縣ノ用排水幹
 線改良事業豫定地ハ水利關係極メテ不良ニシテ不毛ノ地ニ近ク之カ改善ノ曉ハ産米增收品質ノ向上ニ
 多大ノ効果アルヲ以テ先ツ幹線改良事業ノ促進ニ努メ併セテ普通耕地整理事業ノ遂行ニ努力セントス

一、福岡縣ニ於ケル耕地ノ改良及擴張事業ハ年ト共ニ進展シツツアリ最近ノ狀勢ハ企業地區數千五十
 八其ノ面積三萬八千四百餘町步ニ達シ内工事ノ完了シタルモノ地區數九百二十二其ノ面積二萬五千
 四百餘町步ニシテ事業ヲ完了シ又ハ組合ヲ解散シタルモノ地區數三百九十四面積七千七百四十餘町

歩ナリ是等ノ企業ハ大體ニ於テ秩序的進捗ヲ爲シツツアリ而シテ工事ノ完了シタルモノニ比シ事業ヲ完了解散シタルモノ比較的尠キハ債務ノ償還未済ナルモノ多キニ依ル

近年電氣ヲ動力トスル灌漑事業及筑後川改修工事ニ伴ヒ沿岸耕地内ニ介在スル堀ヲ埋立ツル事業ノ企畫セラルルモノアリ又最近地下水ヲ利用シテ開田又ハ用水補給ヲ行フ事業頻リニ企圖セラレツツアリシカ偶々客年稀有ノ旱魃ニ遭遇シ一層灌漑水補給ノ爲地下水ヲ利用スル企圖起リ宗像郡勝浦村外二箇町村内百五十町歩其ノ他京都、企救各郡ニ亘リ企圖セラルルモノ續出シ成績良好ナリ

二、大正八年開墾助成法施行セラレテ以來本縣ニ於ケル助成事業ハ逐年増加シ現在企業數百六十四助成承認面積三千四百餘町歩ニ達シ内工事竣工シタルモノ面積二千二百餘町歩交付セラレタル助成金額百七十萬餘圓ニ上リ事業ノ成績概シテ良好ナリ而シテ此種開墾助成事業ハ郷土ノ農業勢力ノ餘力ヲ以テ經營セムトスルモノ大部分ニシテ從テ其ノ規模ハ比較的小ナルモノナリ

本縣ノ如ク開拓普ク行ハレタル地方ニアリテハ斯ノ如ク開墾ノ規模ノ漸次狹小トナルハ趨勢トシテ已ヲ得サル所ナルヘシ而シテ開墾助成法ノ適用サルル面積ノ制限ヲ緩ムルヲ得ハ更ニ企業進展シ其ノ實績ヲ大ナラシムルモノアルハ逆睹スルニ難カラス

三、本縣耕地ノ擴張見込地ヲ見ルニ地目變換又ハ開墾ニ適スルモノ二萬千六百餘町歩新開地八千三百餘町歩計三萬町歩又既耕地ノ改良ヲ要スルモノ二萬二千四百餘町歩其ノ他「鑛業被害ノ耕地約六千町歩ニ及ヒ之カ復舊利用ヲ全フスルノ要アルモノ約四千町歩ニ及ヘリ此ノ被害地對策ハ別ニ案ヲ具シテ國庫ノ助成ヲ申請シタリ」本縣ノ農耕地ハ總面積約十六萬餘町歩農家戸數約十五萬ニシテ一戸

當平均耕作地田畑計約一町歩餘ニ過キヌ又近年耕地ノ擴張ハ潰廢ヲ補フニ足ラス過去十二箇年ノ平均ハ年々約四百七十餘町歩ノ減少ヲ見更ニ人口ト食糧トノ關係ニツキ考察スルニ本縣ニ於ケル現在人口二百四十四萬二千五百四十四人米ノ生産高二百二十八萬石ナリ之ヲ現況ニ照スニ米穀ハ年々多少ノ輸出ヲ見ツツアリト雖モ最近一箇年ノ人口増加約三萬千餘人ナル大勢ニ鑑ミルトキハ將來主要食糧ノ消費ハ遙ニ生産ヲ凌駕スルモノアルヘシ斯ノ如ク彼此考察スルトキハ食糧増殖ヲ計ルコトノ要愈々急ニシテ從テ耕地ノ改良擴張ヲ策スルハ益々喫緊ナリトセラルヘカラス、折柄小作爭議經濟界不振等ノ影響ニ依リ企業豫期ニ反スルモノアリト雖近時農村合理化運動失業救濟策等ノ畫策セララルアリテ以テ是等社會運動ノ衝動ト相俟テ世況轉換ノ機ニ至ツテハ更ニ企業進展ヲ見ルニ至ルヘキハ逆睹スルニ難カラス故ニ本縣ニ於ケル斯業ノ前途ハ將來ニ於テ更ニ發展スヘキ趨勢ニアルモノト見ルヲ得ヘシ

四、本縣ニ於ケル開墾事業中ニハ移住者ノ招致ヲ要スルモノアリ依テ開墾地移住ヲ獎勵スル一端トシテ移住家屋ノ建築ヲ獎勵シ獎勵金ヲ交付シツツアリ大正十四年以來獎勵金ヲ交付シタルモノ六十戸ニシテ毎年平均十戸ノ移住家屋ノ建設ヲ見ツツアリ

五、本年度ニ於テハ農業水利ノ改善ヲ行ヒ以テ土地農業上ノ利用増進ヲ計ルヘキ箇所尠カラス本年度ニ於テハ三井郡北野町外五箇村九百町歩ノ排水幹線タル陣屋川ノ水利改良事業ノ實施ヲ見ムトス其ノ他筑後川筋ニ於テハ其ノ改修工事ノ進捗ニ伴ヒ農業水利ノ變更ヲ要スルモノ尠カラス當面是等水利上ノ措置ヲ要スルモノニ付之ヲ善處スル爲昭和二年度ヨリ調査ヲ行ヒツツアリ又前年調査開始

シタル鞍手、遠賀二郡ニ跨ル西川ノ流域西川村外六箇町村ニ亘ル廣袤七千餘町歩ノ排水不良並礦毒水被害地及三潞郡城島町外八箇町ニ亘ル山ノ井川沿岸耕地八千町歩ノ排水不良及新ニ鞍手郡木屋瀬町外二箇町村ニ亘ル笹尾川沿岸七百五十町歩ノ浸水被害地ニ對シ其ノ水利改良及被害除却ノ目的ヲ以テ本年度ニ調査ヲ行ハムトス

- 六、以上ノ實況ニ對シ縣ハ昭和五年度ニ於テ縣費二十二萬三千餘圓ニ企業者ノ寄附金九千五百餘圓ヲ加ヘ以テ調査並指導監督ニ從事スル職員ヲ設置シ或ハ工事費補助及獎勵金交付等ヲ行ヒツツアリ
- 七、而シテ將來ニ於テモ是等ノ督勵指導助成ヲ行フハ勿論特ニ農業水利調査並礦業被害耕地調査ニ關シテハ專任職員ノ施設ヲ爲シ以テ事業ノ進展ヲ促スノ外企業ノ趨勢ニ伴ヒ機宜ノ施設ヲ爲サムトス

佐賀縣

現況 由來本縣ハ農業本位ノ縣ニシテ平坦砥ノ如キ所謂佐賀平野ハ一望無涯ノ沃野ニシテ稻田種々遠ク拓ケ山間地ト雖モ到ル所田畑ノ存在セサルナク其ノ面積田五萬四千八百五十三町九反步畑一萬六千二百七十町步合計七萬一千二百三十三町九反步ニ及ヒ土地總面積ノ三割七分八厘ニ當リ農家一戸當リ耕地面積一町六畝ニ當レトモ尙仔細ニ調査スルトキハ田區不正ニシテ高低アリ道水路迂回曲折シテ農耕上ニ不便ナルノミナラス灌溉用水不足シ或ハ却テ排水ノ便ナク濕田地介在スルアリテ將來改良ノ必要アル見込面積一萬三千餘町歩ヲ算シ又山間地方ニ於テハ未利用ノ原野若クハ比較的收益尠ナキ林野等ニシテ開墾可能見込面積一萬五千餘町歩ニ達ス轉シテ有明海ヲ見レハ干潟遠ク連ナリ地質肥沃海波

靜ニシテ干拓可能見込面積一萬四千餘町歩ヲ算ス

縣ハ從來耕地ノ擴張改良ニ意ヲ注キ專ラ之カ指導獎勵ニ努力ノ結果明治三十二年耕地整理法實施以來既ニ事業施行ノ認可ヲナシタルモノ四百二十六地區此ノ面積一萬四千六百二十九町步ニ達ス又大正八年開墾助成法實施以來之カ適用ヲ受ケタル地區百三地區此ノ面積三千一百一町步ニ及ヒ其ノ成績見ルキモノアリ尙惡水被害地帯ニシテ耕地五百町步以上ヲ支配スル地域ニシテハ用排水幹線改良事業補助要項ニ基キ用排水幹線改良事業ヲ施行シ又縣下ヲ通シ溜池ノ新築ニ依ル開田並用水補給ヲ爲サムトスルノ事業ノ多キニ鑑ミ昭和四年度ヨリ繼續溜池集水歩合調査ヲ爲シテ溜池集水率ノ正確ヲ期シ以テ溜池計畫上ニ過誤ナカラシメントス尙耕地ノ擴張改良計畫ノ基礎トナルヘキ農業水利調査ヲ實施スル等銳意斯業ノ發達ニ努メツツアリ

工事完了後ノ事務ハ頗ル繁雜ナルヲ以テ事業者ノ多クハ之カ進捗ニ逡巡躊躇スルノ傾向アルヲ以テ縣ハ不斷之カ指導ニ努メ其ノ促進ヲ計ルト共ニ縣耕地協會ニ對シ相當補助金ヲ交付シテ指導ノ補助ヲ爲サシメツツアル結果目下工事完了地區數二百七地區此ノ面積四千五百五十九町餘歩ノ中換地處分濟ノモノ百九十八地區此ノ面積三千八百五十七町步餘ニ達セリ

趨勢 耕地整理事業タルヤ多額ノ費用ヲ要スルカ故ニ的確ナル財務計畫ノ下ニ事業ノ遂行ヲ期スヘキハ論ヲ俟タス從テ金融界ノ盛衰ニ依リ事業ノ消長ヲ來スヲ免レト雖縣ハ不斷我國人口食糧問題ノ解決ト逐年萎微衰頽シツツアル農村ノ振興ハ斯業ノ發達ニ俟ツコト大ナルヲ力説シ當業者ニ於テモ近時漸ク農業組織經營ノ改善ノ急務ヲ自覺スルニ至リ殊ニ昭和四年開墾助成法改正ノ結果ハ逐次企業勃

興ノ趨勢ニ在リ

將來ニ對スル指導獎勵方針

以上述ヘタル現況及趨勢ヨリ見ルニ本縣ハ適當ナル水源ヲ求メテ開墾、

地目變換並埋立干拓事業ノ獎勵水害ノ防止又ハ旱害除去ノ設備計畫ヲ樹立スルヲ以テ急務トスルカ故

ニ從來ノ獎勵施設タル調査設計、工事ノ指導監督、工事費ノ補助及開墾地移住家屋並共同建造物建築

費ノ補助等既定方針ニ基キ縣財政ノ許ス限リ一層之カ内容ヲ充實スルハ勿論縣下ニ於ケル最近ノ實狀

ニ照シ特ニ左記事項ニ付テハ之カ指導獎勵ノ徹底ヲ期セムトス

一、陸稻栽培ニ適宜給水スルコト及水稻乾田式栽培ヲ獎勵シ用水ノ節約ヲ計リ以テ水稻面積ノ擴張ヲ

期スルコト

二、整理地ノ共同耕作及土地ノ利用經營ニ就キ各關係方面ト連絡ヲ保チ以テ土地利用増進ノ實績ヲ舉

クルコト

三、濕田改良、區畫整理ニ力ヲ盡シ其ノ完成ヲ期スルコト

四、縣耕地協會ノ活動ヲ助成シ殘務整理ノ進捗ヲ計ルコト

五、事業者ノ財務ノ健全ヲ期シ事業ノ圓滑遂行ヲ期スルコト

六、優良組合及事業功勞者ヲ表彰シ以テ當業者ノ發奮努力ヲ促スコト

長崎縣

現況並趨勢 本縣ニ於ケル耕地事事ハ擴張改良共ニ現下經濟事情ノ支配ヲ受ケ前年ニ比シ其ノ増加率

減少セリト雖尙逐年増加ノ趨勢ニアリ本年三月末現在ニ於ケル開墾助成事業地ハ八十八個所其ノ面積
開田九百五十七町餘歩開畑二百十町餘歩合計一千六百六十七町餘歩ナリ本縣ハ地勢上河川ニ惠マレシ從
テ水源施設ハ主トシテ溜池ニ依ルモノ大部分ヲ占メ其ノ事業費又多額ヲ要シ採算上利潤低キカ如キモ
昭和四年九月農業調査ノ結果ニヨル本縣田地ノ總面積ハ三萬四千三百七十七町餘歩ニシテ農家戸數十萬
七千八百六十八戸ニ對比スルニ一戸當平均僅ニ三反一畝歩ニ過キササルノミナラス全面積ノ四割六分餘
ハ排水不良又ハ用水不足ヲ訴フルモノナルカ故ニ縣内産米ハ常ニ需要ヲ充ス能ハス年々二十萬石ノ移
入トナリ又之ヲ人口動態ヨリ觀ルニ年々一萬數千ノ増加ヲ示シ潰廢ニ付テハ最近五箇年ノ平均ニヨレ
ハ擴張ニ比シ減少ヲ示シ何レノ方面ヨリスルモ耕地擴張ノ急務ナラサルナキヲ認メラル殊ニ現下失業
者歸農ノ傾向アルニ於テ喫緊ナリトス次ニ縣下畑ノ總面積ハ五萬三千四百五十八町餘歩一戸當平均四
反九畝歩ニシテ田地ニ比スレハ稍緩和セラレタリト雖之カ利用向上ト共ニ開畑事業増加セリ
次ニ改良事業ニ在リテハ昭和二年九月風水害地區耕地、堤防復舊事業大部分完成ヲ遂ケタリ而シテ昭
和四年九月稀有ノ大旱害アリ本縣耕地事業ノ大半ヲ占ムル北松浦郡ハ之カ被害激甚ニシテ殆ント收穫
皆無タリ之カ復舊改良ヲ要スルモノ實ニ二百餘地區面積千三百餘町歩ナリ尙耕地事業初期ノ企畫ニナ
ルモノニシテ不慮ノ災厄ニ遭ヒ頓挫セルモノ十地區ニ對シテハ政府ノ開墾助成特別取扱ニ順應シ根本
救濟ノ方策ヲ講シ目下其ノ緒ニアリ其ノ他一般事業トシテハ前年ト大差ナシ
今本年三月末現在ニ於ケル耕地事業ノ地區及面積ヲ示セハ次ノ如シ

認	可	工	中	工	完	了
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	面積
三八六	八、三八四、四九〇三	一九八	五、九八二、四三一	一六六	二、一三七、九四〇八	

換	地	處	分	認	可	業	終	了
地區數	面積	面積	面積	地區數	面積	面積	面積	面積
一三八		一、二七六、一〇〇四		七一		七五八、七六〇六		

右表ニ依リ窺ハレルハ發起設立ニ比シ完了事務ノ遅タトシテ進マサルハ漸ク協會ノ設立等ニヨリ陣容整ヒタルモ偶旱害等ニ遭遇シタル一面一般財界不況ハ殊ニ農村ニ深刻ニシテ所期ノ成績ヲ擧ケ得サルハ遺憾ナリトスルモ之カ景況ノ挽回ニ連レ促進セシムルヲ得ルヲ信ス

如上ノ状態ニ在リ各種事業相衝ヲ起リ就中前述旱害復舊、改良事業ハ今年度ヨリ向フ三箇年ノ繼續事業トシテ縣ノ設備ニ於テモ職員ノ増置ヲ爲シタル次第ナリ尙近時果樹園藝、副業ノ發達ニ伴フ畑地開墾事業多キヲ加フルノ趨向ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 本縣ニ於ケル耕地見込面積ハ尙二萬五千三百五十餘町步其ノ中排水整理ヲ要スルモノ九千四百五十餘町步用水補給ヲ要スルモノ六千四百九十餘町地目變換、開墾、水面埋立ニ依ル開田豫定面積六千二百六十餘町開畑豫定三千百三十餘町步ニシテ既往認可面積ノ三割五分ノ多キニ達スルヲ以テ國ノ施設ト相俟テ事業ノ周到ナル調査、設計、監督、補助ノ方途ヲ講セントス

即チ農業水利法ノ制定ニ依リ縣下全般ニ涉リ水利調査ヲ行ヒ停頓セル事業ノ調停實施獎勵ニ努ムルコト

次ニ從來頓挫ヲ來セル地區ニシテ其ノ因ヲ財務計畫ノ不徹底ニ發スルモノアルヲ以テ將來之ニ鑑ミ當初設計ニ當リ年次計畫及財務計畫ノ徹底ヲ期シ事業ノ經營難ニ陥ラシメサル様事務ノ指導監督ノ徹底ヲ期セントス

縣耕地協會ト連絡シ講習、講話會等ヲ開催シ事業ノ獎勵ニ資セントス

續業被害調査ヲ實行シ救濟方策ヲ推立セントス

熊本縣

本縣耕地總面積ハ去ル昭和四年九月一日農業調査ノ結果ニ依レハ田八萬三十一町步畑七萬五千七百四十六町步合計十五萬五千七百七十七町步ニシテ今日迄耕地整理施行個所四百九十九其ノ面積一萬七千四百六十一町步ニ達セリ而シテ縣下ノ耕地ヲ通覽スルニ農業水利ノ系統最モ不完全ニシテ藩制以來殆ント其ノ改良ヲ爲シタルコトナク何レモ用惡兼用ノ水路ニシテ上下流利害全ク相反シ爲ニ同一水利組合内ニ於テモ其ノ配水ニ就キ常ニ紛争ヲ來スノ狀況ナリ故ニ本縣トシテハ先以テ縣下全般ニ亘リ農業水利ノ根本的改良計畫ヲ樹立シ一定ノ方針ノ下ニ耕地整理ヲ施行スルヲ最モ理想的ナリトス而シテ本縣農業水利ノ用水源トシテ主トシテ菊池川、綠川、白川及球磨川ノ四大水系ニ屬シ縣下平坦全般ニ亘リテ殆ント其ノ改良ノ必要ヲ認メサルハナシ故ニ農業水利ノ現狀ヲ調査シ根本的改良計畫ヲ樹立シ以

ラ農業經營ノ基礎タル用悪水路ノ改良ヲ計ルハ縣下耕地ノ現状ヨリ見テ最モ急務ナルハ論ヲ俟タス故ニ縣ハ昭和三年度ヨリ新ニ豫算ヲ計上シ用排水幹線改良工事ノ施行ヲ計畫シ第一着手トシテ坪井川、井芹川ノ改良工事ヲ計畫シ已ニ農林省ノ補助指令ニ接シ事業費百五十五萬圓ヲ計上シ四箇年繼續事業トシテ施行スルコトナレリ其ノ他各地ニ亘リテ計畫ヲ樹立シ年々其ノ施行ニ着手スル豫定ナリ斯テ農業水利ノ改良ト同時ニ耕地整理事業ノ勃興スルハ論ヲ俟タサルナリ

開墾事業ハ開墾助成法發布以來頓ニ事業發展シ施行面積三千六百六十四町歩ニ達セリ而モ本縣下開墾豫定地ハ約三萬町歩有スルカ故ニ事業ノ前途尙洋々タルモノアリ由來本縣海岸ハ其ノ干満ノ差十五六尺ニ及ヒ大面積ノ干潟地ヲ有スルカ故ニ古來干拓事業盛ニ行ハレ縣下海岸平坦部ハ殆ント干拓地トシテ恐ラク他府縣ニ其ノ比ヲ見サルヘシ然レトモ潮受堤防ノ構造甚タ不完全ニシテ去ル昭和二年ノ潮害ニ依リ一時ニ三千町歩ノ耕地ヲ潰廢セシメ五百萬圓ノ事業費ヲ投シテ之カ復舊ヲ完成セシメタリ故ニ當分干拓事業ハ之ヲ計畫スルモノナカルヘク今後ハ主トシテ山林原野ノ開墾又ハ畑地ノ開田事業ヲ計畫スルモノ多キヲ豫想ス

本縣ニ於テ開墾並ニ耕地改良事業ノ主要ナル障害ト目スヘキハ水利關係極メテ複雑ナルニ歸スヘク水利權者ノ多キコト他府縣ニ比類ナキニヨリテ之ヲ見ルモ其ノ一般ヲ察知スヘク水利問題ノ紛争年ト共ニ甚タシク一地區ノ事業ヲ計畫セムトスルヤ四隣雷同何等ノ理由ナクシテ之カ阻止ニ狂奔スル比々皆然リ之本縣ニ於ケル耕地事業ニ關スル最大ノ障害ト見ルヘキナリ之レ其ノ多クハ用悪水利組織ノ不完全ニ歸スヘク之カ改善ハ即チ耕地改良ノ一半ノ目的ヲ達シ更ニ開墾、耕地整理等ノ機運ヲ醸成スル

モノト認ムルカ故ニ縣ハ前記セシカ如ク目下農業水利調査ニ期待スルモノ甚タ多シ

大分縣

現況 本縣耕地面積ハ昭和四年九月ノ農業調査ノ結果ニ依ルニ九萬一千九百五十三町歩内田面積三萬三千四百八十三町歩畑五萬八千四百六十九町五反歩ニシテ農家一戸當リ耕作面積ハ田二反五畝二十六步畑四反五畝歩合計七反一畝一步ニ相當シ全國平均反別ヲ遙ニ降リ何レモ過少經營ニ墮シツツアル狀況ニアルヲ以テ耕地ノ改良擴張ヲ計リ農業經營ノ基礎ヲ確立スルハ本縣各種施設中最モ緊急ノ要務ナリトス

而シテ本縣耕地擴張見込地ハ三萬一千七百六十五町歩普通整理見込地ハ一萬七千四百八十五町歩合計四萬九千二百五十町歩算スルモノナルカ本縣耕地整理開設以來ノ成績ハ

昭和五年一月一日現在

發起設立施行認可		工事完了		換地處分		事業終了	
地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
三三	一三、六四、元六	一六	五、四八、八九三	一六〇	四、八三、四〇六	三二	五、四三、二六元
	整理費						
	一、〇七、九、四四						

從來本縣ハ開田事業ニ對スル企業熱強ク毎年事業發起面積モ相當多ク最近二三箇年ハ數年連續旱魃ノ後ヲ受ケテ旱害相續キ事業發起ヲナスモノ多ク當面事業關係トシテハ一萬町以上ノ多キニ達スル盛況

ニアリ

一、工事中ノ地區	地區數	面積
二、本年新ニ工事着手スヘキモノ	四四	六、〇三一町
三、測量設計ヲナシ組合設立ニ從事中ノモノ	一五	五七五町
四、調査設計中ノモノ及申請中ノモノ	一二	七、二四三町
五、用排水幹線改良事業	四八	四、五二四町
	二	二、〇〇〇町

趨勢 本縣ニ於ケル事業ノ傾向ハ開墾事業ハ河川水源ノ涸渴ト水利關係極メテ復雜ナルトニ依リテ河川ヲ水源トスルモノニアリテハ一二從來資金及技術ノ關係ヨリ不可能トシテ殘サレタル大事業以外ハ其餘地少ク今後ハ一面本縣地形ノ關係モアリテ小面積ノ開田事業ニ溜池水源ニ依リ開田事業ノ勃興ヲ見ル狀況ニアリ

普通整理事業最近古田整理補助ノ道開カレ以來農家ノ注意ヲ喚起シ來リ縣北下毛、宇佐ノ平坦部ニ於テ漸次發達ノ氣運ニアリ水利改良事業ハ最近ノ連續セル早越ニヨリ各水利系統共ニ其ノ缺陷ヲ暴露スルコトトナリ之カ改善補水ノタメ事業ヲ發企スルモノ愈々多ク今後トモ今種ノ事業ノ充分發達スル見込ナリ

排水關係トシテハ大面積ノ排水問題ハ比較的少キモ局部的排水暗渠排水ノ問題ハ山間部ノ濕田多キ本縣トシテ其餘地極メテ多キモ之カ助成施設不十分ニシテ目下停頓ノ狀況ニアリ

將來ニ對スル指導獎勵方針

- 一、開墾事業ハ貯水池水源ニ依ル開田及ヒ小面積ノ開墾ハ各地方農家ノ適切ナル要求ニ基ツクモノナルヲ以テ其希望ヲ達成セシムルタメ充分ナル助成ニ努力ヲナス事
- 二、普通整理事業ニ就キテハ水田ノ大集團地タル縣平坦部ノ農業經營改善ノ見地ヨリ特ニ獎勵ノ必要ヲ認ムルモノニシテ縣財政ノ都合ヲ見テ古田整理補助ヲ増加シ充分ノ注意ト自覺ヲ喚起セントス
- 三、本縣ニ於ケル河川水利關係ハ漸ク急迫シ各地ニ於テ種々ナル紛争ヲ來スヲ以テ昭和二年度ヨリ豫算ノ新設ヲナシ各水利系統ヲ調査シ水利權ノ整理調和ヲ圖ルト共ニ新水源ノ抽出ニ資シタルカ今後ハ進ンテ各水利系統ノ内部的調査ヲナシ一般ニ水利改良事業ノ基礎ヲ確定シ水利組合同種團體ノ活動ヲ助長シ縣下全般ノ水利改良ノ歩ヲ進ムルニ於テハ勞費ヲ要スル事少クシテ最モ有效ニ水田狀態改善ノ一半ノ目的ヲ達シ得ルモノニ於テハ國庫補助ノ下ニ縣營ニテ施行シ小面積ニツイテハ縣財政ノ狀況ヲ見テ相當助成ノ施設ヲナシ逐次改善ノ歩ヲ進メントス
- 四、經營困難ノ地區ノ救済ハ夫レ自體ニシテモ緊急ヲ要スル事項タルハ勿論之カ放任ハ耕地整理事業獎勵上少カラサル障害トナルヲ以テ其ノ救済ノ餘地アルモノニツキテ急速ニ立案シ之カ解決ヲ計ルト共ニ今後充分地區ノ選擇設計計畫ニ留意スルト共ニ組合ヲシテ過ナカラシムル爲メ工事監督特ニ組合經理ノ指導ニ遺憾ナキヲ期セントス
- 五、縣下旱害地被害ノ狀況ハ農家ノ自覺以上ニ甚大ニシテ廣汎ナルモノアリ之カ救済ハ農村振興上最モ緊急ノ事ニ屬シ前項水利改良事業ノ進行ヲ計ルト共ニ簡易ナル手續組織ニ依リ溜池補水ノ目的ヲ達成セシメントス

宮崎縣

現況

一、耕地整理事業 明治三十五年ヨリ昭和四年末日迄ニ認可セラレタルモノノ左ノ如シ

事業進行ノ狀況	地區數	整理前面積	整理後面積	整理費用
組合設立施行認可	五四一	一九、三六九 ^町	二一、六四七 ^町	八、八三一、九八〇 ^町
工事完了	三二〇	一一、〇一九	一三、七〇八	一、八一〇、七一
換地處分	二七四	九、六九八	九、九四八	一、〇七五、五九一
事業完了	一一五	三、四九五	三、七四五	七二五、六六二

二、開墾助成事業

大正八年以降本年四月末日迄開墾助成ヲ出願シ指令ヲ得タルモノノ左ノ如シ

種目	地區數	面積	事業費總豫算額	助成金交付見込金額	同交付済金額
開田	八八	二、九八一 ^町	四、七二七、七二六 ^町	一、七八八、〇八五 ^町	八八七、二八五 ^町
開畑	二〇	六〇八	三四一、三四三	一〇二、一九六	二七、三二二

荒地復舊	灌漑工事	計	面積	事業費總豫算額	助成金交付見込金額	同交付済金額
二五	一〇	一四三	五八五	七三七、一八九	二一八、二九三	一四〇、一二七
				三〇〇、六三八	六七、六六八	六〇、五一二
			四、一七四	六、一〇六、八九六	二、一七六、二四二	一、一一五、二四六

助成出願中ニシテ未指令ノモノノ左ノ如シ

種目	地區數	面積	事業費總豫算額	助成金交付見込金額
開田	一三	四七七 ^町	一、一一九、九六三 ^町	四四七、九八五 ^町
開畑	一六	一四〇	一一三、一五九	四九、二六四
荒地復舊	四	五八	八一、五四三	三二、六一七
計	三三	六七五	一、三二四、六六五	五二九、八六六

三、用排水幹線改良事業

昭和三年度ヨリ事業開始セル岩熊井堰用水改良事業ハ昭和四年度迄ニ用水取入口ノ改修ヲ終ヘ本年度ヨリ明年度迄ニ堰ノ改築ヲ行フヘク目下準備中ナリ

四、開墾地移住獎勵

大正九年以來繼續シテ益々之カ獎勵ニカヲ注キ特ニ專任ノ主事補(事務) 技手(經營指導) 助手(建築設計及監督)ノ三名ヲ置キテ之ニ當ラシメ昭和四年度迄ニ獎勵金ヲ交付セルモノ移住家屋五百八

十三戸共同建造物二十二棟ニシテ公會堂、共同作業場兩者兼用ノモノ各五簡易上水道及農具格納庫各二神社禮拜堂及稚蠶飼育場各一ニシテ何レモ大ニ利用シツツアリ移住者ハ縣外ヨリノモノ約七割ヲ占メ畑地經營ニ從事スルモノ多シ

五、農用機械ノ貸與

大正十四年度以來本省ヨリ牽曳機一臺ノ貸與ヲ受ケ畑地開墾ニ利用シ其ノ成績良好ナルヲ以テ昭和四年度ニ於テハ國庫補助ヲ仰キ縣ニモ一臺ヲ購入シ目下二臺ニテ開墾作業ヲ進メ尙同年度ヨリ開田地客土用トシテ本省ヨリ牽曳機一臺及四輪車六臺ノ貸與ヲ受ケ作業繼續中ニシテ成績頗ル良好ナリ

六、水害耕地ノ復舊

昭和四年度ニ於ケル本縣耕地ノ水害ハ一市七郡ニ亘リ其ノ面積七百二十町步復舊費用百萬七千五百五十一圓ヲ要スル大被害ナリシヲ以テ直チニ之カ復舊ヲ行フハク計畫ヲ樹テ昭和四年度ヨリ三箇年ヲ以テ完成スル豫定ニシテ國庫補助ト低利資金ノ供給ヲ仰キ既ニ耕地整理組合ヲ設立セルモノ二十ニ地區其ノ面積二百三十一町步ニ及ヒ既ニ着々工事ヲ進メ其ノ他ノ地區モ本年八、九月頃迄ニハ全部組合ノ設立ヲ見ル豫定ナリ

七、事業ノ獎勵指導

明治三十年以降耕地事業獎勵ノ爲縣ニ於テ調査設計工事監督並事務指導ヲ續ケ來リ之ニ從事スルモノ昭和五年度ニ於テ技師三名屬一名技手二十五名主事補七名助手二十八名總數六十四名アリ尙昭和三年度ヨリ宮崎縣耕地協會設立セラレ技術及事務ノ助成ヲ開始シ目下之ニ從事セルモノ書記十三名

技手六名アリ縣ノ獎勵ト相俟チ事業ノ進展ニ努メツツアリ

趨 勢 耕地ノ擴張事業ハ交通不便ナル山間部地方ニ於テ開田事業依然トシテ盛ニ行ハレ幹線水路ノ如キ特殊工事ニ對シテハ近來比較的潤澤ニ供給セラレ開田整地ハ自家勞力ニ依ル關係上左程ニ經濟界ノ影響ヲ受ケタルコトヲ認メス交通便利ナル海岸地帯ノ鐵道沿線ニ於テハ最近畑地利用増進ノ結果開畑事業ノ行ハルルモノ多シ大規模開墾事業ハ財界不況ノ今日到底地方民ノ力ノミヲ以テハ實現困難ナリトシ國營施行ノ一日モ早カラントヲ切望シツツアリ

耕地ノ改良事業ハ田區劃ノ整理ヲ主眼トスル如キモノハ今月殆ト其ノ痕ヲ絶チ主トシテ灌溉排水ノ改善整備ト交通運搬ノ便益々増進トニ重キヲ置クモノニシテ經濟界ノ影響ハ寧ロ此ノ方面ニ著シク偶々旱害水害ノ勃發ノ爲之カ善後策トシテ施行セラルルモノ大部分ヲ占ムル狀況ナリ從ツテ用排水幹線改良事業ハ各河川ニ於ケル調査ノ進捗ヲ待チテ縣營施行ヲ希フ者頗ル多シ

開墾地移住ハ縣外ヨリノ移住益々増加シ土地分讓ヲ希望スルモノ多キヲ以テ自作農創設資金特別配當ノ必要ヲ感スルコト切ナリ牽曳機ハ畑地開墾ヲ急ク移住農家ノ專用タラントスル傾向アリ

將來ニ對スル指導獎勵方針 指導獎勵ノ方針ハ大要左ノ如シ

- 一、調査設計工事監督ニ對シテハ從來ト同様ノ方法ニヨリ更ニ一層ノ力ヲ注カントス
- 二、組合事務ノ監督ニハ嚴密ナル指導助成ハ專ラ縣耕地協會ヲシテ之ニ當ラシメントス
- 三、耕地ノ改良ニ就テハ水利交通組織ノ完成ニ重キヲ置キ耕地ノ擴張ニ就テハ田畑林野ノ按配ニ留意シ農業經營ノ安定ヲ圖ラントス

四、開墾用機械器具ニ就テハ農林省借用品ノ外ニ縣ニ於テモ之ヲ備ヘ縣耕地協會ニ貸與シ當業者ノ使
 用ヲ簡便ナラシメントス
 五、整理地就中開墾地ノ利用經營ニ就テハ試驗地、模範地ヲ設ケ移住部落ニ對シテハ移住者ノ小組合
 ヲ設ケシメ農業經營ノ合理化ヲ圖リ住宅及共同建造物ニ對スル獎勵金ノ交付ハ一層之ヲ多クシ低利
 資金ノ特別配當ニヨリ自作農ノ創設ニ努メ健全ナル移住部落ノ發達ヲ期セントス

鹿兒島縣

本縣ニ於ケル耕地改良事業ハ耕地整理法實施以來四月末迄其ノ認可ヲ受ケタルモノ左ノ如シ
 事業創設以來認可濟

工 事 完 了	二六、四五八・一	地區數	八七九
換 地 處 分 濟	一五、九〇〇・三	同	七一八
地 價 配 賦 濟	一六、一七四・八	同	六八六
登 記 濟	一五、三一〇・六	同	六五九
事 業 完 了	一五、三二〇・八	同	六五〇
	一〇、二四五・二	同	四四二

備考 工事完了面積ヨリ換地處分面積多キハ換地處分ハ確定面積ヲ掲記セシニヨル

大正八年開墾助成法發布以來其ノ承認ヲ受ケタルモノ及出願中ノモノ左ノ如シ
 認可ヲ受ケタルモノ 三、八二〇町 地區數 五六

出願中ノモノ

八〇一

同

一五

縣 營 事 業

一、事業施行中ノモノ

谷山町和田干拓事業

六〇・八

助成年限

自大正十二年
至昭和五年
至昭和五年

牛根村二川開墾事業

一一・八

同

自大正十二年
至昭和五年
至昭和五年

但二川開墾事業ハ九分通り竣成中昭和四年七月一日ヨリ大洪水ノ爲河川堤塘破損シ地區内六町歩ヲ
 除ク外全部土砂堆積シ或ハ耕土流失シ目下之カ復舊講究中ナリ

二、事業トシテ工事完了ノモノ

東國分村荒地復舊事業

四九・九

助成年限

自大正十四年
至昭和四年
至昭和四年

小新田米ノ津埋立事業

三二・四

同

自大正十二年
至昭和四年
至昭和四年

今後耕地整理法ニ依リ整理ヲ要スルモノ左ノ如シ

一、古田改良見込地

二五、一三六・二

内 譯

イ、用水不足地

九、二〇六・一

五年四月調査ニヨリ訂正

ロ、平時排水不良地

六、三〇〇・〇

ハ、一時排水不良地

二、八〇〇・〇

ニ、普通整理地

四、〇七六・八

ホ、土管排水ニ仕換 二、七五三・三町

二、開墾地目變換見込地 一九、九一四・〇町

内 譯

イ、埋立干拓 一、二〇〇・〇町

ロ、開墾地目變換 一八、七一四・〇町

三、畑地整理見込地 三九、九八七・〇町

四、用排水幹線改良見込地 四、六〇〇・〇町

伊佐郡湯之尾堰外五箇所

從來ハ主トシテ土地改良事業多カリシカ米價ノ低落並一般財界不況ト一面事業ニ對スル補助ノ施設薄キタメ一般ニ事業ノ利益顯著ナルハ認メ居ルモ是等ノ事情ニヨリ近年事業ノ進捗幾分遅々タルノ感アリ然レトモ開墾事業ハ改正助成法四割助成ニ刺戟サレ事業ハ逐次勃興スルノ傾向アリ其ノ他近來早害ニ加フルニ水害ヲ受ケ溜池ノ復舊増設、揚水機ノ設置、災害救濟事業等續出セルヲ以テ普通補助以外特別ニ夫々災害補助ヲナシ尙水利組合給水組合等ノ活動ヲ促スハ勿論一昨年度ヨリハ特ニ水利調査費ヲ設ケ縣下河川中急施ヲ要スルモノヨリ選定シ各水系毎ニ調査項目ニヨリ繼續調査中ナリ

沖繩縣

現況並趨勢

一、耕地擴張事業

本縣ハ古來甘藷、甘蔗ヲ以テ主要農作物ト爲シ畑地利用ニ重キヲ置キタル結果畑ハ耕地ノ八割九分ヲ占ムル現況ニシテ開墾事業モ主トシテ開畑ヲ施行スル者多ク從來小區域ハ地租條例ニ依リ各地相應ニ開墾シツツアリト雖本島山間部及海岸各離島ノ集團地開墾ニアリテハ開墾助成法實施以來逐年事業ノ勃興ヲ見ツツアリ

今本縣ニ於ケル耕地擴張見込面積並開墾助成出願狀況ヲ示セハ左ノ如シ

耕地擴張見込地面積調 (大正七年末調)

種別	擴張見込面積		附記
	田トナルモノ	畑トナルモノ	
開墾開拓	六、八四〇町	二二、三四二町	二九、一八二町
新開	一七〇町	二二、三四二町	一七〇町
計	七、〇一〇町	二二、三四二町	二九、三五二町
			國土面積ノ一割二分二厘ニ相當ス

開墾助成事業出願狀況調 (昭和五年三月末調)

地區數	施行面積			備考
	開田	開畑	計	
三四	六六、四町	二、六〇一・三町	二、六六七・七町	

即之カ開拓ノ曉ハ一躍現在耕地ノ四割九分強ヲ擴張シ得ル見込ニシテ其ノ大部分ヲ占ムルハ石垣、

西表ノ兩島ニ介在セル面積約一萬七千町步ナリ然シテ之等可耕地ハ概ネ地勢緩斜セル林野ニシテ地味豊饒ナリト雖該地方ハ往時風土病ノ爲土着スル者少ク爾來人口頗ル稀薄ニシテ一方里僅ニ八百三十餘人ニ相當シ本縣平均人口一方里三千六百二十餘人ニ比スレハ約二割三分ニ過キサレハ斯業ノ進展ヲ阻碍シタル主因ナルモ縣衛生事業トシテ防遏ニ專任シタル結果業績頓ニ擧リタルニ從ヒ近年起業者出テテ本地方開發ノ曙光ヲ見ルニ至レリ

現今開墾助成地區ハ前記離島ニ多ク大正十年五月縣令ヲ以テ開墾移住獎勵規程公布以來昭和四年度迄ニ該規程ノ適用ヲ受ケ家屋ヲ建設シタルモノ百五戸ヲ算スルニ至レリ

本縣各島嶼ハ入江多ク海底ハ新紀珊瑚礁ヨリ成レルヲ以テ年々隆起シ加之陸地ハ地勢急峻ニシテ裸地多キ爲豪雨ノ際流出スル土砂ノ沈積ト相俟テ埋立干拓ニ依ル開田適地頗ル多シ然ルニ本縣耕地ハ前記ノ如ク畑地多キヲ以テ主要食糧タル甘藷ニ不足ナキモ米ニ於テハ毎年入超二十三萬石餘ニシテ人口増加ト縣民生活ニ伴ヒ益々食糧缺乏ヲ招來スル悲況ニ照シ最モ憂慮スヘキ事柄ニシテ直チニ造田計畫ヲ樹立シ食糧需給ノ緩和ニ貢獻セムトスル聲日ニ喧シク亦看過スヘカラサル當面ノ急務ナルモ窮迫セル本縣財政經濟ヲ以テ如何トモ爲シ難キヲ遺憾トス

今年度ノ開墾助成出願豫定地及移住家屋建築出願豫定ヲ示セハ左ノ如シ

開墾助成事業並移住家屋建築出願調

地區數	施行面積		移住家屋建築 豫定戶數	記
	開田	畑		
七	一五町	三〇六町	三二一町	一六八町

二、耕地改良事業

本縣ノ耕地面積ハ昭和四年九月農業調査ニ依リ田六千三百七十五町步畑五萬三千五百二十一町步計五萬九千八百九十六町步ニシテ其ノ割合ハ田一割一分畑八割九分ニ當リ國土面積ノ二割五分弱ヲ占ム

然ルニ縣内六十有餘ノ島嶼ハ高岳大川ニ乏シク後年水源涵養ヲ閉却セラレタル結果灌溉排水ノ便ヲ缺キ累年旱魃及浸水ニ基因スル各種農作物ノ被害甚大ニシテ農民生活ノ安定ヲ失シタルハ現時財政經濟ノ疲弊セル一大原因ニシテ既耕地ノ整理改善事業ノ進捗ヲ阻害シタル主因ナリトス
既耕地ノ改良事業ハ大正五年創始以來事業獎勵ニ對スル經費寡少ナルト資金窮乏ノ爲他府縣並ノ發達ヲ成シ得サリシモ漸次獎勵施設ノ擴充ト縣民自覺ニ依リ左表ノ如ク進展ヲ見ルニ至レリ

耕地整理事業狀況調(昭和五年四月現在)

地區數	可		濟		工		事		完		換		地		處		分			
	面	積	整	理	費	地	區	數	面	積	地	區	數	面	積	地	區	數	面	積
六〇	二、九二〇町	一、四一五、二六八町	一九	三八四町	一三	三三九町														

一、畑ノ改良

由來本縣ハ海内屈指ノ多雨地ニシテ七月乃至十月ハ乾燥期ナルヲ以テ用器水利ニ恵マレサル現下ノ状態ニ應シ畑地改良ニ因リテ産糖其ノ他農産增收ヲ企圖スルハ本縣農業ノ振興ヲ計リ縣勢ノ發揚上焦眉ノ急務ナルニ鑑ミ昭和三年度ヨリ特ニ糖業改良ノ目的ヲ以テ多額ノ國庫補助金ヲ交付セラルルニ至レリ本事業ハ特別ノ事情ナキ限リ耕地整理法ニ基キ施行スルヲ原則トシ灌溉排水ニ關スル主要工事若ハ設備ニ要スル經費並土地買收費ニ對シ補助金ヲ交付シ之カ勸奨ニ努メタル結果甘蔗優良品種ノ普及獎勵ト相俟テ顯著ナル成績ヲ舉ケ企業者ハ日ヲ逐フテ増加シ事業施行申請中ノモノ二十二地區灌溉排水豫定面積六千九百町歩ヲ算スル盛況ナリ左ニ目下事業施行狀況及豫定ヲ掲ケムトス

甘蔗作灌溉排水設備事業施行狀況（昭和五年四月現在）

種 別	地 區 數	灌 溉 面 積	事 業 費 豫 算 額
認可済ニシテ工事中ノモノ	五	六二八町	一七〇、三一八
認可済ニシテ工事着手準備中ノモノ	二	一一四	九六、九二〇
認可申請準備中ノモノ	一	二七	一六、九八六
調査設計中ノモノ	三	二二〇	一三九、八〇〇
計	一一	九九九	四二四、〇二四

同上水源又ハ排水種別調書

種 別	地 區 數	灌 溉 面 積	事 業 費 豫 算 額
溜池改築	四	六二〇町	一一九、七六七
溜池新設	四	二九四	二三六、八九〇
泉水利用	二	五一	二九、九〇六
溜池排水	一	三四	三七、四六一
計	一一	九九九	四二四、〇二四

備考 水源ニハ溪流ヲ引用スルモノ排水ニハ明渠ニ據ルモノ等二種以上アルモノハ其ノ最重要ト認ムルモノヲ掲ク

昭和五年度事業施行豫定

種 別	地 區 數	面 積
基本調査設計	三	一、〇〇〇町
部分調査設計	五	五二〇
工事監上監督	一	七一〇
創業事務指導	四	六〇〇
工事中ノ事務指導	一	七一〇
完了事務指導	二	四〇〇
計	一七	一七七一〇

二、田ノ改良

水田ノ多クハ丘陵ノ間又ハ沿海ニ介在スル低濕地又ハ天水田ナルヲ以テ確實ナル水源ナキモノ地
下水位高キ爲平時排水不良ナルモノ洪水ノ場合ニ於テ一時的浸水ノ被害アルモノ等畑地トシテ利
用シ得ヘカラサル土地ナルカ故ニ農地トシテ利用全カラサル現況ニ在リサレハ反當平均收量八斗
七升弱ニシテ年産五萬千五百餘石ニ過キス

然ルニ縣内現住人口五十六萬餘人ノ毎年消費高ハ二十八萬六百餘石ニシテ入超二十三萬石餘其ノ
價格五百二十餘萬圓ノ巨費ヲ算セリ

顧ミルニ本縣財政經濟ハ本邦中最窮迫シ夙ニ疲弊ノ聲アルハ年々輸入超過ニ胚胎スル所ニシテ
毎年入超八百十六萬餘圓ヲ算シ現在一戸當七十圓弱ヲ負擔スル悲況ニシテ今日ノ窮狀ヲ招來シタ
ル所以ハ實ニ產米不足ニ原因スル所最モ大ナリト謂フヘク此儘推移セムカ縣民經濟生活ヲ脅威シ
益々農村ノ疲弊ヲ招クニ臻リ悲慘ナル境遇ニ沈淪セサルヘカラサルヲ虞レ之カ解決策ハ本縣最大
問題ニシテ其ノ方途亦多々アリト雖土地改良ヲ遂行スルヲ焦眉ノ急務トスヘシ

然ルニ本縣ノ氣候風土ニ鑑ミ前記被害ノ程度深刻ニシテ目下農村經濟狀態ハ僅少ノ勞力出資ヲ爲
シ得ルモ全部自力ニ依ル施設ハ負擔過重ニシテ到底不可能ナルヲ以テ政府ノ特別救濟ヲ仰カサル
限リハ改良促進シ得サルモノト認ム

將來ニ對スル指導獎勵方針

本縣耕地ノ擴張並改良事業ハ近年漸ク其ノ緒ニ就キ幾多天惠ヲ利導スルトキハ遺地遺利ノ資源開拓

ノ餘地頗ル多シト雖本縣ハ他府縣ト其ノ事情ヲ異ニシ殊ニ今日農家ノ疲弊困憊ハ極度ニ達シ居ルカ
爲根本的ニ該事業ノ促進ヲ計ラムニハ特別政府ノ救濟ヲ仰カサルヘカラサルモ現今縣設備費ノミヲ
以テ將來ノ指導獎勵方針ヲ樹立セムトセハ大要左ノ方針ニ據ラムトス

一、耕地擴張事業ニシテ大規模ノモノハ直接國營開墾ニ依ルカ又ハ大資本家ノ投資ニ俟タサルヘカラ
サルモ小區域ノ自衛的ノモノニアリテハ所要事業資金ノ供給ヲ計リテ遂行ヲ期シ農事試驗場又ハ各
級農會ト連絡ヲ取り本縣ニ適切有利ナル主要食糧作物並移出用園藝作物等ノ栽培ヲ獎勵シ且既成地
ノ經營ニ關シ移住民ヲ要スヘキ地區ハ之カ誘導ニ努メ事業遂行上遺憾ナキヲ期セムトス

二、耕地改良事業ニ關シテハ第一次事業トシテ水利改善ヲ企畫セムカ爲前記ノ甘蔗作灌漑排水事業ノ
指導獎勵ニ衝リ被害激甚ニシテ之カ施設ノ急務ニ迫リ居ルモノニ就キ諸種ノ起業條件ヲ具備シ成工
ノ見込的確ニシテ他ノ模範トナルヘキ地區ヨリ調査設計ヲ爲シ萬全ナル財務計畫ヲ樹立セシメタル
後整理施行認可ヲ附與シ工事並事務指導ヲ行ヒ工事ハ農閑期ヲ利用可成夫役現品ノ賦課ヲ主眼トシ
テ現金ヲ以テ支出スヘキ工用材料其ノ他ノ費用ニ對シテハ事業資金借入ニ依リ之カ償還ニ關シテ
ハ縣費補助金及工事後ノ土地收益差金ヲ以テ充當シ事業完成ニ遺憾ナカラシメムトス

決議

尙耕地擴張改良事業ノ將來ニ對スル指導獎勵方針ニ付テハ第一委員會ニ附託シテ審議セシメ之ヲ本會

議ニ附シ左ノ決議ヲ得タリ

一、主務省

- (一) 耕地局ノ新設
 - (二) 指導監督ノ爲出張所ヲ設クルコト
 - (三) 農業土木研究機關ノ設置
 - (四) 開墾助成ノ權限ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコト
 - (五) 用排水改良事業ハ五百町歩ノ制限ヲ遞下スルコト
 - (六) 事業資金ノ潤澤ナル供給ニ努メ利率低下及償還年限ノ延長ヲ圖ルコト
 - (七) 水利組合ノ監督權ヲ農林省主管トスルコト
 - (八) 農業土木ニ關スル專任事務員ヲ養成スル爲長期講習ヲ開催スルコト
- 二、地方廳
- (一) 設備ヲ擴張シ組織ヲ整備シテ事業ノ進歩發達ヲ期スルコト
 - (二) 農業水利調査ヲ施行スルコト
 - (三) 開墾地移住及經營施設ヲ完成セシムル爲之カ指導獎勵ニ努ムルコト
 - (四) 事業費輕減ノ爲機械類ノ貸與ヲ圖ルコト
 - (五) 事務ノ完了ヲ迅速ナラシムル方法ヲ講スルコト

第二 耕地整理法規中改正ヲ要スト認ムル事項如何

答 申

青 森 縣

- 一、用排水主要工事ヲ國營ニシテ施行スル事項ヲ耕地整理法中ニ規定サレタキコト
- 二、用排水主要工事ヲ國營ニシテ施行スル場合國營以外ノ工事ヲ目的トスルハ耕地整理組合ノ設立手續ヲ耕地整理法中ニ明確ニサレタキコト

岩 手 縣

- 一、耕地整理法第十一條第二項中「ニシテ……代ルヘキモノ」ノ十九字削除
- 第十一條第二項

- 耕地整理ノ施行ニ依リ開設シタル道路、堤塘、溝渠、溜池等ハ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入ス
理由 代ルヘキモノニ非サルモノモ代ルモノト同様ノ用途ニシテ國ニ於テ管理スルヲ要スルニ依ル
- 二、同第十三條第一項及二項但書中前項ノ土地ニ對スル恩典ハ市町村其ノ他公共團體有ノ溝渠、溜池等ニ對スル換地ニモ之ヲ適用スルコト
- 第十三條

耕地整理法規中改正ヲ要スト認ムル事項如何

耕地整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ整理施行地區内土地ノ現地價ノ合計額ヲ每筆相等ニ配賦シテ之ヲ定ム但シ第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合及市町村其ノ他公共團體有ノ溝渠、溜池等ニ對スル換地ノ面積カ從前ノ土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ整理施行地ノ現地價ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乗シタル金額ヲ現地價ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ現地價ノ合計額ト看做ス

第二項ニ就テモ前同様追加

理由 不生産地増加ニ對スル地價又ハ地租控除ノ趣旨ハ代ルヘキモノト否トニ不拘同様ナルヘク事實上從來此等不生産地ニ對シテハ一旦地價ヲ配賦シ然ル後免租手續ヲ爲セルヲ以テ本文ノ如ク改正スルヲ可トスルモノナリ

三、同第七十三條第五項ヲ「任期滿了スルモ改選セサル時」ニ於テモ適用スルコト

第七十三條第五項

組合長、組合副長共ニ缺員ト爲リタルトキ及任期滿了スルモ改選セサルトキハ地方長官ハ臨時代理者ヲ指定スルコトヲ得

理由 組合事業ノ進捗ヲ圖ル爲必要アリト認ム

四、耕地整理法施行規則第十二條ノ二ニ依ル提出期限ヲ工事完了届出後六箇月以内トスルコト

第十二條ノ二

耕地整理法第十四條及第十五條第一號但書第二號ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ要スル土地ニ付テハ整理施行者ハ從前ノ土地ノ字、番號、地目、面積及修正又ハ設定地價ノ見積額ヲ記シタル書面並從前ノ土地各筆ノ區域ヲ表示シタル圖面ヲ作り第十一條ノ規定ニ依ル工事完了ノ届出後六ヶ月以内ニ所轄稅務署長ニ之ヲ差出スヘシ但シ地價ノ見積ニ付テハ評議員ヲ置ク耕地整理組合ニ在リテハ評議員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

理由 耕地整理法施行規則第十一條ニ依レハ工事完了シタルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官及所轄稅務署長ニ届出ツヘキモノニシテ同條規定ノ圖面ハ確定測量ヲ行フニ非サレハ其ノ調製不可能ニシテ右ハ相當長時日ヲ要スルニ依ル

宮 城 縣

現行耕地整理法第七十九條ハ組合員ニシテ同法第三十條第一項第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金銀又ハ延滞利息若ハ過怠金ヲ滯納スルトキハ市町村ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘキ規定ナルモ之ヲ耕地整理組合ニ於テ直接處分シ得ル様改正ヲ要望ス

秋 田 縣

一、耕地整理施行ニ依リ開設シタル道路、堤塘、溝渠、溜池等ハ從前之ニ代ルヘキモノナキ場合ト雖無償ニテ國有地ニ編入シ得ル様耕地整理法第十一條ノ改正ヲ望ム

- 理由 耕地整理法ニ依ル開墾事業ハ近年著シク増加シタル事ハ周知ノ事實ナリ然ルニ開墾地ハ地區内ニ道路、溝渠ヲ包含セサル個所多ク從テ開田工事施行後ニ於テハ道路、溝渠等開設セラルルハ當然ナリ故ニ換地處分ヲ爲スニ於テハ開設セラレタル道路溝渠等ハ當初地區内ニ包含セサルヲ以テ一旦雜種地トシテ處分シ然ル後上地ノ手續ニ依リ取扱フハ其ノ繁雜鈔カラス依テ右改正ヲ望ム
- 二、企業者ヲ組合員トナシ得ルコトニ改正スルコト
- 三、會計後ヲ法律ニ認メソノ選任解任ハ組合長ニ準スルコト

山形縣

- 一、耕地整理ニ關スル費用ハ國稅徵收法ニ依リ組合長ニ於テ直ニ處分シ得ル様改正ノ件
- 理由 法第七十九條ニ於テ耕地整理組合ノ費用ノ滯納處分方ヲ市町村長ニ請求シ得ルノ途アルモ實際ニ於テ右請求ヲ爲スモ町村長ハ町村自體ノ事務關係上容易ニ其ノ處分進捗セス爲ニ組合財政上ニ支障ヲ來ス場合多シ故ニ滯納處分ハ組合長自ヲ執行シ得ル様改正セテラタシ

福島縣

- 一、耕地整理組合ノ一時借入金ニ付テハ起債認可ノ要ナキ様法第八十條ヲ改正セラレタシ
- 二、耕地整理法第三十條第四項ノ通知ニ依リ登記所ハ職權ヲ以テ耕地整理登記ヲ爲ス様法ノ改正ヲ要望ス

- 三、揚水機、井堰等ノ如キ灌漑排水ニ關スル設備若ハ工事ヲ土地ノ交換分合、開墾、地目變換其ノ他區劃形質ノ變更湖海ノ埋立干拓若ハ道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更廢置ニ伴ハス單獨ニ施行スルモ耕地整理事業ト認メラルル様法規ノ改正ヲ望ム

茨城縣

- 耕地整理組合費ヲ組合ニ於テ強制徵收シ得ル様法規ノ改正ニ關スル件
- 耕地整理組合費ノ滯納處分ハ耕地整理法第七十九條ニ依リ市町村長ニ請求シ之カ處分ヲ爲スヘキ規定ナレトモ市町村長ハ諸種ノ事情ニ制セラレ往々執行ヲ遲延スルノ傾向アリ爲ニ組合財務ノ整理上支障ヲ來スノ實例不尠ニ依リ事業主體者タル組合ニ於テ之カ處分ヲ爲シ得ル様改正セラタシ

栃木縣

- 一、第七十九條ニ依ル強制徵收ハ組合長ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ル様改正セラレンコトヲ望ム
- 理由 現行法第七十九條ニ於テハ組合員ノ組合費滯納ニ對シ組合ニハ處分權ナク市町村ニ處分ヲ請求スルコトトナリ居ルモ市町村長ハ種々ノ事情ニ依リ之カ處分ヲ爲サス又ハ爲ス能ハサル爲組合ノ財政ヲ危殆ナラシメ事業遂行上支障不尠ニ因ル

- 二、第一條ヲ改正シ河川ノ改良及揚排水機ノミノ設置維持管理ヲモ耕地整理事業ニ包含セシメラレタ

耕地整理事業ノ發達ニ伴ヒ法第一條各號規定ノ事項ノミニテハ土地ノ農業上ノ利用ヲ増進スルニ技術上及經濟上缺クル所アルニ因ル

群馬縣

一、耕地整理法第七十九條改正ノ件

耕地整理法第七十九條第一項ノ處分ヲ組合長ニ於テ行ヒ得ル様改正セラレタキコト

理由 近時耕地整理組合ニシテ地區面積數町村ニ及フカ如キモノ尠カラス一般ニ組織完備セラレツ

ツアルト共ニ滯納處分ヲ市町村ニ請求スルハ從來ノ例ニ徴スルニ其ノ實績寧ろ容易ニ擧ラサルヲ以テ直接處分ノ權限ヲ附與スルノ必要アルモノト認メラル

埼玉縣

一、耕地整理法第七十九條ノ滯納處分ヲ組合長自ラ執行シ得ル様改正スルコト

理由 近時ノ狀態ニ鑑ミ現行法ノ如ク市町村ニ請求シテ之ヲ處分スルカ如キ姑息ナル方法ニテハ事業執行上影響スル處少カラス依テ組合長自ラ之カ處分ヲ爲スヲ得セシメ以テ滯納ノ弊ヲ矯メムト

スルニ由ル

二、耕地整理法施行規則第四十九條第一項ヲ削除スルコト

理由 一般ノ實情ト從來ノ經驗トニ徴シ組合會設置ニ關スル制限ヲ設ケサルモ支障ナシト認ムルニ

由ル

三、耕地整理法第四十三條第一項但書中「第四號乃至第八號」ヲ「第四號乃至第七號」ニ改メ「及建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者」及八號「建物アル宅地」ヲ削ル

第四十四條第一項中「用途アル土地」ノ下ニ「及建物アル宅地」ヲ加ヘ「土地所有者及關係人」ヲ

「土地所有者、關係人建物所有者及建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者」ニ改ム

第六十八條第一項中「土地ノ所有者若ハ關係人」ヲ「土地ノ所有者、關係人若ハ建物所有者及建物

ニ付登記シタル權利ヲ有スル者」ニ改ム

理由 建物アル宅地ハ土地所有者、關係人、建物所有者及建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同

意ヲ得ルニ非レハ絶對ニ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得サルハ勿論ナルモ之ヲ編入スル

ニ非レハ耕地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサル場合亦尠カラス依テ之ヲ第四十四條中ニ加ヘテ事ノ實際ニ熟シ運用宜シキヲ得セシメムトスルニ由ル

千葉縣

一、耕地整理組合費ノ強制徴收處分權ヲ組合長ニ附與スル改正

二、耕地整理組合ニ區ヲ設ケタル場合ニ對シ區專屬設計書ノ變更、同收支豫算決算其ノ他區專屬ニ關

スル處分ニ付區評議員會、區組合會ノ表決事項ヲ認ムル法規ノ改正（此ノ場合組合評議員及組合會三議員ハ區評議員及區組合會議員中ヨリ互選ノ方法ニ依ルコト）

耕地整理法規中改正ヲ要スト認ムル事項如何

- 三、換地處分、登記、地價配賦完了後ニ於テ災害ノ爲復舊事業又ハ復舊改良事業ヲ要スル場合ニ對スル事業ノ施行並之ニ伴フ處分ノ法規ノ改正
- 四、耕地整理法第三十條第二項ニ依リ土地ノ交換、分合區劃形質ノ變更ヲ爲ササル處分即不換地處分ニシテ地價配賦ヲ行フ地區及行ハサル地區ニ對スル處分手續ノ改正（此ノ場合（一）耕地整理法第十一條第一項不換地ノ處分ニ對シテハ不動產登記法ニ基キ土地保存登記、所有權移轉登記ヲ爲シ第二項ノ土地ニ對シテモ同法ニ基キ所有權移轉ノ登記ヲ爲スノ外耕地整理法第十條ノ恩典ニ浴セサルヲ以テ之カ改正ノ要旨ハ耕地整理法第十一條第一、二項ノ土地ニ對スル換地説明書ヲ作り換地處分ノ方法ニ改ム（二）地價配賦ヲ行フ地區ニ在リテハ更ニ既登記ノ土地ニ對シ反別ノ増減ヲ生シタルモノニ付テハ組合長ニ於テ地價配賦後ノ土地臺帳謄本ニ依リ更正又ハ變更登記ヲ爲シ得ル方法ニ改ム）
- 五、耕地整理組合ニ分掌事務係評議員又ハ有給事務員ヲ吏員トシテ資格ヲ附與スル法規ノ改正
- 六、共同施行ニ依ル耕地整理施行地區ヲ耕地整理組合ニ變更ノ法規ノ改正
- 七、第五十三條第一項第八號ニ依ル處分ニ基ク清算ニ關スル清算人ヲ特ニ地方長官ニ於テ指定シ得ル様法規ノ改正

東京府

耕地整理法第七十九條ノ規定ヲ組合長ヲシテ滞納處分ヲナシ得ル様改正スルノ必要アリト認ム

理由 組合員ニシテ組合費第三十條第一項第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金錢又ハ延滞利息若ハ過怠金ヲ滞納スルトキハ組合長ノ請求ニヨリ市町村ニ於テ市町村稅ノ例ニ依リ滞納處分ヲナシ得ル現行規程ナルモ實際問題トシテハ市町村ニ於テモ市町村稅ノ滞納處分ヲナスニ非常ナル困難ヲ感シツツアル状態ニアリ加之耕地整理ニ於ケル滞納處分ヲナストキハ市町村民ノ反感ヲ買ヒ市町村ノ平和ヲ害スル處アリトシ容易ニ處分ヲナシ得サル現況ニアリ故ニ組合長之カ滞納處分ヲナシ得ル様改正スル必要アリト認ム

神奈川県

- 一、耕地整理法第一條第一項第二項ノ土地ニ付テハ耕地整理施行ノ爲不用ニ歸シタル道路、堤塘、溝渠、溜池等ハ總テ無償ニテ之ヲ整理施行地ノ所有者ニ交付シ耕地整理ノ施行ニ依リ開設シタル道路、堤塘、溝渠、溜池等ハ其ノ地目ノ如何面積ノ大小ニ關セス總テ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入スル様法文ノ改正ヲ望ム
- 理由 耕地整理法第十一條第一項第二項ノ解釋ニ付テハ兎角ノ疑義アリ面積ノ大小ニ關セス地目毎ニ代ルモノトシテ取扱ハレ居ルモノノ如シト雖地目面積ノ如何ニ拘ラス無償交付及無償編入ノ取扱ヲ爲シ得ル様改正セラレムコトヲ望ムニアリ
- 二、耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ申請セムトスルモノ又ハ整理施行者ヨリ申請アリタル場合戶籍謄本又ハ抄本若ハ證明書ヲ無償ニテ交付セララルル規定ヲ耕地整理法第九條中ニ明示セラ

レムコトヲ望ム

理由 大藏省ニ於テハ耕地整理法第九條ヲ廣義ニ解シ土地臺帳謄本ヲ無償ニテ下附シアリ（大正七年十月一日農務局長照會主稅局長回答要旨、法第九條ニ依ル土地臺帳謄本下附ハ土地異動カ組合設立又ハ施行認可前後タルヲ問ハス無償交付スヘシ）然ルニ司法省ニ在リテハ戶籍ノ謄抄本ハ有價下附スヘキモノト解セラルルハ（大正四年九月十四日長濱區裁判所照會法務局長回答要旨、耕地整理施行者ヨリ戶籍ノ謄抄本ヲ請求シタルトキト雖手數料ノ免除無シ）彼是均衡ヲ失スルモノト思考セラル依テ解釋上疑義ヲ生セシメサル様法文ノ改正ヲ望ムモノナリ

本件ニ關シテハ大正九年十月開催ノ主任官會議ニ於テ可決採用セラレアルモ未タ實施ニ至ラス依テ更ニ提出シタル所以ナリ

三、耕地整理事業ノ一部引繼ヲ爲シ得ル様關係法規ノ改正ヲ望ム

理由 耕地整理事業中其ノ事業ノ一部例ヘハ計畫道水路中竣功シタル一路線ヲ維持管理ノ都合上市町村又ハ水利組合ニ引繼キ他ノ部分ヲ留保シテ耕地整理事業ヲ繼續シ最後ニ殘存部分ノ引繼ヲ爲シ耕地整理事業ヲ完了シ又ハ耕地整理組合ヲ解散スルヲ便宜トスル場合アリ依テ之カ改正ヲ望ム所以ナリ

四、工事又ハ設備ニ要スル費用以外ノ費用ニ對スル補助金ニ對シテモ補助金ヲ交付セラルル様耕地整理及土地改良獎勵規則ノ改正ヲ望ム

理由 道廳府縣ニ於テ補助金ノ交付ニ關スル規程ヲ以テ工事又ハ設備ニ要スル費用以外ノ費用ニ對

スル補助金ヲ交付スル場合ハ此ノ補助金ニ對シテモ補助金交付ノ途ヲ開カレタシ

新潟縣

一、組合員ノ滯納シタル組合費其ノ他ハ組合長ニ於テ處分シ得ル様法第七十九條ヲ改ムルコト

理由 現行法ハ組合員ノ滯納シタル組合費、換地清算金、延滯利息及過怠金ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村ハ市町村稅ノ例ニヨリ之ヲ處分スル規定ナルモ容易ニ之ヲ斷行セス獨リ當該耕地整理組合ノ事業遂行ヲ妨クルコト甚大ナルノミナラス一般耕地整理事業獎勵上惡影響ヲ及ホスコト尠カラサルニ由ル

二、溝渠、道路、堤塘等ノ變更廢置ノミヲ行フ場合其ノ敷地及不用ニ歸シタル土地ノ處分ヲ法第三十條ニ依リ取扱ヒ得ル様規定スルコト

理由 單ニ溝渠、道路、堤塘等ノ變更廢置ノミヲ行ヒ區劃形質ノ變更、土地ノ交換分合等ヲ全然行ハサル耕地整理ニ在リテハ其ノ敷地及不用ニ歸シタル土地ノ處分ニ付繁雜ナル手續ヲ要シ事業進捗上支障尠カラサルニヨリ其ノ關係ノ土地ノミニ付換地處分、地價配賦等ノ手續ヲ爲シ得ル様規定シ事務ノ簡捷ヲ圖ラントスルニ由ル

富山縣

一、單ニ灌溉排水ニ關スル設備若ハ工事ヲ行フヲ耕地整理事業ト認メ得ル様改正セラレタキコト

耕地整理法規中改正ヲ要スト認ムル事項如何

理由 現行耕地整理法第一條ニ於テハ單獨ナル「灌溉排水ニ關スル設備若ハ工事」ヲ行フヲ認メス蓋シ法ハ是等ノ事業タル土地ノ交換、分合、開墾、區劃形質等ノ事業ニ隨伴スルニ非サレハ農業上ノ利用ヲ増進スルノ効果ヲ充分發揮シ得サルモノト認メタルニアラムモ用水缺乏シ排水不良ニシテ毎年豫期ノ收穫ヲ爲シ得サル耕地面積ニ對シ殊ニ近年旱魃ニ際會スルコト少カラサルカ爲灌漑水ノ不足窮乏ヲ告ケ之カ對策ニ腐心スルモノ頗ル多キニ達シ而モ急迫ノ場合ニ於テハ之カ救濟ノ方策ヲ講スルノ唯一ノ緊急要事タルハ言ヲ俟タス據テ是等ニ對シテハ耕地整理事業トシテ單ニ灌溉排水ニ關スル設備若ハ工事ヲ行フノ事業ヲ認メテ耕地整理事業ニ對スル諸種ノ恩典ヲ附與シテ之カ促進ヲ期スルハ一面救濟ノ實効ヲ示シ他面灌漑水ノ爭奪ヲ起因トセル紛擾ヲ鎮撫シテ未然ニ之カ防止得テ最モ適切ナル對策タルニ至ルヘシ

二、第一條第一號中「道路」ノ下ニ「河川」ノ二字ヲ加フルコト

理由 普通「河川」ト稱呼スルモノハ第一條第一號ノ「等」ハ例示的ナルヲ以テ之ヲ含ムモノト解サレアルモ河川法適用河川並準用河川ノ範圍ヲ漸次擴大セムトスル傾向アルヲ以テ從來溝渠ト認メタルヲモ河川ト認定サルノ結果是等河川ノ變更廢置ニ依ル工事ハ耕地整理法ニ於テ行フコトヲ得サルカ如ク解スル向アルカ故ニ是等取扱上ノ紛更ト解釋ノ不統一ヲ避クルカ爲假令河川ナリトスルモ前記溝渠等ト同一ニ認ムルノ注意ナルコトヲ明確ニ表示シ置クノ必要ヲ認メタルニ依ル

三、土地所有者ニアラサル耕作者所謂登記セサル小作者ヲモ耕地整理組合員ト認メ得ル様改正セラレ

タキコト

理由 耕地整理事業ハ概シテ耕作者（小作人）ノ利害ニ影響スル所寧ロ土地所有者ヨリ大ナルモノナシトセス然ルニ現行法ハ土地所有者ノミニ利益ヲ保護スルノ偏重的ニ陥ルノ結果動モスレハ地主對小作人ノ融和ヲ缺クノ誘因ヲ醸成スルカ如シ據テ耕地整理事業ヨリ享受スヘキ利益ヲ土地所有者ノミニ獨占セシメス小作人ニモ均霑セシメ斯クテ双方間ノ圓滿提携ヲ期セムトスルニ由ル

四、耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可申請書ニ添付スヘキ換地説明書ハ地價配賦申請及登記申請ヲモ其ノ説明書ノミヲ以テ轉用シ得ル様説明書ノ内容ヲ改訂シ之カ處理方法ヲ改正セラレタキコト

理由 事務簡捷ヲ計ラムトスルニ由ル

五、現行耕地整理法第七十九條ハ組合員ニシテ法第三十條第一項第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金錢又ハ延滞利息若ハ過怠金ヲ滯納スルトキハ市町村ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘキ規定ナルモ之ヲ耕地整理組合ニ於テ直接之カ處分ヲ爲スコトヲ得ル様改正セラレタキコト

理由 從來ノ例ニ徵スルニ假令組合長ヨリ市町村長ヘ委託徵收ノ請求ヲ爲スモ市町村長ハ組合長トノ黨派上ノ軋轢若ハ個人間ノ反感或ハ組合員ニ對スル情實關係其ノ他自活體ノ平和ヲ破ルヲ籍口シテ容易ニ之カ決行スルニ至ラス躊躇逡巡徒ニ遷延ヲ重ヌル弊アルヲ以テ組合長ヲシテ直接之カ實行ノ局ニ當ラシメ以テ組合財務ノ經理ヲシテ迅速確實ニ整理ヲ遂ケシメムトスルニ由ル

六、組合格約ニ規定セサル耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於ケル土地使用上ヨリ生スル收益ノ